写真管理基準

写　真　管　理　基　準

（適用範囲）

１．この写真管理基準は、土木工事施工管理基準７に定める土木工事の工事写真（電子媒体によるものを含む）の撮影に適用する。

（工事写真の分類）

２．工事写真は次のように分類する。

工事写真
- 着手前及び完成写真（既済部分写真等を含む）
- 施工状況写真
- 安全管理写真
- 使用材料写真
- 品質管理写真
- 出来形管理写真
- 災害写真
- 事故写真
- その他（公害、環境、補償等）

（工事写真の撮影基準）

３．工事写真の撮影は以下の要領で行う。

（１）　撮影頻度

工事写真の撮影頻度は別紙撮影箇所一覧表に示すものとする。

（２）　撮影方法

写真撮影にあたっては、次の項目のうち必要事項を記載した小黒板を文字が判読できるよう被写体とともに写しこむものとする。

① 工　事　名
② 工　種　等
③ 測点（位置）
④ 設 計 寸 法
⑤ 実 測 寸 法
⑥ 略　　図

なお、小黒板の判読が困難となる場合は、別紙に必要事項を記入し、写真に添付して整理する。

特殊な場合で監督職員が指示するものは、指示した項目を指示した頻度で撮影するものとする。

（写真の省略）

４．工事写真は次の場合に省略するものとする。

（１）　品質管理写真について、公的機関で実施された品質証明書を保管整備できる場合は、撮影を省略するものとする。

（２）　出来形管理写真について、完成後測定可能な部分については、出来形管理状況のわかる写真を細別ごとに１回撮影し、後は撮影を省略するものとする。

（３）　監督職員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。

（写真の色彩）

５．写真はカラーとする。

（写真の大きさ）
６．写真の大きさは、サービスサイズ程度とする。ただし、次の場合は別の大きさとすることができる。
（１）　着手前、完成写真等はキャビネ版又はパノラマ写真（つなぎ写真可）とすることができる。
（２）　監督職員が指示するものは、その指示した大きさとする。

（工事写真帳の大きさ）
７．工事写真帳は、４切版のフリーアルバム又はＡ４版とする。

（工事写真の提出部数及び形式）
８．工事写真の提出部数及び形式は次によるものとする。
（１）　工事写真として、工事写真帳と原本を工事完成時に各１部提出する。
（２）　原本としては、ネガ（ＡＰＳの場合はカートリッジフィルム）または電子媒体とする。

（工事写真の整理方法）
９．工事写真の整理方法は次によるものとする。
（１）　工事写真の原本をネガで提出する場合は密着写真とともにネガアルバムに、撮影内容等がわかるように整理し提出する。ＡＰＳのカートリッジフィルムで提出する場合はカートリッジフィルム内の撮影内容がわかるように明示し、インデックス・プリントとともに提出する。
（２）　工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の提出頻度に示すものを標準とする。
　なお、提出頻度とは請負者が撮影頻度に基づき撮影した工事写真のうち、工事写真帳として貼付整理し提出する枚数を示したものである。
（３）　電子媒体での提出で、監督職員の承諾があれば工事写真帳の提出を省略できる。

（電子媒体に記録する工事写真）
１０．電子媒体に記録する工事写真の属性情報等については、「デジタル写真管理情報基準（案）」によるものと電子納品運用ガイドライン（案）に則った取り扱いとする。

（留意事項等）
１１．別紙撮影箇所一覧表の適用について、次の事項を留意するものとする。
（１）　撮影項目、撮影頻度等が工事内容により不適切な場合は、監督職員の指示により追加、削減するものとする。
（２）　施工状況等の写真については、ビデオ等の活用ができるものとする。
（３）　不可視となる出来形部分については、出来形寸法（上墨寸法含む）が確認できるよう、特に注意して撮影するものとする。
（４）　撮影箇所がわかりにくい場合には、写真と同時に見取り図等を工事写真帳に添付する。
（５）　撮影箇所一覧表に記載のない工種については監督職員の承諾を得て取り扱いを定めるものとする。

（その他）
１２．用語の定義
（１）　代表箇所とは、当該工種の代表箇所を示すもので、監督職員の承諾した箇所をいう。
（２）　適宜提出とは、監督職員が指示した箇所を提出することをいう。
（３）　提出頻度の不要とは、原本は提出するが、工事写真帳として貼付整理し提出する必要がないことをいう。

撮影箇所一覧表

区分	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度〔時期〕	提出頻度	
着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前１回〔着手前〕	着手前１枚	
	完成	全景又は代表部分写真	施工完了後１回〔完成後〕	施工完了後　１枚	
施工状況写真	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月１回〔月末〕	適宜	
		施工中の写真	工種、種別毎に共通仕様書及び諸基準に従い施工していることが確認できるように適宜〔施工中〕	適宜	
			高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜〔施工中〕	適宜	高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付
	仮設(指定仮設)	使用材料、仮設状況、形状寸法	１施工箇所に１回〔施工前後〕	代表箇所１枚	
	図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて〔発生時〕	適宜	工事打合簿に添付する。
安全管理	安全管理	各種標識類の設置状況	各種類毎に１回〔設置後〕	全景１枚	
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に１回〔設置後〕		
		監視員交通整理状況	各１回　〔作業中〕		
		安全訓練等の実施状況	実施毎に１回〔実施中〕	適宜	実施状況資料に添付する。
使用材料	使用材料	形状寸法	各品目毎に１回〔使用前〕	適宜	品質証明に添付する。
		検査実施状況	各品目毎に１回〔検査時〕		
品質管理写真	別添　品質管理写真撮影箇所一覧表に記載				
出来形管理写真	別添　出来形管理写真撮影箇所一覧表に記載				
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度〔被災前〕〔被災直後〕〔被災後〕	適宜	
事故	事故報告	事故の状況	その都度〔発生前〕〔発生直後〕〔発生後〕	適宜	着手前は付近の写真でも可
その他	補償関係	被害又は損害状況等	その都度〔発生前〕〔発生直後〕〔発生後〕	適宜	
	環境対策イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎１回〔設置後〕	適宜	

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
1	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く)(施工)	塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回[試験実施中]	代表箇所各1枚	
		スランプ試験			
		ｺﾝｸﾘｰﾄの圧縮強度試験			
		空気量測定	品質に変化が見られた場合[試験実施中]		
		ｺﾝｸﾘｰﾄの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回[試験実施中]		コンクリート舗装の場合適用
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合[試験実施中]		
		ｺﾝｸﾘｰﾄの洗い分析試験			
	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く)(施工後試験)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回[試験実施中]		
		ﾃｽﾄﾊﾝﾏｰによる強度推定調査			
		コアによる強度試験	ﾃｽﾄﾊﾝﾏｰ試験により必要が認められた時[試験実施中]		
2	ガス圧接	外観検査	検査毎に1回[検査実施中]	代表箇所各1枚	
		超音波探傷検査			
3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回[検査実施中]	代表箇所各1枚	
		浸透探傷試験	試験毎に1回[試験実施中]		
		放射線透過試験			
		超音波探傷試験			
		水セメント比試験			
		ｾﾒﾝﾄﾐﾙｸの圧縮強度試験			
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回[試験実施中]	代表箇所各1枚	
		プルフローリング	路盤毎に1回[試験実施中]		
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回[試験実施中]		
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合[試験実施中]		
		土の液性限界・塑性限界試験			
		含水比試験			
5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回[試験実施中]	代表箇所各1枚	
		粒度			
		平板載荷試験			
		土の液性限界・塑性限界試験	観察により異常が認められた場合[試験実施中]		
		含水比試験			
6	ｱｽﾌｧﾙﾄ安定処理路盤	アスファルト舗装に準拠		代表箇所各1枚	
7	ｾﾒﾝﾄ安定処理路盤(施工)	粒度	各種路盤毎に1回[試験実施中]	代表箇所各1枚	
		現場密度の測定			
		含水比試験	観察により異常が認められた場合[試験実施中]		
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合[試験実施中]		

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期	提出頻度	
8	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装 (ﾌﾟﾗﾝﾄ)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		ｱｽﾌｧﾙﾄ量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装 (舗設現場)	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		温度測定			
		外観検査			
		すべり抵抗試験			
9	転圧ｺﾝｸﾘｰﾄ (施工)	ｺﾝｼｽﾃﾝｼｰVC試験	ｺﾝｸﾘｰﾄの種類毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		ﾏｰｼｬﾙ突き固め試験			
		ﾗﾝﾏｰ突き固め試験			
		ｺﾝｸﾘｰﾄの曲げ強度試験			
		温度測定(ｺﾝｸﾘｰﾄ)	ｺﾝｸﾘｰﾄの種類毎に1回 [温度測定中]		
		現場密度の測定	ｺﾝｸﾘｰﾄの種類毎に1回 [試験実施中]		
		ｺｱによる密度測定			
10	ｸﾞｰｽAs舗装 (ﾌﾟﾗﾝﾄ)	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		ﾘｭｴﾙ流動性試験240℃			
		ﾎｲｰﾙﾄﾗｯｷﾝｸﾞ試験			
		曲げ試験			
		粒度			
		ｱｽﾌｧﾙﾄ量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		ﾌﾟﾙｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ			
		平板載荷試験			
		現場CBR試験			
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]		
		たわみ量	ﾌﾟﾙｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞの不良個所について実施 [試験実施中]		
12	表層安定処理工 (表層混合処理)	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		現場密度の測定	材質毎に1回 [試験実施中]		
		ﾌﾟﾙｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	工種毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	材質毎に1回 [試験実施中]		
		現場CBR試験			
		たわみ量	ﾌﾟﾙｰﾌﾛｰﾘﾝｸﾞの不良個所について実施 [試験実施中]		
13	固結工	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
14	アンカー工	ﾓﾙﾀﾙのﾌﾛｰ値試験	適宜 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		ﾓﾙﾀﾙの圧縮強度試験			
		多サイクル確認試験			
		1サイクル確認試験			
15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
16	吹付工(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		ｺﾝｸﾘｰﾄの圧縮強度試験			
		スランプ試験	品質に変化がみられた場合 [試験実施中]		ﾓﾙﾀﾙを除く
		空気量測定			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
17	現場吹付法枠工	ｺﾝｸﾘｰﾄの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		塩化物総量規制			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]		
		スランプ試験	品質に変化がみられた場合 [試験実施中]		ﾓﾙﾀﾙを除く
		空気量測定			
		ロックボルトの引抜き試験	試験毎に1回 [試験実施中]		
18	河川海岸土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合 [試験実施中]		
		コーン指数の測定	ﾄﾗﾌｨｶﾋﾞﾘﾃｨが悪い場合		
19	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
20	道路土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		ﾌﾟﾙｰﾌﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ	工種毎に1回 [試験実施中]		
		平板載荷試験	土質毎に1回 [試験実施中]		
		現場CBR試験			
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]		
		コーン指数の測定	ﾄﾗﾌｨｶﾋﾞﾘﾃｨが悪い場合		
		たわみ量	ﾌﾟﾙｰﾌﾌﾛｰﾘﾝｸﾞの不良個所について実施 [試験実施中]		
21	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		岩石の吸水率			
		岩石の圧縮強さ			
		岩石の形状			

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
22	コンクリートダム(材料)	アルカリ骨材反応対策	採取地毎に1回[試験実施中]	代表箇所各1枚	
		骨材の密度及び吸水率試験			
		骨材のふるい分け試験			
		砂の有機不純物試験	砂質毎に1回[試験実施中]		
		モルタルの圧縮強度による砂の試験			
		骨材の微粒分量試験	骨材毎に1回[試験実施中]		
		粗骨材中の軟石量試験			
		骨材中の粘土塊量の試験			
		硫酸ﾅﾄﾘｳﾑによる骨材の安定性試験			
		粗骨材のすりへり試験			
		骨材中の比重1．95の液体に浮く粒子の試験			
		練り混ぜ水の水質試験			
	コンクリートダム(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回[試験実施中]	代表箇所各1枚	
		スランプ試験	品質に変化が認められた場合[試験実施中]		
		空気量測定			
		ｺﾝｸﾘｰﾄの圧縮強度試験	配合毎に1回[試験実施中]		**気温・コンクリート**
		温度測定			
		ｺﾝｸﾘｰﾄの単位容積質量試験			
		ｺﾝｸﾘｰﾄの洗い分析試験			
		ｺﾝｸﾘｰﾄのﾌﾞﾘｰｼﾞﾝｸﾞ試験			
		ｺﾝｸﾘｰﾄの引張強度試験			
		ｺﾝｸﾘｰﾄの曲げ強度試験			
23	覆工コンクリート(NATM施工)	スランプ試験	品質に変化が認められた場合[試験実施中]	代表箇所各1枚	
		ｺﾝｸﾘｰﾄの圧縮強度試験	配合毎に1回[試験実施中]		
		塩化物総量規制			
		空気量測定	品質に変化が認められた場合[試験実施中]		
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合[試験実施中]		
		ｺﾝｸﾘｰﾄの洗い分析試験			
24	吹付けコンクリート(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回[試験実施中]	代表箇所各1枚	
		ｺﾝｸﾘｰﾄの圧縮強度試験			
		スランプ試験	品質に変化が認められた場合[試験実施中]		
		空気量測定			
		コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合[試験実施中]		
25	ロックボルト(NATM)	ﾓﾙﾀﾙの圧縮強度試験	配合毎に1回[試験実施中]	代表箇所各1枚	
		ﾓﾙﾀﾙのﾌﾛｰ値試験			
		ﾛｯｸﾎﾞﾙﾄの引抜き試験	適宜		

品質管理写真撮影箇所一覧表

番号	工種	写真管理項目			摘要
		撮影項目	撮影頻度[時期]	提出頻度	
26	路上再生路盤工 (材料)	修正CBR試験	材料毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		土の粒度試験			
		土の含水比試験			
		土の液性限界・塑性限界試験			
	路上再生路盤工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]		
		土の一軸圧縮試験			
		CAEの一軸圧縮試験			
		含水比試験			
27	路上表層再生工 (材料)	旧ｱｽﾌｧﾙﾄ針入度	材料毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		旧ｱｽﾌｧﾙﾄの軟化点			
	路上表層再生工 (施工)	現場密度の測定	材料毎に1回 [試験実施中]		
		温度測定			
		かきほぐし深さ			
		粒度			
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
28	排水性舗装工・透水性舗装工 (プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		温度測定			
	排水性舗装工・透水性舗装工 (舗設現場)	温度測定			
		現場透水試験			
		現場密度の測定			
		外観検査			
		すべり抵抗試験			
29	簡易舗装工	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		粒度			
		アスファルト量抽出粒度分析試験			
		ﾌﾟﾙｰﾌﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ			
		温度測定			
		含水比試験			
30	プラント再生舗装工(プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		再生アスファルト量			
	プラント再生舗装工(舗設現場)	外観検査			
		温度測定			
		現場密度の測定			
31	ガス切断工	表面粗さ	試験毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		ノッチ深さ			
		スラグ			
		上縁の溶け			
		平面度			
		ベベル精度			
		真直度			
32	溶接工	引張試験	試験毎に1回 [試験実施中]	代表箇所 各1枚	
		型曲げ試験			
		衝撃試験			
		マクロ試験			
		非破壊試験			
		突合せ継手の内部欠陥に対する検査			
		外観検査			
		曲げ試験			
		ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジベルについて[試験実施中]		
33	工場製作工	外観検査	1橋に1回又は1工事に1回 [現物照合時]	代表箇所 各1枚	
		在庫品切出	当初の物件で1枚[切出時] ※他は焼き増し		
		機械試験	1橋に1回又は1工事に1回 [試験実施中]		

目　　次

出来形管理写真撮影箇所一覧表

第１編　共通編 ・・・5-36
第３編　土木工事共通編 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-38
第６編　河川編 ・・・5-55
第７編　河川海岸編 ・・5-58
第８編　砂防編 ・・・5-61
第９編　ダム編 ・・・5-63
第10編　道路編 ・・・5-65
その他 ・・5-72

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第１編　共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第２章　土工				
第３節　河川土工・海岸土工 砂防土工	２－３－２掘削工			5-36
	２－３－３盛土工			5-36
	２－２－４盛土補強工	補強土（テールアルメ）壁工法		5-36
		多数アンカー式補強土工法		5-36
		ジオテキスタイルを用いた補強土工法		5-36
	２－３－５法面整形工	盛土部		5-36
	２－３－６堤防天端工			5-36
第４節　道路土工	２－４－２掘削工			5-37
	２－４－３路体盛土工			5-37
	２－４－４路床盛土工			5-37
	２－４－５法面整形工	盛土部		5-37
第３章　無筋、鉄筋コンクリート				
第５節　鉄筋	３－７－４鉄筋の組立て			5-37

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第３編　土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第２章　一般施工				
第３節　共通的工種	２－３－４矢板工	鋼矢板		5-38
		軽量鋼矢板		5-38
		コンクリート矢板		5-38
		広幅鋼矢板		5-38
		可とう鋼矢板		5-38
	２－３－５法枠工	現場打法枠工		5-38
		現場吹付法枠工		5-38
		プレキャスト法枠工		5-38
	２－３－６吹付工	コンクリート		5-38
		モルタル		5-38
	２－３－７植生工	種子散布工		5-38
		張芝工		5-38
		筋芝工		5-38
		市松芝工		5-38
		植生シート工		5-38
		植生マット工		5-38
		植生筋工		5-38
		人工張芝工		5-38
		植生穴工		5-38
		植生基材吹付工		5-38
		客土吹付工		5-38
	２－３－８縁石工	縁石・アスカーブ		5-38
	２－３－９小型標識工			5-38
	２－３－10防止柵工	立入防止柵		5-39
		転落（横断）防止柵		5-39
		車止めポスト		5-39
	２－３－11路側防護柵工	ガードレール		5-39
		ガードケーブル		5-39
	２－３－12区画線工			5-39
	２－３－13道路付属物工	視線誘導標		5-39
		距離標		5-39
	２－３－14桁製作工	仮組立による検査を実施する場合		5-39
		シミュレーション仮組立検査を行う場合		5-39
		仮組立検査を実施しない場合		5-39

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第３編　土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第３節　共通的工種	２－３－14桁製作工	鋼製堰堤製作工（仮組立時）		5-39
	２－３－15工場塗装工			5-39
	２－３－16コンクリート面塗装工			5-39
第４節　基礎工	２－４－１一般事項	切込砂利		5-40
		砕石基礎工		5-40
		割ぐり石基礎工		5-40
		均しコンクリート		5-40
	２－４－３基礎工（護岸）	現場打		5-40
		プレキャスト		5-40
	２－４－４既製杭工	既製コンクリート杭		5-40
		鋼管杭		5-40
		H鋼杭		5-40
	２－４－５場所打杭工			5-40
	２－４－６深礎工			5-40
	２－４－７オープンケーソン基礎工			5-40
	２－４－８ニューマチックケーソン基礎工			5-41
	２－４－９鋼管矢板基礎工			5-41
第５節　石・ブロック積（張）工	２－５－３コンクリートブロック工	コンクリートブロック積		5-41
		コンクリートブロック張り		5-41
		連節ブロック張り		5-41
		天端保護ブロック		5-41
	２－５－４緑化ブロック工			5-42
	２－５－５石積（張）工			5-42
第６節　一般舗装工	２－６－５アスファルト舗装工	下層路盤工		5-42
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		5-42
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		5-42
		加熱アスファルト安定処理工		5-42
		基層工		5-42
		表層工		5-43
	２－６－６コンクリート舗装工	下層路盤工		5-43
		粒度調整路盤工		5-43
		セメント（石灰・瀝青）安定処理工		5-43
		アスファルト中間層		5-43
		コンクリート舗装版工		5-43
		転圧コンクリート版工（下層路盤工）		5-43
		転圧コンクリート版工（粒度調整路盤工）		5-44
		転圧コンクリート版工（セメント（石灰・瀝青）安定処理工）		5-44
		転圧コンクリート版工（アスファルト中間層）		5-44
		転圧コンクリート版工		5-44

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第３編　土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第６節　一般舗装工	２－６－７薄層カラー舗装工	下層路盤工		5-44
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		5-44
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		5-44
		加熱アスファルト安定処理工		5-45
		基層工		5-45
	２－６－８ブロック舗装工	下層路盤工		5-45
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		5-45
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		5-45
		加熱アスファルト安定処理工		5-45
		基層工		5-45
第７節　地盤改良工	２－７－２路床安定処理工			5-45
	２－７－３置換工			5-46
	２－７－４表層安定処理工	サンドマット	第３編２－７－６サンドマット工	5-46
		サンドマット海上		5-46
	２－７－５パイルネット工			5-46
	２－７－６サンドマット工			5-46
	２－７－７バーチカルドレーン工	サンドドレーン工		5-46
		ペーパードレーン工		5-46
		袋詰式サンドドレーン工		5-46
	２－７－８締固め改良工	サンドコンパクションパイル工		5-46
	２－７－９固結工	粉末噴射撹拌工		5-46
		高圧噴射撹拌工		5-46
		スラリー撹拌工		5-46
		生石灰パイル工		5-46
第10節 仮設工	２－10－５土留・仮締切工	H鋼杭		5-46
		鋼矢板		5-46
		アンカー工		5-46
		連節ブロック張り工		5-46
		締切盛土		5-46
		中詰盛土		5-46
	２－10－９地中連続壁工（壁式）			5-46
	２－10－10地中連続壁工（柱列式）			5-47
	２－10－22法面吹付工			5-47
第11節　軽量盛土工	２－11－２軽量盛土工		第１編２－４－３路体盛土工	5-37
第３章　共通施工				5-47
第１節　共通関係	３－１－１現場塗装工			5-47
	３－１－２場所打擁壁工			5-47
	３－１－３プレキャスト擁壁工			5-47
	３－１－４井桁ブロック工			5-47
	３－１－５アンカー工			5-47
	３－１－６側溝工	プレキャストU型側溝		5-47
		L型側溝		5-47

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第３編　土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第１節　共通関係	３－１－６側溝工	自由勾配側溝		5-47
		管渠		5-47
	３－１－７場所打水路工			5-47
	３－１－８集水桝工			5-47
	３－１－９暗渠工			5-47
	３－１－10刃口金物製作工			5-48
	３－１－11階段工			5-48
第２節　河川関係	３－２－１巨石張り、巨石積み			5-48
	３－２－２かごマット			5-48
	３－２－３じゃかご			5-48
	３－２－４ふとんかご、かご枠			5-48
	３－２－５根固めブロック			5-48
	３－２－６沈床工			5-48
	３－２－７捨石工			5-48
	３－２－８護岸付属物工			5-48
第３節　海岸関係	３－３－１浚渫船運転工	ポンプ浚渫船		5-48
		グラブ船		5-48
第４節　道路関係	３－４－１プレキャストカルバート工	プレキャストボックス工		5-49
		プレキャストパイプ工		5-49
	３－４－２落石防護柵工			5-49
	３－４－３検査路製作工			5-49
	３－４－４鋼製伸縮継手製作工			5-49
	３－４－５落橋防止装置製作工			5-49
	３－４－６鋼製排水管製作工			5-49
	３－４－７プレビーム用桁製作工			5-49
	３－４－８橋梁用防護柵製作工			5-49
	３－４－９鋳造費	金属支承工		5-49
		大型ゴム支承工		5-49
	３－４－10アンカーフレーム製作工			5-49
	３－４－11仮設材製作工			5-50
	３－４－12床版・横組工			5-50
	３－４－13伸縮装置工	ゴムジョイント		5-50
		鋼製フィンガージョイント		5-50
	３－４－14地覆工			5-50
	３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工			5-50
	３－４－16検査路工			5-50
	３－４－17支承工	鋼製支承		5-50
		ゴム支承		5-50
	３－４－18架設工（鋼橋）	クレーン架設		5-51
		ケーブルクレーン架設		5-51
		ケーブルエレクション架設		5-51
		架設桁架設		5-51

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第３編　土木工事共通編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第４節　道路関係	３－４－18架設工（鋼橋）	送出し架設		5-51
		トラベラークレーン架設		5-51
	３－４－19プレテンション桁製作工（購入工）	けた橋		5-51
		スラブ桁		5-51
	３－４－20ポストテンション桁製作工			5-51
	３－４－21プレキャストセグメント製作工（購入工）			5-51
	３－４－22プレキャストセグメント主桁組立工			5-51
	３－４－23ＰＣホロースラブ製作工			5-51
	３－４－24ＰＣ箱桁製作工			5-51
	３－４－25ＰＣ押出し箱桁製作工			5-52
	３－４－26架設工（コンクリート橋）	架設工（クレーン架設）		5-52
		架設工（架設桁架設）		5-52
		架設工支保工（固定）		5-52
		架設工支保工（移動）		5-52
		架設桁架設（片持架設）		5-52
		架設桁架設（押出し架設）		5-52
	３－４－27半たわみ性舗装工	下層路盤工		5-52
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		5-52
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		5-52
		加熱アスファルト安定処理工		5-52
		基層工		5-53
		表層工		5-53
	３－４－28排水性舗装工	下層路盤工		5-53
		上層路盤工（粒度調整路盤工）		5-53
		上層路盤工（セメント（石灰）安定処理工）		5-53
		加熱アスファルト安定処理工		5-53
		基層工		5-53
		表層工		5-53
	３－４－29グースアスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		5-53
		基層工		5-54
		表層工		5-54
	３－４－30透水性舗装工	路盤工		5-54
		表層工		5-54
	３－４－31路面切削工			5-54
	３－４－32舗装打換え工			5-54
	３－４－33オーバーレイ工			5-54
	３－４－34落橋防止装置工			5-54

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第６編　河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第１章　築堤・護岸				
第３節　護岸基礎工	１－３－３基礎工		第３編２－４－３基礎工（護岸）	5-40
	１－３－４矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
第４節　矢板護岸工	１－４－３笠コンクリート工		第３編２－４－３基礎工（護岸）	5-40
	１－４－４矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
第５節　法覆護岸工	１－５－３コンクリートブロック工		第３編２－５－３コンクリートブロック工	5-41
	１－５－４護岸付属物工		第３編３－２－８護岸付属物工	5-48
	１－５－５緑化ブロック工		第３編２－５－４緑化ブロック工	5-42
	１－５－６環境護岸ブロック工		第３編２－５－３コンクリートブロック工	5-41
	１－５－７石積（張）工		第３編２－５－５石積（張）工	5-42
	１－５－８法枠工		第３編２－３－５法枠工	5-38
	１－５－９多自然型護岸工	巨石張り	第３編３－２－１巨石張り、巨石積み	5-48
		巨石積み	第３編３－２－１巨石張り、巨石積み	5-48
		かごマット	第３編３－２－２かごマット	5-48
	１－５－10吹付工		第３編２－３－６吹付工	5-38
	１－５－11植生工		第３編２－３－７植生工	5-38
	１－５－12覆土工		第１編２－３－５法面整形工	5-36
	１－５－13羽口工	じゃかご	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		ふとんかご	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
		かご枠	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
		連節ブロック張り	第３編２－５－３－２連節ブロック張り	5-41
第６節　擁壁護岸工	１－６－３場所打擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47
	１－６－４プレキャスト擁壁工		第３編３－１－３プレキャスト擁壁工	5-47
第７節　根固め工	１－７－３根固めブロック工		第３編３－２－５根固めブロック	5-48
	１－７－５沈床工		第３編３－２－６沈床工	5-48
	１－７－６捨石工		第３編３－２－７捨石工	5-48
	１－７－７かご工	じゃかご	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		ふとんかご	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
第８節　水制工	１－８－３沈床工		第３編３－２－６沈床工	5-48
	１－８－４捨石工		第３編３－２－７捨石工	5-48
	１－８－５かご工	じゃかご	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		ふとんかご	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
	１－８－８杭出し水制工			5-55
第９節　付帯道路工	１－９－３路側防護柵工		第３編２－３－11路側防護柵工	5-39
	１－９－５アスファルト舗装工		第３編２－６－５アスファルト舗装工	5-42
	１－９－６コンクリート舗装工		第３編２－６－６コンクリート舗装工	5-43
	１－９－７薄層カラー舗装工		第３編２－６－７薄層カラー舗装工	5-44
	１－９－８ブロック舗装工		第３編２－６－８ブロック舗装工	5-45
	１－９－９側溝工		第３編３－１－６側溝工	5-47
	１－９－10集水桝工		第３編３－１－８集水桝工	5-47
	１－９－11縁石工		第３編２－３－８縁石工	5-38
	１－９－12区画線工		第３編２－３－12区画線工	5-39

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第６編　河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第10節　付帯道路施設工	１－10－３道路付属物工		第３編２－３－13道路付属物工	5-39
	１－10－４標識工		第３編２－３－９小型標識工	5-38
第11節　光ケーブル配管工	１－11－３配管工			5-55
	１－11－４ハンドホール工			5-55
第２章　浚渫（川）				
第２節　浚渫工（ポンプ浚渫船）	２－２－２浚渫船運転工（民船・官船）		第３編３－３－１浚渫船運転工	5-48
第３節　浚渫工（グラブ船）	２－３－２浚渫船運転工		第３編３－３－１－２浚渫船運転工	5-48
第４節　浚渫工(バックホウ浚渫船)	２－４－２浚渫船運転工		第３編３－３－１－２浚渫船運転工	5-48
第３章　樋門・樋管				
第３節　樋門・樋管本体工	３－３－３既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	３－３－４場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-40
	３－３－５矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
	３－３－６函渠工	本体工		5-55
		ヒューム管		5-55
		ＰＣ管		5-55
		コルゲートパイプ		5-55
		ダクタイル鋳鉄管		5-55
		ＰＣ函渠	第３編３－４－１プレキャストカルバート工	5-49
	３－３－７翼壁工			5-55
	３－３－８水叩工			5-55
第４節　護床工	３－４－３根固めブロック工		第３編３－２－５根固めブロック	5-48
	３－４－５沈床工		第３編３－２－６沈床工	5-48
	３－４－６捨石工		第３編３－２－７捨石工	5-48
	３－４－７かご工	じゃかご	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		ふとんかご	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
第５節　水路工	３－５－３側溝工		第３編３－１－７場所打水路工	5-47
	３－５－４集水桝工		第３編３－１－８集水桝工	5-47
	３－５－５暗渠工		第３編３－１－９暗渠工	5-47
	３－５－６樋門接続暗渠工		第３編３－４－１プレキャストカルバート工	5-49
第６節　付属物設置工	３－６－３防止柵工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
	３－６－７階段工		第３編３－１－11階段工	5-48
第４章　水門				
第３節　工場製作工	４－３－３桁製作工		第３編２－３－14桁製作工	5-39
	４－３－４鋼製伸縮継手製作工		第３編３－４－４鋼製伸縮継手製作工	5-49
	４－３－５落橋防止装置製作工		第３編３－４－５落橋防止装置製作工	5-49
	４－３－６鋼製排水管製作工		第３編３－４－６鋼製排水管製作工	5-49
	４－３－７橋梁用防護柵製作工		第３編３－４－８橋梁用防護柵製作工	5-49
	４－３－８鋳造費		第３編３－４－９鋳造費	5-49
	４－３－９仮設材製作工		第３編３－４－11仮設材製作工	5-50
	４－３－10工場塗装工		第３編２－３－15工場塗装工	5-39

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第６編　河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第４節　水門本体工	４－４－４既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	４－４－５場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-40
	４－４－６矢板工（遮水矢板）		第３編２－３－４矢板工（遮水矢板）	5-38
第４節　水門本体工	４－４－７床版工			5-56
	４－４－８堰柱工			5-56
	４－４－９門柱工			5-56
	４－４－10ゲート操作台工			5-56
	４－４－11胸壁工			5-56
	４－４－12翼壁工		第６編３－３－７翼壁工	5-55
	４－４－13水叩工		第６編３－３－８水叩工	5-55
第５節　護床工	４－５－３根固めブロック工		第３編３－２－５根固めブロック	5-48
	４－５－５沈床工		第３編３－２－６沈床工	5-48
	４－５－６捨石工		第３編３－２－７捨石工	5-48
	４－５－７かご工	じゃかご	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		ふとんかご	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
第６節　付属物設置工	４－６－２防止柵工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
	４－６－８階段工		第３編３－１－11階段工	5-48
第７節　鋼管理橋上部工	４－７－４架設工(クレーン架設)		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	４－７－５架設工(ケーブルクレーン架設)		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	４－７－６架設工(ケーブルエレクション架設)		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	４－７－７架設工(架設桁架設)		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	４－７－８架設工(送出し架設)		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	４－７－９架設工(トラベラークレーン架設)		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	４－７－10支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
第８節　橋梁現場塗装工	４－８－２現場塗装工		第３編３－１－１現場塗装工	5-47
第９節　床版工	４－９－２床版工		第３編３－４－12床版・横組工	5-50
第10節　橋梁付属物工(鋼管理橋)	４－10－２伸縮装置工		第３編３－４－13伸縮装置工	5-50
	４－10－４地覆工		第３編３－４－14地覆工	5-50
	４－10－５橋梁用防護柵工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	４－10－６橋梁用高欄工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	４－10－７検査路工		第３編３－４－16検査路工	5-50
第12節　コンクリート管理橋上部工(ＰＣ橋)	４－12－２プレテンション桁製作工（購入工）		第３編３－４－19プレテンション桁製作工（購入工）	5-51
	４－12－３ポストテンション桁製作工		第３編３－４－20ポストテンション桁製作工	5-51
	４－12－４プレキャストセグメント製作工（購入工）		第３編３－４－21プレキャストセグメント製作工（購入工）	5-51
	４－12－５プレキャストセグメント主桁組立工		第３編３－４－22プレキャストセグメント主桁組立工	5-51
	４－12－６支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
	４－12－７架設工(クレーン架設)		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
	４－12－８架設工(架設桁架設)		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
	４－12－９床版･横組工		第３編３－４－12床版・横組工	5-50
	４－12－10落橋防止装置工		第３編３－４－34落橋防止装置工	5-54
第13節　コンクリート管理橋上部工(ＰＣホロースラブ橋)	４－13－１架設支保工(固定)		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第６編　河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第13節　コンクリート管理橋上部工(ＰＣホロースラブ橋)	４－13－２支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
	４－13－４落橋防止装置工		第３編３－４－34落橋防止装置工	5-54
	４－13－５ＰＣホロースラブ製作工		第３編３－４－23ＰＣホロースラブ製作工	5-51
第14節　橋梁付属物工(コンクリート管理橋)	４－14－２伸縮装置工		第３編３－４－13伸縮装置工	5-50
	４－14－４地覆工		第３編３－４－14地覆工	5-50
	４－14－５橋梁用防護柵工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	４－14－６橋梁用高欄工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	４－14－７検査路工		第３編３－４－16検査路工	5-50
第16節　舗装工	４－16－５アスファルト舗装工		第３編２－６－５アスファルト舗装工	5-42
	４－16－６半たわみ性舗装工		第３編３－４－27半たわみ性舗装工	5-52
	４－16－７排水性舗装工		第３編３－４－28排水性舗装工	5-53
	４－16－８透水性舗装工		第３編３－４－30透水性舗装工	5-54
	４－16－９グースアスファルト舗装工		第３編３－４－29グースアスファルト舗装工	5-53
	４－16－10コンクリート舗装工		第３編２－６－６コンクリート舗装工	5-43
	４－16－11薄層カラー舗装工		第３編２－６－７薄層カラー舗装工	5-44
	４－16－12ブロック舗装工		第３編２－６－８ブロック舗装工	5-45
第５章　堰				
第３節　工場製作工	５－３－３刃口金物製作工		第３編３－１－10刃口金物製作工	5-48
	５－３－４桁製作工		第３編２－３－14桁製作工	5-39
	５－３－５検査路製作工		第３編３－４－３検査路製作工	5-49
	５－３－６鋼製伸縮継手製作工		第３編３－４－４鋼製伸縮継手製作工	5-49
	５－３－７落橋防止装置製作工		第３編３－４－５落橋防止装置製作工	5-49
	５－３－８鋼製排水管製作工		第３編３－４－６鋼製排水管製作工	5-49
	５－３－９プレビーム用桁製作工		第３編３－４－７プレビーム用桁製作工	5-49
	５－３－10橋梁用防護柵製作工		第３編３－４－８橋梁用防護柵製作工	5-49
	５－３－11鋳造費		第３編３－４－９鋳造費	5-49
	５－３－12アンカーフレーム製作工		第３編３－４－10アンカーフレーム製作工	5-49
	５－３－13仮設材製作工		第３編３－４－11仮設材製作工	5-50
	５－３－14工場塗装工		第３編２－３－15工場塗装工	5-39
第４節　可動堰本体工	５－４－３既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	５－４－４場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-40
	５－４－５オープンケーソン基礎工		第３編２－４－７オープンケーソン基礎工	5-40
	５－４－６ニューマチックケーソン基礎工		第３編２－４－８ニューマチックケーソン基礎工	5-41
	５－４－７矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
	５－４－８床版工		第６編４－４－７床版工	5-56
	５－４－９堰柱工		第６編４－４－８堰柱工	5-56
	５－４－10門柱工		第６編４－４－９門柱工	5-56
	５－４－11ゲート操作台工		第６編４－４－10ゲート操作台工	5-56
	５－４－12水叩工		第６編３－３－８水叩工	5-55
	５－４－13閘門工			5-56
	５－４－14土砂吐工			5-56
	５－４－15取付擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第６編　河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第５節　固定堰本体工	５－５－３既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	５－５－４場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-40
	５－５－５オープンケーソン基礎工		第３編２－４－７オープンケーソン基礎工	5-40
第５節　固定堰本体工	５－５－６ニューマチックケーソン基礎工		第３編２－４－８ニューマチックケーソン基礎工	5-41
	５－５－７矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
	５－５－８堰本体工			5-56
	５－５－９水叩工			5-56
	５－５－10土砂吐工			5-46
	５－５－11取付擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47
第６節　魚道工	５－６－３魚道本体工			5-56
第７節　管理橋下部工	５－７－２管理橋橋台工			5-56
第８節　鋼管理橋上部工	５－８－４架設工（クレーン架設）		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	５－８－５架設工（ケーブルクレーン架設）		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	５－８－６架設工（ケーブルエレクション架設）		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	５－８－７架設工（架設桁架設）		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	５－８－８架設工（送出し架設）		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	５－８－９架設工（トラベラークレーン架設）		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	５－８－10支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
第９節　橋梁現場塗装工	５－９－２現場塗装工		第３編３－１－１現場塗装工	5-47
第10節　床版工	５－10－２床版工		第３編３－４－12床版・横組工	5-50
第11節　橋梁付属物工(鋼管理橋)	５－11－２伸縮装置工		第３編３－４－13伸縮装置工	5-50
	５－11－４地覆工		第３編３－４－14地覆工	5-50
	５－11－５橋梁用防護柵工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	５－11－６橋梁用高欄工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	５－11－７検査路工		第３編３－４－16検査路工	
第13節　コンクリート管理橋上部工（ＰＣ橋）	５－13－２プレテンション桁製作工（購入工）		第３編３－４－19プレテンション桁製作工（購入工）	5-50
	５－13－３ポストテンション桁製作工		第３編３－４－20ポストテンション桁製作工	5-51
	５－13－４プレキャストセグメント製作工（購入工）		第３編３－４－21プレキャストセグメント製作工（購入工）	5-51
	５－13－５プレキャストセグメント主桁組立工		第３編３－４－22プレキャストセグメント主桁組立工	5-51
	５－13－６支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
	５－13－７架設工（クレーン架設）		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
	５－13－８架設工（架設桁架設）		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
	５－13－９床版・横組工		第３編３－４－12床版・横組工	5-50
	５－13－10落橋防止装置工		第３編３－４－34落橋防止装置工	5-54
第14節　コンクリート管理橋上部工（ＰＣ橋ホロースラブ橋）	５－14－２架設支保工（固定）		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
	５－14－３支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
	５－14－４落橋防止装置工		第３編３－４－34落橋防止装置工	5-54
	５－14－５ＰＣホロースラブ製作工		第３編３－４－23ＰＣホロースラブ製作工	5-51
第15節　コンクリート管理橋上部工（ＰＣ箱桁橋）	５－15－２架設支保工（固定）		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
	５－15－３支承工		第３編３－４－17支承工	5-50

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第６編　河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第15節　コンクリート管理橋上部工（ＰＣ箱桁橋）	５－15－４ＰＣ箱桁製作工		第３編３－４－24ＰＣ箱桁製作工	5-51
	５－15－５落橋防止装置工		第３編３－４－34落橋防止装置工	5-54
第16節　橋梁付属物工(コンクリート管理橋)	５－16－２伸縮装置工		第３編３－４－13伸縮装置工	5-50
	５－16－４地覆工		第３編３－４－14地覆工	5-50
第16節　橋梁付属物工(コンクリート管理橋)	５－16－５橋梁用防護柵工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	５－16－６橋梁用高欄工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	５－16－７検査路工		第３編３－４－16検査路工	5-50
第18節　付属物設置工	５－18－３防止柵工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
	５－18－７階段工		第３編３－１－11階段工	5-48
第６章　排水機場				
第３節　機場本体工	６－３－３既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	６－３－４場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-40
	６－３－５矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
第３節　機場本体工	６－３－６本体工			5-56
	６－３－７燃料貯油槽工			5-57
第４節　沈砂池工	６－４－３既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	６－４－４場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-40
	６－４－５矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
	６－４－６場所打擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47
	６－４－７コンクリート床版工			5-57
	６－４－８ブロック床版工		第３編３－２－５根固めブロック	5-48
	６－４－９場所打水路工		第３編３－１－７場所打水路工	5-47
第５節　吐出水槽工	６－５－３既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	６－５－４場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-40
	６－５－５矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
	６－５－６本体工		第６編６－３－６本体工	5-56
第７章　床止め・床固め				
第３節　床止め工	７－３－４既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-50
	７－３－５矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
	７－３－６本体工	床固め本体工		5-57
		植石張り	第３編２－５－５石積（張）工	5-42
		根固めブロック	第３編３－２－５根固めブロック	5-48
	７－３－７取付擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47
	７－３－８水叩工			5-57
		巨石張り	第３編３－２－１巨石張り、巨石積み	5-48
		根固めブロック	第３編３－２－５根固めブロック	5-48
第４節　床固め工	７－４－４本堤工		第６編７－３－６－１本体工	5-57
	７－４－５垂直壁工		第６編７－３－６－１本体工	5-57
	７－４－６側壁工			5-57
	７－４－７水叩工		第６編７－３－８水叩工	5-57
第５節　山留擁壁工	７－５－３コンクリート擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47
	７－５－４ブロック積擁壁工		第３編２－５－３コンクリートブロック工	5-41
	７－５－５石積擁壁工		第３編２－５－５石積（張）工	5-42
	７－５－６山留擁壁基礎工		第３編２－４－３法留基礎工	5-40

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第６編　河川編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第８章　河川維持				
第７節　路面補修工	８－７－３不陸整正工		第１編２－３－６堤防天端工	5-36
	８－７－４コンクリート舗装補修工		第３編２－６－６コンクリート舗装工	5-43
	８－７－５アスファルト舗装補修工		第３編２－６－５アスファルト舗装工	5-42
第８節　付属物復旧工	８－８－２付属物復旧工		第３編２－３－11路側防護柵工	5-39
第９節　付属物設置工	８－９－３防護柵工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
	８－９－５付属物設置工		第３編２－３－13道路付属物工	5-39
第10節　光ケーブル配管工	８－10－３配管工		第６編１－11－３配管工	5-55
	８－10－４ハンドホール工		第６編１－11－４ハンドホール工	5-55
第12節　植栽維持工	８－12－３樹木・芝生管理工		第３編２－３－７植生工	5-38
第９章　河川修繕				
第３節　腹付工	９－３－２覆土工		第１編２－３－５法面整形工	5-36
	９－３－３植生工		第３編２－３－７植生工	5-38
第４節　側帯工	９－４－２縁切工	じゃかご工	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		連節ブロック張り	第３編２－５－３コンクリートブロック工	5-41
		コンクリートブロック張り	第３編２－５－３コンクリートブロック工	5-41
第４節　側帯工	９－４－２縁切工	石張工	第３編２－５－５石積（張）工	5-42
	９－４－３植生工		第３編２－３－７植生工	5-38
第５節　堤脚保護工	９－５－３石積工		第３編２－５－５石積（張）工	5-42
	９－５－４コンクリートブロック工		第３編２－５－３コンクリートブロック工	5-41
第６節　管理用通路工	９－６－２防護柵工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
	９－６－４路面切削工		第３編３－４－31路面切削工	5-54
	９－６－５舗装打換え工		第３編３－４－32舗装打換え工	5-54
	９－６－６オーバーレイ工		第３編３－４－33オーバーレイ工	5-54
	９－６－７排水構造物工	プレキャストU型側溝・管（函）渠	第３編３－１－６側溝工	5-47
		集水桝工	第３編３－１－８集水桝工	5-47
	９－６－８道路付属物工	歩車道境界ブロック	第３編２－３－８縁石工	5-38
第７節　現場塗装工	９－７－３付属物塗装工		第３編３－１－１現場塗装工	5-47
	９－７－４コンクリート面塗装工		第３編２－３－16コンクリート面塗装工	5-39

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第７編　河川海岸編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第１章　堤防・護岸				
第３節　護岸基礎工	１－３－４捨石工		第３編３－２－７捨石工	5-48
	１－３－５場所打コンクリート工			5-58
	１－３－６海岸コンクリートブロック工			5-58
	１－３－７笠コンクリート工		第３編２－４－３基礎工（護岸）	5-40
	１－３－８基礎工		第３編２－４－３基礎工（護岸）	5-40
	１－３－９矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
第４節　護岸工	１－４－３石積（張）工		第３編２－５－５石積（張）工	5-42
	１－４－４海岸コンクリートブロック工			5-58
	１－４－５コンクリート被覆工			5-58
第５節　擁壁工	１－５－３場所打擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47
第６節　天端被覆工	１－６－２コンクリート被覆工			5-58
第７節　波返工	１－７－３波返工			5-58
第８節　裏法被覆工	１－８－２石積（張）工		第３編２－５－５石積（張）工	5-42
	１－８－３コンクリートブロック工		第３編２－５－３コンクリートブロック工	5-41
	１－８－４コンクリート被覆工		第７編１－４－５コンクリート被覆工	5-58
	１－８－５法枠工		第３編２－３－５法枠工	5-38
第９節　カルバート工	１－９－３プレキャストカルバート工		第３編３－４－１プレキャストカルバート工	5-49
第10節　排水構造物工	１－10－３側溝工		第３編３－１－６側溝工	5-47
	１－10－４集水桝工		第３編３－１－８集水桝工	5-47
	１－10－５管渠工	プレキャストパイプ	第３編３－１－９暗渠工	5-47
		プレキャストボックス	第３編３－１－９暗渠工	5-47
		コルゲートパイプ	第３編３－１－９暗渠工	5-47
		タグタイル鋳鉄管	第３編３－１－９暗渠工	5-47
	１－10－６場所打水路工		第３編３－１－７場所打水路工	5-47
第11節　付属物設置工	１－11－３防止柵工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
	１－11－６階段工		第３編３－１－11階段工	5-48
第12節　付帯道路工	１－12－３路側防護柵工		第３編２－３－11路側防護柵工	5-39
	１－12－５アスファルト舗装工		第３編２－６－５アスファルト舗装工	5-42
	１－12－６コンクリート舗装工		第３編２－６－６コンクリート舗装工	5-43
	１－12－７薄層カラー舗装工		第３編２－６－７薄層カラー舗装工	5-44
	１－12－８側溝工		第３編３－１－６側溝工	5-47
	１－12－９集水桝工		第３編３－１－８集水桝工	5-47
	１－12－10縁石工		第３編２－３－８縁石工	5-38
	１－12－11区画線工		第３編２－３－12区画線工	5-39
第13節　付帯道路施設工	１－13－３道路付属物工		第３編２－３－13道路付属物工	5-39
	１－13－４小型標識工		第３編２－３－９小型標識工	5-38
第２章　突堤・人工岬				
第３節　突堤基礎工	２－３－４捨石工			5-58
	２－３－５吸出し防止工			5-58
第４節　突堤本体工	２－４－２捨石工			5-58
	２－４－５海岸コンクリートブロック工			5-59
	２－４－６既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第７編　河川海岸編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第４節　突堤本体工	２－４－７詰杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	２－４－８矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
	２－４－９石枠工			5-59
	２－４－10場所打コンクリート工			5-59
	２－４－11ケーソン工	ケーソン工製作		5-59
		ケーソン工据付		5-59
		突堤上部工（場所打コンクリート）（海岸コンクリートブロック）		5-59
	２－４－12セルラー工	セルラー工製作		5-59
		セルラー工据付		5-59
		突堤上部工（場所打コンクリート）（海岸コンクリートブロック）		5-60
第５節　根固め工	２－５－２捨石工			5-60
	２－５－３根固めブロック工			5-60
第６節　消波工	２－６－２捨石工		第７編２－５－２捨石工	5-60
	２－６－３消波ブロック工			5-60
第３章　海域堤防（人工リーフ、離岸堤、潜堤）				
第３節　海域堤基礎工	３－３－３捨石工			5-60
	３－３－４吸出し防止工		第７編２－３－５吸出し防止工	5-58
第４節　海域堤本体工	３－４－２捨石工		第７編２－３－４捨石工	5-58
	３－４－３海岸コンクリートブロック工		第７編２－４－５海岸コンクリートブロック工	5-59
	３－４－４ケーソン工		第７編２－４－11ケーソン工	5-59
	３－４－５セルラー工		第７編２－４－12セルラー工	5-59
	３－４－６場所打コンクリート工		第７編２－４－10場所打ちコンクリート工	5-59
第４章　浚渫（海）				
第２節　浚渫工（ポンプ浚渫船）	４－２－２浚渫船運転工		第３編３－３－１浚渫船運転工	5-48
第３節　浚渫工（グラブ船）	４－３－２浚渫船運転工		第３編３－３－１浚渫船運転工	5-48
第５章　養浜				
第２節　砂止工	５－２－２根固めブロック工		第７編２－５－３根固めブロック工	5-60

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第８編　砂防編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第１章　砂防堰堤				
第３節　工場製作工	１－３－３鋼製堰堤製作工		第３編２－３－14－３桁製作工（鋼製堰堤製作工（仮組立時））	5-39
	１－３－４鋼製堰堤仮設材製作工			5-61
	１－３－５工場塗装工		第３編２－３－15工場塗装工	5-39
第４節　法面工	１－４－２植生工		第３編２－３－７植生工	5-38
	１－４－３法面吹付け工		第３編２－３－６吹付工	5-38
	１－４－４法枠工		第３編２－３－５法枠工	5-38
	１－４－６アンカー工		第３編３－１－５アンカー工	5-47
	１－４－７かご工	じゃかご	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		ふとんかご	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
第６節　コンクリート堰堤工	１－６－４コンクリート堰堤本体工			5-61
	１－６－５コンクリート副堰堤工		第８編１－６－４コンクリート堰堤本体工	5-61
	１－６－６コンクリート側壁工			5-61
	１－６－８水叩工			5-61
第７節　鋼製堰堤工	１－７－５鋼製堰堤本体工	不透過型		5-61
		透過型		5-61
	１－７－６鋼製側壁工			5-61
	１－７－７コンクリート側壁工		第８編１－６－６コンクリート側壁工	5-61
	１－７－９水叩工		第８編１－６－８水叩工	5-61
	１－７－10現場塗装工		第３編３－１－１現場塗装工	5-47
第８節　護床工・根固め工	１－８－４根固めブロック工		第３編３－２－５根固めブロック	5-48
	１－８－６沈床工		第３編３－２－６沈床工	5-48
	１－８－７かご工	じゃかご	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		ふとんかご	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
第９節　砂防堰堤付属物設置工	１－９－３防止柵工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
第10節　付帯道路工	１－10－３路側防護柵工		第３編２－３－11路側防護柵工	5-39
	１－10－５アスファルト舗装工		第３編２－６－５アスファルト舗装工	5-42
	１－10－６コンクリート舗装工		第３編２－６－６コンクリート舗装工	5-43
	１－10－７薄層カラー舗装工		第３編２－６－７薄層カラー舗装工	5-44
	１－10－８側溝工		第３編３－１－７場所打水路工	5-47
	１－10－９集水桝工		第３編３－１－８集水桝工	5-47
	１－10－10縁石工		第３編２－３－８縁石工	5-38
	１－10－11区画線工		第３編２－３－12区画線工	5-39
第11節　付帯道路施設工	１－11－３道路付属物工		第３編２－３－13道路付属物工	5-39
	１－11－４小型標識工		第３編２－３－９小型標識工	5-38
第２章　流路				
第３節　流路護岸工	２－３－４基礎工		第３編２－４－３法留基礎工	5-40
	２－３－５コンクリート擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47
	２－３－６ブロック積擁壁工		第３編２－５－３コンクリートブロック工	5-41
	２－３－７石積擁壁工		第３編２－５－５石積（張）工	5-42
	２－３－８護岸付属物工		第３編３－２－８護岸付属物工	5-48
	２－３－９植生工		第３編２－３－７植生工	5-38
第４節　床固め工	２－４－４床固め本体工		第８編１－６－４コンクリート堰堤本体工	5-61

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第８編　砂防編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第４節　床固め工	２－４－５垂直壁工		第８編１－６－４コンクリート堰堤本体工	5-61
	２－４－６側壁工		第８編１－６－６コンクリート側壁工	5-61
	２－４－７水叩工		第８編１－６－８水叩工	5-61
	２－４－８魚道工			5-62
第５節　根固め・水制工	２－５－４根固めブロック工		第３編３－２－５根固めブロック	5-48
	２－５－６捨石工		第３編３－２－７捨石工	5-48
	２－５－７かご工	じゃかご	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		ふとんかご	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
		かごマット	第３編３－２－２かごマット	5-48
第６節　流路付属物設置工	２－６－２階段工		第３編３－１－11階段工	5-48
	２－６－３防止柵工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
第3章　斜面対策				
第３節　法面工	３－３－２植生工		第３編２－３－７植生工	5-38
	３－３－３吹付工		第３編２－３－６吹付工	5-38
	３－３－４法枠工		第３編２－３－５法枠工	5-38
	３－３－５かご工	じゃかご	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		ふとんかご	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
	３－３－６アンカー工（プレキャストコンクリート板）		第３編３－１－５アンカー工	5-47
	３－３－７抑止アンカー工		第３編３－１－５アンカー工	5-47
第４節　擁壁工	３－４－３既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	３－４－４場所打擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47
	３－４－５プレキャスト擁壁工		第３編３－１－３プレキャスト擁壁工	5-47
	３－４－６補強土壁工		第10編１－５－７補強土壁工	5-36
	３－４－７井桁ブロック工		第３編３－１－４井桁ブロック工	5-47
	３－４－８落石防護工		第３編３－４－２落石防護柵工	5-49
第５節　山腹水路工	３－５－３山腹集水路・排水路工		第３編３－１－７場所打水路工	5-47
	３－５－４山腹明暗渠工			5-62
	３－５－５山腹暗渠工		第３編３－１－９暗渠工	5-47
	３－５－６現場打水路工		第３編３－１－７場所打水路工	5-47
	３－５－７集水桝工		第３編３－１－８集水桝工	5-47
第６節　地下水排除工	３－６－４集排水ボーリング工			5-62
	３－６－５集水井工			5-62
第７節　地下水遮断工	３－７－３場所打擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47
	３－７－４固結工		第３編２－７－９固結工	5-46
	３－７－５矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
第８節　抑止杭工	３－８－３既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	３－８－４場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-40
	３－８－５シャフト工（深礎工）		第３編２－４－６深礎工	5-40
	３－８－６合成杭工			5-62

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第９編　ダム編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第１章　コンクリートダム				
第４節　ダムコンクリート工	１－４コンクリートダム工（本体）			5-63
	１－４コンクリートダム工（水叩）			5-63
	１－４コンクリートダム工（副ダム）			5-63
	１－４コンクリーダム工（導流壁）			5-63
第２章　フィルダム				
第３節　盛立工	２－３－５コアの盛立			5-63
	２－３－６フィルターの盛立			5-63
	２－３－７ロックの盛立			5-63
	２フィルダム（洪水吐）			5-64
第３章　基礎グラウチング				
第３節　ボーリング工	３－３ボーリング工			5-64

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第10編　道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第１章　道路改良				
第３節　工場製作工	１－３－２遮音壁支柱製作工	遮音壁支柱製作工		5-65
		工場塗装工	第３編２－３－15工場塗装工	5-39
第４節　法面工	１－４－２植生工		第３編２－３－７植生工	5-38
	１－４－３法面吹付工		第３編２－３－６吹付工	5-38
	１－４－４法枠工		第３編２－３－５法枠工	5-38
	１－４－６アンカー工		第３編３－１－５アンカー工	5-47
	１－４－７かご工	じゃかご	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		ふとんかご	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
第５節　擁壁工	１－５－３既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	１－５－４場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-40
	１－５－５場所打擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47
	１－５－６プレキャスト擁壁工		第３編３－１－３プレキャスト擁壁工	5-47
	１－５－７補強土壁工	補強土（テールアルメ）壁工法	第１編２－３－４盛土補強工	5-36
		多数アンカー式補強土工法	第１編２－３－４盛土補強工	5-36
		ジオテキスタイルを用いた補強土工法	第１編２－３－４盛土補強工	5-36
	１－５－８井桁ブロック工		第３編３－１－４井桁ブロック工	5-47
第６節　石・ブロック積（張）工	１－６－３コンクリートブロック工		第３編２－５－３コンクリートブロック工	5-41
	１－６－４石積（張）工		第３編２－５－５石積（張）工	5-41
第７節　カルバート工	１－７－４既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-41
	１－７－５場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-41
	１－７－６場所打函渠工			5-65
	１－７－７プレキャストカルバート工		第３編３－４－１プレキャストカルバート工	5-49
第８節　排水構造物工（小型水路工）	１－８－３側溝工		第３編３－１－６側溝工	5-47
	１－８－４管渠工		第３編３－１－６側溝工	5-47
	１－８－５集水桝・マンホール工		第３編３－１－８集水桝工	5-47
	１－８－６地下排水工		第３編３－１－９暗渠工	5-47
	１－８－７場所打水路工		第３編３－１－７場所打水路工	5-47
	１－８－８排水工（小段排水・縦排水）		第３編３－１－６側溝工	5-47
第９節　落石雪害防止工	１－９－４落石防止網工			5-65
	１－９－５落石防護柵工		第３編３－４－２落石防護柵工	5-49
	１－９－６防雪柵工			5-65
	１－９－７雪崩予防柵工			5-65
第10節　遮音壁工	１－10－４遮音壁基礎工			5-65
	１－10－５遮音壁本体工			5-65
第２章　舗装				
第３節　舗装工	２－３－５アスファルト舗装工		第３編２－６－５アスファルト舗装工	5-42
	２－３－６半たわみ性舗装工		第３編３－４－27半たわみ性舗装工	5-52
	２－３－７排水性舗装工		第３編３－４－28排水性舗装工	5-53
	２－３－８透水性舗装工		第３編３－４－30透水性舗装工	5-54
	２－３－９グースアスファルト舗装工		第３編３－４－29グースアスファルト舗装工	5-53
	２－３－10コンクリート舗装工		第３編２－６－６コンクリート舗装工	5-43

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第10編　道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第３節　舗装工	２－３－11薄層カラー舗装工		第３編２－６－７薄層カラー舗装工	5-44
	２－３－12ブロック舗装工		第３編２－６－８ブロック舗装工	5-45
	２－３歩道路盤工			5-65
	２－３取合舗装路盤工			5-65
	２－３路肩舗装路盤工			5-65
	２－３歩道舗装工			5-66
	２－３取合舗装工			5-66
	２－３路肩舗装工			5-66
	２－３表層工			5-66
第４節　排水構造物工（路面排水工）	２－４－３側溝工		第３編３－１－６側溝工	5-47
	２－４－４管渠工		第３編３－１－６側溝工	5-47
	２－４－５集水桝（街渠桝）・マンホール工		第３編３－１－８集水桝工	5-47
	２－４－６地下排水工		第３編３－１－９暗渠工	5-47
	２－４－７場所打水路工		第３編３－１－７場所打水路工	5-47
	２－４－８排水工（小段排水・縦排水）		第３編３－１－６側溝工	5-47
	２－４－９排水性舗装用路肩排水工			5-66
第５節　縁石工	２－５－３縁石工		第３編２－３－８縁石工	5-38
第６節　踏掛版工	２－６－４踏掛版工	コンクリート工		5-66
		ラバーシュー		5-66
		アンカーボルト		5-66
第７節　防護柵工	２－７－３路側防護柵工		第３編２－３－11路側防護柵工	5-39
	２－７－４防止柵工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
	２－７－５ボックスビーム工		第３編２－３－11路側防護柵工	5-39
	２－７－６車止めポスト工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
第８節　標識工	２－８－３小型標識工		第３編２－３－９小型標識工	5-38
	２－８－４大型標識工	標識基礎工		5-66
		標識柱工		5-66
第９節　区画線工	２－９－２区画線工		第３編２－３－12区画線工	5-39
第11節　道路付属施設工	２－11－４道路付属物工		第３編２－３－13道路付属物工	5-39
	２－11－５ケーブル配管工			5-66
		ハンドホール		5-66
	２－11－６照明工	照明柱基礎工		5-67
第12節　橋梁付属物工	２－12－２伸縮装置工		第３編３－４－13伸縮装置工	5-50
第３章　橋梁下部				
第３節　工場製作工	３－３－２刃口金物製作工		第３編３－１－10刃口金物製作工	5-48
	３－３－３鋼製橋脚製作工			5-67
	３－３－４アンカーフレーム製作工		第３編３－４－10アンカーフレーム製作工	5-49
	３－３－５工場塗装工		第３編２－３－15工場塗装工	5-39
第４節　橋台工	３－４－３既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	３－４－４場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-40
	３－４－５深礎工		第３編２－４－６深礎工	5-40
	３－４－６オープンケーソン基礎工		第３編２－４－７オープンケーソン基礎工	5-40
	３－４－７ニューマチックケーソン基礎工		第３編２－４－８ニューマッチクケーソン基礎工	5-41
	３－４－８橋台躯体工			5-67
第５節　ＲＣ橋脚工	３－５－３既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	３－５－４場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-40
	３－５－５深礎工		第３編２－４－６深礎工	5-40

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第10編　道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第５節　ＲＣ橋脚工	３－５－６オープンケーソン基礎工		第３編２－４－７オープンケーソン基礎工	5-40
	３－５－７ニューマチックケーソン基礎工		第３編２－４－８ニューマッチクケーソン基礎工	5-41
	３－５－８鋼管矢板基礎工		第３編２－４－９鋼管矢板基礎工	5-40
	３－５－９橋脚躯体工	張出式		5-67
		重力式	第10編３－５－９橋脚躯体工	5-67
		半重力式	第10編３－５－９橋脚躯体工	5-67
		ラーメン式		5-67
第６節　鋼製橋脚工	３－６－３既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	３－６－４場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-40
	３－６－５深礎工		第３編２－４－６深礎工	5-40
	３－６－６オープンケーソン基礎工		第３編２－４－７オープンケーソン基礎工	5-40
	３－６－７ニューマチックケーソン基礎工		第３編２－４－８ニューマッチクケーソン基礎工	5-41
	３－６－８鋼管矢板基礎工		第３編２－４－９鋼管矢板基礎工	5-41
	３－６－９橋脚フーチング工	Ｉ型・Ｔ型		5-67
		門型		5-67
	３－６－10橋脚架設工	Ｉ型・Ｔ型		5-67
		門型		5-67
	３－６－11現場継手工			5-68
	３－６－12現場塗装工		第３編３－１－１現場塗装工	5-47
第７節　護岸基礎工	３－７－３基礎工		第３編２－４－３基礎工（護岸）	5-40
	３－７－４矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
第８節　矢板護岸工	３－８－３笠コンクリート工		第３編２－４－３基礎工（護岸）	5-40
	３－８－４矢板工		第３編２－３－４矢板工	5-38
第９節　法覆護岸工	３－９－２コンクリートブロック工		第３編２－５－３コンクリートブロック工	5-41
	３－９－３護岸付属物工		第３編３－２－８護岸付属物工	5-48
	３－９－４緑化ブロック工		第３編２－５－４緑化ブロック工	5-42
	３－９－５環境護岸ブロック工		第３編２－５－３コンクリートブロック工	5-41
	３－９－６石積（張）工		第３編２－５－５石積（張）工	5-42
	３－９－７法枠工		第３編２－３－５法枠工	5-38
	３－９－８多自然型護岸工	巨石張り	第３編３－２－１巨石張り、巨石積み	5-48
第９節　法覆護岸工	３－９－８多自然型護岸工	巨石積み	第３編３－２－１巨石張り、巨石積み	5-48
		かごマット	第３編３－２－２かごマット	5-48
	３－９－９吹付工		第３編２－３－６吹付工	5-38
	３－９－10植生工		第３編２－３－７植生工	5-38
	３－９－11覆土工		第１編２－３－５法面整形工	5-36
	３－９－12羽口工	じゃかご	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		ふとんかご	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
		かご枠	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
		連節ブロック張り	第３編２－５－３－２連節ブロック張り	5-41
第10節　擁壁護岸工	３－10－３場所打擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47
	３－10－４プレキャスト擁壁工		第３編３－１－３プレキャスト擁壁工	5-47
第４章　鋼橋上部				
第３節　工場製作工	４－３－３桁製作工		第３編２－３－14桁製作工	5-39
	４－３－４検査路製作工		第３編３－４－３検査路製作工	5-49

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第10編　道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第３節　工場製作工	４－３－５鋼製伸縮継手製作工		第３編３－４－４鋼製伸縮継手製作工	5-49
	４－３－６落橋防止装置製作工		第３編３－４－５落橋防止装置製作工	5-49
	４－３－７鋼製排水管製作工		第３編３－４－６鋼製排水管製作工	5-49
	４－３－８橋梁用防護柵製作工		第３編３－４－８橋梁用防護柵製作工	5-49
	４－３－９橋梁用高欄製作工			5-68
	４－３－10横断歩道橋製作工		第３編２－３－14桁製作工	5-39
	４－３－11鋳造費		第３編３－４－９鋳造費	5-49
	４－３－12アンカーフレーム製作工		第３編３－４－10アンカーフレーム製作工	5-49
	４－３－13工場塗装工		第３編２－３－15工場塗装工	5-39
第４節　鋼橋架設工	４－４－４架設工（クレーン架設）		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	４－４－５架設工（ケーブルクレーン架設）		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	４－４－６架設工（ケーブルエレクション架設）		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	４－４－７架設工（架設桁架設）		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	４－４－８架設工（送出し架設）		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	４－４－９架設工（トラベラークレーン架設）		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	４－４－10支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
第５節　橋梁現場塗装工	４－５－３現場塗装工		第３編３－１－１現場塗装工	5-47
第６節　床版工	４－６－２床版工		第３編３－４－12床版・横組工	5-50
第７節　橋梁付属物工	４－７－２伸縮装置工		第３編３－４－13伸縮装置工	5-50
	４－７－５地覆工		第３編３－４－14地覆工	5-50
	４－７－６橋梁用防護柵工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	４－７－７橋梁用高欄工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	４－７－８検査路工		第３編３－４－16検査路工	5-50
第８節　歩道橋本体工	４－８－３既製杭工		第３編２－４－４既製杭工	5-40
	４－８－４場所打杭工		第３編２－４－５場所打杭工	5-40
	４－８－５橋脚フーチング工	Ｉ型	第10編３－６－９橋脚フーチング工	5-67
		Ｔ型	第10編３－６－９橋脚フーチング工	5-67
	４－８－６歩道橋架設工		第３編３－４－18架設工（鋼橋）	5-51
	４－８－７現場塗装工		第３編３－１－１現場塗装工	5-47
第５章　コンクリート橋上部				
第３節　工場製作工	５－３－２プレビーム用桁製作工		第３編３－４－７プレビーム用桁製作工	5-49
	５－３－３橋梁用防護柵製作工		第３編３－４－８橋梁用防護柵製作工	5-49
	５－３－４鋼製伸縮継手製作工		第３編３－４－４鋼製伸縮継手製作工	5-49
	５－３－５検査路製作工		第３編３－４－３検査路製作工	5-49
	５－３－６工場塗装工		第３編２－３－15工場塗装工	5-39
	５－３－７鋳造費		第３編３－４－９鋳造費	5-49
第４節　ＰＣ橋工	５－４－２プレテンション桁製作工（購入工）	けた橋	第３編３－４－19プレテンション桁製作工（購入工）	5-51

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第10編　道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第４節　ＰＣ橋工	５－４－２プレテンション桁製作工（購入工）	スラブ橋	第３編３－４－19プレテンション桁製作工（購入工）	5-51
	５－４－３ポストテンション桁製作工		第３編３－４－20ポストテンション桁製作工	5-51
	５－４－４プレキャストセグメント製作工（購入工）		第３編３－４－21プレキャストセグメント製作工（購入工）	5-51
	５－４－５プレキャストセグメント主桁組立工		第３編３－４－22プレキャストセグメント主桁組立工	5-51
	５－４－６支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
	５－４－７架設工（クレーン架設）		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
	５－４－８架設工（架設桁架設）		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
	５－４－９床版・横組工		第３編３－４－12床版・横組工	5-50
	５－４－10落橋防止装置工		第３編３－４－34落橋防止装置工	5-54
第５節　プレビーム桁橋工	５－５－２プレビーム桁製作工（現場）			5-68
	５－５－３支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
	５－５－４架設工（クレーン架設）		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
	５－５－５架設工（架設桁架設）		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
	５－５－６床版・横組工		第３編３－４－12床版・横組工	5-50
	５－５－９落橋防止装置工		第３編３－４－34落橋防止装置工	5-54
第６節　ＰＣホロースラブ橋工	５－６－２架設支保工（固定）		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
	５－６－３支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
	５－６－４ＰＣホロースラブ製作工		第３編３－４－23ＰＣホロースラブ製作工	5-51
	５－６－５落橋防止装置工		第３編３－４－34落橋防止装置工	5-54
第７節　ＲＣホロースラブ橋工	５－７－２架設支保工（固定）		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
	５－７－３支承工		第３編３－４－17支承工	5-51
	５－７－４ＲＣ場所打ホロースラブ製作工		第３編３－４－23ＰＣホロースラブ製作工	5-51
	５－７－５落橋防止装置工		第３編３－４－34落橋防止装置工	5-54
第８節　ＰＣ版桁橋工	５－８－２ＰＣ版桁製作工		第３編３－４－23ＰＣホロースラブ製作工	5-51
第９節　ＰＣ箱桁橋工	５－９－２架設支保工（固定）		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
	５－９－３支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
	５－９－４ＰＣ箱桁製作工		第３編３－４－24ＰＣ箱桁製作工	5-51
	５－９－５落橋防止装置工		第３編３－４－34落橋防止装置工	5-54
第10節　ＰＣ片持箱桁橋工	５－10－２ＰＣ片持箱桁製作工		第３編３－４－24ＰＣ箱桁製作工	5-51
	５－10－３支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
	５－10－４架設工（片持架設）		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
第11節　ＰＣ押出し箱桁橋工	５－11－２ＰＣ押出し箱桁製作工		第３編３－４－25ＰＣ押出し箱桁製作工	5-52
	５－11－３架設工（押出し架設）		第３編３－４－26架設工（コンクリート橋）	5-52
第12節　橋梁付属物工	５－12－２伸縮装置工		第３編３－４－13伸縮装置工	5-50
	５－12－４地覆工		第３編３－４－14地覆工	5-50
	５－12－５橋梁用防護柵工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	５－12－６橋梁用高欄工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	５－12－７検査路工		第３編３－４－16検査路工	5-50
第６章　トンネル（ＮＡＴＭ）				

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第10編　道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第４節　支保工	６－４－３吹付工			5-68
	６－４－４ロックボルト工			5-68
第５節　覆工	６－５－３覆工コンクリート工			5-68
	６－５－４側壁コンクリート工		第10編６－５－３覆工コンクリート工	5-68
	６－５－５床版コンクリート工			5-69
第６節　インバート工	６－６－４インバート本体工			5-69
第７節　坑内付帯工	６－７－５地下排水工		第３編３－１－９暗渠工	5-47
第８節　坑門工	６－８－４坑門本体工			5-69
	６－８－５明り巻工			5-69
第7章　トンネル（矢板）				
第５節　覆工	７－５－３覆工コンクリート工			5-69
	７－５－４床版コンクリート工		第10編６－５－５床版コンクリート工	5-69
第６節　インバート工	７－６－４インバート本体工			5-70
第７節　坑内付帯工	７－７－５地下排水工		第３編３－１－９暗渠工	5-47
第12章　共同溝				
第３節　工場製作工	12－３－３工場塗装工		第３編２－３－15工場塗装工	5-39
第５節　現場打構築工	12－５－２現場打躯体工			5-70
	12－５－４カラー継手工			5-70
	12－５－５防水工	防水		5-70
		防水保護工		5-70
		防水壁		5-70
第６節　プレキャスト構築工	12－６－２プレキャスト躯体工			5-70
第13章　電線共同溝				
第５節　電線共同溝工	13－５－２管路工（管路部）			5-71
	13－５－３プレキャストボックス工（特殊部）			5-71
	13－５－４現場打ちボックス工（特殊部）		第10編12－５－２現場打躯体工	5-71
第６節　付帯設備工	13－６－２ハンドホール工			5-71
第14章　情報ボックス工				
第３節　情報ボックス工	14－３－３管路工（管路部）		第10編13－５－２管路工（管路部）	5-71
第４節　付帯設備工	14－４－２ハンドホール工		第10編13－６－２ハンドホール工	5-71
第15章　道路維持				
第４節　舗装工	15－４－３路面切削工		第３編３－４－31路面切削工	5-54
	15－４－４舗装打換え工		第３編３－４－32舗装打換え工	5-54
	15－４－５切削オーバーレイ工			5-71
	15－４－６オーバーレイ工		第３編３－４－33オーバーレイ工	5-54
	15－４－７路上再生工			5-71
	15－４－８薄層カラー舗装工		第３編２－６－７薄層カラー舗装工	5-44
第５節　排水構造物工	15－５－３側溝工		第３編３－１－６側溝工	5-47
	15－５－４管渠工		第３編３－１－６側溝工	5-47
	15－５－５集水桝・マンホール工		第３編３－１－８集水桝工	5-47
	15－５－６地下排水工		第３編３－１－９暗渠工	5-47

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第10編　道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第５節　排水構造物工	15－５－７場所打水路工		第３編３－１－７場所打水路工	5-47
	15－５－８排水工		第３編３－１－６側溝工	5-47
第６節　防護柵工	15－６－２路側防護柵工		第３編２－３－11路側防護柵工	5-39
	15－６－３防止柵工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
	15－６－５ボックスビーム工		第３編２－３－11路側防護柵工	5-39
	15－６－６車止めポスト工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
第７節　標識工	15－７－３小型標識工		第３編２－３－９小型標識工	5-38
	15－７－４大型標識工		第10編２－８－４大型標識工	5-66
第８節　道路付属施設工	15－８－４道路付属物工		第３編２－３－13道路付属物工	5-39
	15－８－５ケーブル配管工		第10編２－11－５ケーブル配管工	5-66
	15－８－６照明工		第10編２－11－６照明工	5-67
第９節　擁壁工	15－９－３場所打擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47
	15－９－４プレキャスト擁壁工		第３編３－１－３プレキャスト擁壁工	5-47
第10節　石・ブロック積（張）工	15－10－３コンクリートブロック工		第３編２－５－３コンクリートブロック工	5-41
	15－10－４石積（張）工		第３編２－５－５石積（張）工	5-42
第11節　カルバート工	15－11－４場所打函渠工		第10編１－７－６場所打函渠工	5-65
	15－11－５プレキャストカルバート工		第３編３－４－１プレキャストカルバート工	5-49
第12節　法面工	15－12－２植生工		第３編２－３－７植生工	5-38
	15－12－３法面吹付工		第３編２－３－６吹付工	5-38
	15－12－４法枠工		第３編２－３－５法枠工	5-38
	15－12－６アンカー工		第３編３－１－５アンカー工	5-47
	15－12－７かご工	じゃかご	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		ふとんかご	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
第14節　橋梁付属物工	15－14－２伸縮継手工		第３編３－４－13伸縮装置工	5-50
	15－14－４地覆工		第３編３－４－14地覆工	5-50
	15－14－５橋梁用防護柵工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	15－14－６橋梁用高欄工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	15－14－７検査路工		第３編３－４－16検査路工	5-50
第16節　現場塗装工	15－16－６コンクリート面塗装工		第３編２－３－16コンクリート面塗装工	5-39
第17章　道路修繕				
第３節　工場製作工	17－３－４桁補強材製作工			5-71
	17－３－５落橋防止装置製作工		第３編３－４－５落橋防止装置製作工	5-49
第４節　舗装工	17－４－３路面切削工		第３編３－４－31路面切削工	5-54
	17－４－４舗装打換え工		第３編３－４－32舗装打換え工	5-54
	17－４－５切削オーバーレイ工		第10編15－４－５切削オーバーレイ工	5-71
	17－４－６オーバーレイ工		第３編３－４－33オーバーレイ工	5-54
	17－４－７路上再生工		第10編15－４－７路上再生工	5-71
	17－４－８薄層カラー舗装工		第３編２－６－７薄層カラー舗装工	5-44
	17－４－10歩道舗装修繕工		第10編２－３歩道路盤工、歩道舗装工	5-65
第５節　排水構造物工	17－５－３側溝工		第３編３－１－６側溝工	5-47
	17－５－４管渠工		第３編３－１－６側溝工	5-47
	17－５－５集水枡・マンホール工		第３編３－１－８集水桝工	5-47
	17－５－６地下排水工		第３編３－１－９暗渠工	5-47
	17－５－７場所打水路工		第３編３－１－７場所打水路工	5-47

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表【第10編　道路編】

章、節	条	枝番	準用する写真管理基準	頁
第５節　排水構造物工	17－５－８排水工		第３編３－１－６側溝工	5-47
第６節　縁石工	17－６－３縁石工		第３編２－３－８縁石工	5-38
第７節　防護柵工	17－７－３路側防護柵工		第３編２－３－11路側防護柵工	5-39
	17－７－４防止柵工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
	17－７－５ボックスビーム工		第３編２－３－11路側防護柵工	5-39
	17－７－６車止めポスト工		第３編２－３－10防止柵工	5-39
第８節　標識工	17－８－３小型標識工		第３編２－３－９小型標識工	5-38
	17－８－４大型標識工		第10編２－８－４大型標識工	5-66
第９節　区画線工	17－９－２区画線工		第３編２－３－12区画線工	5-39
第11節　道路付属施設工	17－11－４道路付属物工		第３編２－３－13道路付属物工	5-39
	17－11－５ケーブル配管工		第10編２－11－５ケーブル配管工	5-66
	17－11－６照明工		第10編２－11－６照明工	5-67
第12節　擁壁工	17－12－３場所打擁壁工		第３編３－１－２場所打擁壁工	5-47
	17－12－４プレキャスト擁壁工		第３編３－１－３プレキャスト擁壁工	5-47
第13節　石・ブロック積（張）工	17－13－３コンクリートブロック工		第３編２－５－３コンクリートブロック工	5-41
	17－13－４石積（張）工		第３編２－５－５石積（張）工	5-42
第14節　カルバート工	17－14－４場所打函渠工		第10編１－７－６場所打函渠工	5-65
	17－14－５プレキャストカルバート工		第３編３－４－１プレキャストカルバート工	5-49
第15節　法面工	17－15－２植生工		第３編２－３－７植生工	5-38
	17－15－３法面吹付工		第３編２－３－６吹付工	5-38
	17－15－４法枠工		第３編２－３－５法枠工	5-38
	17－15－６アンカー工		第３編３－１－５アンカー工	5-47
	17－15－７かご工	じゃかご	第３編３－２－３じゃかご	5-48
		ふとんかご	第３編３－２－４ふとんかご、かご枠	5-48
第16節　落石雪害防止工	17－16－４落石防止網工		第10編１－９－４落石防止網工	5-65
	17－16－５落石防護柵工		第３編３－４－２落石防護柵工	5-49
	17－16－６防雪柵工		第10編１－９－６防雪柵工	5-65
	17－16－７雪崩予防柵工		第10編１－９－７雪崩予防柵工	5-65
第18節　鋼桁工	17－18－３鋼桁補強工		第10編17－３－４桁補強材製作工	5-71
第19節　橋梁支承工	17－19－３鋼橋支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
	17－19－４ＰＣ橋支承工		第３編３－４－17支承工	5-50
第20節　橋梁付属物工	17－20－３伸縮継手工		第３編３－４－13伸縮継手工	5-50
	17－20－４落橋防止装置工		第３編３－４－34落橋防止装置工	5-54
	17－20－６地覆工		第３編３－４－14地覆工	5-50
	17－20－７橋梁用防護柵工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	17－20－８橋梁用高欄工		第３編３－４－15橋梁用防護柵工、橋梁用高欄工	5-50
	17－20－９検査路工		第３編３－４－16検査路工	5-50
第23節　現場塗装工	17－23－３橋梁塗装工		第３編３－１－１現場塗装工	5-47
	17－23－６コンクリート面塗装工		第３編２－３－16コンクリート面塗装工	5-39

※「準用する写真管理基準」は準用先を示す。空白部は「条」の欄に準用先を示す。

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第１編共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に１回〔掘削中〕	代表箇所 各１枚	
						法長	40m又は１施工箇所に１回 〔掘削後〕		
	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3		盛土工	巻出し厚	40mに１回〔巻出し時〕	代表箇所 各１枚	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に１回〔締固め時〕		
						法長 幅	40m又は１施工箇所に１回 〔施工後〕		
	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	4		盛土補強工 （補強土（テールアルメ）壁工法） （多数アンカー式補強土工法） （ジオテキスタイルを用いた補強土工法）	厚さ	40m又は１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	5		法面整形工（盛土部）	仕上げ状況 厚さ	40m又は１施工箇所に１回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各１枚	
	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	6		堤防天端工	厚さ 幅	40mに１回〔施工後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第１編共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
1 共通編	2 土工	4 道路土工	2		掘削工	土質等の判別	地質が変わる毎に１回〔掘削中〕	代表箇所 各１枚	
						法長	40m又は１施工箇所に１回 〔掘削後〕		
	2 土工	4 道路土工	3 4		路体盛土工 路床盛土工	巻出し厚	40mに１回〔巻出し時〕	代表箇所 各１枚	
						締固め状況	転圧機械又は地質が変わる毎に１回〔締固め時〕		
						法長 幅	40m又は１施工箇所に１回 〔施工後〕		
	2 土工	4 道路土工	5		法面整形工（盛土部）	仕上げ状況 厚さ	40m又は１施工箇所に１回 〔仕上げ時〕	代表箇所 各１枚	
	3 無筋、鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4	1	組立て	平均間隔	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設毎に１回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)	代表箇所 各１枚	
						かぶり	ｺﾝｸﾘｰﾄ打設毎に１回 (重要構造物かつ主鉄筋について適用)		
	3 無筋、鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4	2	組立て ※新設のコンクリート構造物の内、橋梁上部工事と下部工事	非破壊試験（電磁誘導法、電磁波レーダ法）	試験毎に１回〔試験実施中〕	代表箇所 各１枚〔試験種別毎〕	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
３土木工事共通編	２一般施工	３共通的工種	4		矢板工〔指定仮設・任意仮設は除く〕 （鋼矢板） （軽量鋼矢板） （コンクリート矢板） （広幅鋼矢板） （可とう鋼矢板）	根入長	40m又は１施工箇所に１回〔打込前後〕	代表箇所 各１枚	
						変位	20m又は１施工箇所に１回〔打込後〕		
						数量	全数量〔打込後〕		
	２一般施工	３共通的工種	5	1	法枠工 （現場打法枠工） （現場吹付法枠工）	法長、 幅、 高さ、 吹付枠中心間隔	40m又は１施工箇所に１回〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	２一般施工	３共通的工種	5	2	法枠工（プレキャスト法枠工）	法長	40m又は１施工箇所に１回〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	２一般施工	３共通的工種	6		吹付工 （コンクリート） （モルタル）	清掃状況	100m又は１施工箇所に１回〔清掃後〕	代表箇所 各１枚	
						ラス鉄網の重ね合せ寸法	100m又は１施工箇所に１回〔吹付前〕		
						法長	40m又は１施工箇所に１回〔施工後〕		
						厚さ（検測孔）	100m²又は１施工箇所に１回〔吹付後〕		
	２一般施工	３共通的工種	7	1	植生工 （種子散布工） （張芝工） （筋芝工） （市松芝工） （植生シート工、植生マット工） （植生筋工） （人工張芝工） （植生穴工）	材料使用量	１工事に１回〔混合前〕	代表箇所 各１枚	
						土羽土の厚さ	100m又は１施工箇所に１回〔施工中〕		
						法長	40m又は１施工箇所に１回〔施工後〕		
	２一般施工	３共通的工種	7	2	植生工 （植生基材吹付工） （客土吹付工）	清掃状況	100m又は１施工箇所に１回〔清掃後〕	代表箇所 各１枚	
						ラス鉄網の重ね合せ寸法	100m又は１施工箇所に１回〔吹付前〕		
						厚さ（検測孔）	100m²又は１施工箇所に１回〔吹付後〕		
						法長	40m又は１施工箇所に１回〔施工後〕		
						材料使用量	１工事に１回〔混合前〕		
	２一般施工	３共通的工種	8		縁石工（縁石・アスカーブ）	施工状況	１種別毎に１回〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
	２一般施工	３共通的工種	9		小型標識工	基礎幅 基礎高さ 根入れ長	基礎タイプ毎５箇所に１回〔施工後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
３土木工事共通編	２一般施工	３共通的工種	10		防止柵工 （立入防止柵） （転落（横断）防止柵） （車止めポスト）	※基礎幅 ※基礎高さ	１施工箇所に１回 （※印は現場打ち部分がある場合） 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
						パイプ取付高	１施工箇所に１回 〔施工後〕		
	２一般施工	３共通的工種	11	１	路側防護柵工（ガードレール）	※基礎幅 ※基礎高さ ※配筋状況	１施工箇所に１回 （※印は現場打ち部分がある場合） 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
						ビーム取付高	１施工箇所に１回 〔施工後〕		
	２一般施工	３共通的工種	11	２	路側防護柵工（ガードケーブル）	※基礎幅 ※基礎高さ ※基礎延長	１施工箇所に１回 （※印は現場打ち部分がある場合） 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
						ケーブル取付高	１施工箇所に１回 〔施工後〕		
	２一般施工	３共通的工種	12		区画線工	材料使用量	全数量〔施工前後〕	代表箇所 各１枚	
						施工状況	施工日に１回 〔施工前後〕		
	２一般施工	３共通的工種	13		道路付属物工 （視線誘導標） （距離標）	高さ	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	２一般施工	３共通的工種	14	１	桁製作工（仮組立による検査を実施する場合） ※シミュレーション仮組立検査も含む	原寸状況	１橋に１回又は１工事に１回〔原寸時〕	代表箇所 各１枚	※シミュレーション仮組立検査の場合は仮組立寸法を省略
						製作状況	適宜〔製作中〕		
						仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	１橋に１回又は１工事に１回〔仮組立時〕		
	２一般施工	３共通的工種	14	２	桁製作工（仮組立検査を実施しない場合）	原寸状況	１橋に１回又は１工事に１回〔原寸時〕	代表箇所 各１枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
	２一般施工	３共通的工種	14	３	桁製作工（鋼製堰堤製作工（仮組立時））	仮組立寸法 (撮影項目は適宜)	１基に１回又は１工事に１回〔仮組立時〕	代表箇所 各１枚	
	２一般施工	３共通的工種	15		工場塗装工	材料使用量 （塗料缶）	全数量〔使用前後〕	代表箇所 各１枚	
						ケレン状況 （塗替）	部材別〔施工前後〕		
						塗装状況	各層毎に１回 〔塗装後〕		
	２一般施工	３共通的工種	16		コンクリート面塗装工	材料使用量 （塗料缶）	全数量〔使用前後〕	代表箇所 各１枚	
						ケレン状況 （塗替）	スパン毎、部材別 〔施工前後〕		
						塗装状況	各層毎に１回 〔塗装後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工　　種	写真管理項目			摘　要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
3土木工事共通編	2一般施工	4基礎工	1		一般事項 （切込砂利） （砕石基礎工） （割ぐり石基礎工） （均しコンクリート）	幅 厚さ	40m又は１施工箇所に１回〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2一般施工	4基礎工	3	1	基礎工護岸（現場打）	幅 高さ	40m又は１施工箇所に１回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各１枚	
	2一般施工	4基礎工	3	2	基礎工護岸（プレキャスト）	据付状況	40m又は１施工箇所に１回〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2一般施工	4基礎工	4		既製杭工 （既製コンクリート杭） （鋼管杭） （H鋼杭）	偏心量	１施工箇所に１回 〔打込後〕	代表箇所 各１枚	
						根入長	１施工箇所に１回 〔打込前〕		
						数量	全数量〔打込後〕		
						杭頭処理状況	１施工箇所に１回 〔処理前、中、後〕		
	2一般施工	4基礎工	5		場所打杭工	根入長	１施工箇所に１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						偏心量	１施工箇所に１回 〔打込後〕		
						数量、杭径	全数量〔打込後〕		
						杭頭処理状況	１施工箇所に１回 〔処理前、中、後〕		
						鉄筋組立状況	１施工箇所に１回 〔組立後〕		
	2一般施工	4基礎工	6		深礎工	根入長	全数量〔掘削後〕	代表箇所 各１枚	
						偏心量 数量	全数量〔施工後〕		
						ライナープレート設置状	１施工箇所に１回 〔掘削後〕		
						土質	土質の変わる毎に１回 〔掘削中〕		
						鉄筋組立状況	全数量〔組立後〕		
	2一般施工	4基礎工	7		オープンケーソン基礎工	沓	１基毎に１回 〔据付後〕	全枚数	
						ｹｰｿﾝの長さ ｹｰｿﾝの幅 ｹｰｿﾝの高さ ｹｰｿﾝの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	１ロット毎に１回 〔設置後及び型枠取外し後〕		
						載荷状況	１基に１回〔載荷時〕		
						封鎖ｺﾝｸﾘｰﾄ打設状況 中埋状況	１基に１回〔施工時〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
3土木工事共通編	2一般施工	4基礎工	8		ニューマチックケーソン基礎工	沓	1基毎に1回〔据付後〕	全枚数	
						ｹｰｿﾝの長さ ｹｰｿﾝの幅 ｹｰｿﾝの高さ ｹｰｿﾝの壁厚 偏心量 鉄筋組立状況	1ロット毎に1回〔設置後及び型枠取外し後〕		
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕		
						封鎖ｺﾝｸﾘｰﾄ打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕		
	2一般施工	4基礎工	9		鋼管矢板基礎工	沓	1基毎に1回〔据付後〕	全枚数	
						根入長 偏心量 鉄筋組立状況	1基毎に1回〔設置後〕		
						載荷状況	1基に1回〔載荷時〕		
						封鎖ｺﾝｸﾘｰﾄ打設状況 中埋状況	1基に1回〔施工時〕		
	2一般施工	5石・ブロック積（張）工	3	1	コンクリートブロック工（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ積）（ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ張り）	厚さ(裏込)	40m又は1施工箇所に1回〔施工中〕	代表箇所各1枚	
						法長 厚さ (ブロック積張)	40m又は1施工箇所に1回〔施工後〕		
	2一般施工	5石・ブロック積（張）工	3	2	コンクリートブロック工（連節ブロック張り）	法長	40m又は1施工箇所に1回〔施工後〕 ただし、根入部は40mに1回	代表箇所各1枚	
	2一般施工	5石・ブロック積（張）工	3	3	コンクリートブロック工（天端保護ブロック）	幅	40m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
3土木工事共通編	2一般施工	5石・ブロック積（張）工	4		緑化ブロック工	厚さ(裏込)	40m又は１施工箇所に１回〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						法長 厚さ（ブロック）	40m又は１施工箇所に１回〔施工後〕 ただし、根入部は40mに１回		
	2一般施工	5石・ブロック積（張）工	5		石積（張）工	厚さ(裏込)	40m又は１施工箇所に１回〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						法長 厚さ（石積・張）	40m又は１施工箇所に１回〔施工後〕 ただし、根入部は40mに１回		
	2一般施工	6一般舗装工	5	1	アスファルト舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	5	2	アスファルト舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	5	3	アスファルト舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	500㎡に１回〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	5	4	アスファルト舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	5	5	アスファルト舗装工（基層工）	整正状況	100mに１回〔整正後〕	代表箇所 各１枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に１回〔散布時〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
3土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	5	6	アスファルト舗装工（表層工）	整正状況	100mに１回〔整正後〕	代表箇所各１枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に１回〔散布時〕		
						平坦性	１工事１回〔実施中〕		
	2一般施工	6一般舗装工	6	1	コンクリート舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	6	2	コンクリート舗装工（粒度調整路盤工）	敷均し厚さ転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	6	3	コンクリート舗装工（セメント（石灰・瀝青）安定処理工）	敷均し厚さ転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	500㎡に１回〔整正後〕※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	6	4	コンクリート舗装工（アスファルト中間層）	整正状況	100mに１回〔整正後〕	代表箇所各１枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に１回〔散布時〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	6	5	コンクリート舗装工（コンクリート舗装版工）	石粉、プライムコート	各層毎に１回〔散布時〕	代表箇所各１枚	
						スリップバー、タイバー寸法、位置	40mに１回〔据付後〕		
						鉄網寸法位置	40mに１回〔据付後〕		
						平坦性	１工事１回〔実施中〕		
						厚さ	各層毎40mに１回〔型枠据付後〕		
						目地段差	１工事に１回		
	2一般施工	6一般舗装工	6	6	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）下層路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
3土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	6	7	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	6	8	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） セメント（石灰・瀝青）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回 〔整正後〕		
						厚さ	500㎡に１回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	6	9	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） アスファルト中間層	整正状況	100mに１回 〔整正後〕	代表箇所 各１枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に１回 〔散布時〕		
						幅	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	6	10	コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工）	敷均し厚さ 転圧状況	100mに１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						厚さ	各層毎100mに１回 〔型枠据付後〕		
						平坦性	１工事１回 〔実施中〕		
	2一般施工	6一般舗装工	7	1	薄層カラー舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	7	2	薄層カラー舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	7	3	薄層カラー舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回 〔整正後〕		
						厚さ	500㎡に１回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎40mに１回 〔整正後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
3土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	7	4	薄層カラー舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	7	5	薄層カラー舗装工（基層工）	整正状況	100mに１回 〔整正後〕	代表箇所 各１枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に１回 〔散布時〕		
						厚さ	500㎡に１回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	8	1	ブロック舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	8	2	ブロック舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	8	3	ブロック舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回 〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	8	4	ブロック舗装工 （加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回 〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回 〔整正後〕		
	2一般施工	6一般舗装工	8	5	ブロック舗装工（基層工）	整正状況	100mに１回 〔整正後〕	代表箇所 各１枚	
						タックコート、 プライムコート	各層毎に１回 〔散布時〕		
	2一般施工	7地盤改良工	2		路床安定処理工	施工厚さ 幅	40mに１回〔施工後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
3土木工事共通編	2一般施工	7地盤改良工	3		置換工	置換厚さ 幅	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2一般施工	7地盤改良工	5		パイルネット工	厚さ 幅	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2一般施工	7地盤改良工	6		サンドマット工	施工厚さ 幅	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2一般施工	7地盤改良工	7 8		バーチカルドレーン工 （サンドドレーン工） （ペーパードレーン工） （袋詰式サンドドレーン工） 締固め改良工 （サンドコンパクションパイル工）	打込長さ 施工状況	100本又は１施工箇所に１回〔打込み前後、施工中〕	代表箇所 各１枚	
						杭径 位置・間隔	20本又は１施工箇所に１回〔打込後〕		
						砂の投入量	全数量〔打込前後〕		
	2一般施工	7地盤改良工	9		固結工 （粉末噴射撹拌工） （高圧噴射撹拌工） （スラリー撹拌工） （生石灰パイル工）	位置・間隔 杭径 深度	１施工箇所に１回 〔打込後〕	代表箇所 各１枚	
	2一般施工	10仮設工	5	1	土留・仮締切工 （H鋼杭） （鋼矢板）	変位 根入長	40m又は１施工箇所に１回〔打込前〕	代表箇所 各１枚	
						数量	全数量〔打込後〕		
	2一般施工	10仮設工	5	2	土留・仮締切工（アンカー工）	削孔深さ	１施工箇所に１回 〔削孔後〕	代表箇所 各１枚	
						配置誤差	１施工箇所に１回 〔施工後〕		
	2一般施工	10仮設工	5	3	土留・仮締切工（連節ブロック張り工）	法長	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕 ただし、根入部は40mに１回	代表箇所 各１枚	
	2一般施工	10仮設工	5	4	土留・仮締切工（締切盛土）	天端幅 法長	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2一般施工	10仮設工	5	5	土留・仮締切工（中詰盛土）	施工状況	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2一般施工	10仮設工	9		地中連続壁工（壁式）	連壁の長さ 変位	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
3土木工事共通編	2一般施工	10仮設工	10		地中連続壁工（柱列式）	連壁の長さ 変位	40m又は1施工箇所に1回　〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
	2一般施工	10仮設工	22		法面吹付工		第1編3－3－6吹付工に準ずる		
	3共通施工	1共通関係	1		現場塗装工	材料使用量（塗料缶）	全数量　〔使用前後〕	代表箇所 各1枚	
						ケレン状況（塗替）	スパン毎、部材別　〔施工前後〕		
						塗装状況	各層毎1スパンに1回　〔塗装後〕		
	3共通施工	1共通関係	2		場所打擁壁工	裏込厚さ	40m又は1施工箇所に1回　〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						厚さ 幅 高さ	40m又は1施工箇所に1回　〔型枠取外し後〕		
	3共通施工	1共通関係	3		プレキャスト擁壁工	据付状況	40m又は1施工箇所に1回　〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	
	3共通施工	1共通関係	4		井桁ブロック工	裏込厚さ	40m又は1施工箇所に1回　〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						法長 厚さ	40m又は1施工箇所に1回　〔施工後〕		
	3共通施工	1共通関係	5		アンカー工	削孔深さ	1施工箇所に1回　〔削孔後〕	代表箇所 各1枚	
						配置誤差	1施工箇所に1回　〔施工後〕		
	3共通施工	1共通関係	6		側溝工 （プレキャストU型側溝） （L型側溝） （自由勾配側溝） （管渠）	据付状況	40m又は1施工箇所に1回　〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	
	3共通施工	1共通関係	7		場所打水路工	厚さ 幅 高さ	40m又は1施工箇所に1回　〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
	3共通施工	1共通関係	8		集水桝工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回　〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
	3共通施工	1共通関係	9		暗渠工	幅 深さ	40m又は1施工箇所に1回　〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
３土木工事共通編	３共通施工	１共通関係	10		刃口金物製作工	刃口高さ 外周長	１施工箇所に１回 〔仮組立時〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	１共通関係	11		階段工	幅 高さ 長さ	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	２河川関係	1		巨石張り、巨石積み	胴込裏込厚	40m又は１施工箇所に１回　〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						法長	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕		
	３共通施工	２河川関係	2		かごマット	高さ 法長	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	２河川関係	3		じゃかご	法長 厚さ	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	２河川関係	4		ふとんかご、かご枠	高さ	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	２河川関係	5		根固めブロック工	数量	全数量　〔製作後〕	代表箇所 各１枚	
						ブロックの形状寸法	形状寸法変わる毎に１回 〔製作後〕		
	３共通施工	２河川関係	6		沈床工	格子寸法 厚さ 割石状況 幅	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	２河川関係	7		捨石工	幅	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	２河川関係	8		護岸付属物工	幅 高さ	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	３海岸関係	1		浚渫船運転工 （ポンプ浚渫船） （グラブ船）	運転状況	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
3土木工事共通編	3共通施工	4道路関係	1		プレキャストカルバート工 （プレキャストボックス工） （プレキャストパイプ工）	据付状況	40m又は１施工箇所に１回　〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						※幅 ※高さ	40m又は１施工箇所に１回 （※印は場所打ちのある場合）〔埋戻し前〕		
	3共通施工	4道路関係	2		落石防護柵工	高さ	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	3共通施工	4道路関係	3		検査路製作工	原寸状況	１橋に１回又は１工事に１回　〔原寸時〕	代表箇所 各１枚	
						製作状況	適宜　〔製作中〕		
	3共通施工	4道路関係	4		鋼製伸縮継手製作工	原寸状況	１橋に１回又は１工事に１回　〔原寸時〕	代表箇所 各１枚	
						製作状況	適宜　〔製作中〕		
						仮組立寸法	１橋に１回又は１工事に１回　〔仮組立時〕		
	3共通施工	4道路関係	5		落橋防止装置製作工	原寸状況	１橋に１回又は１工事に１回　〔原寸時〕	代表箇所 各１枚	
						製作状況	適宜　〔製作中〕		
	3共通施工	4道路関係	6		鋼製排水管製作工	原寸状況	１橋に１回又は１工事に１回　〔原寸時〕	代表箇所 各１枚	
						製作状況	適宜　〔製作中〕		
	3共通施工	4道路関係	7		プレビーム用桁製作工	原寸状況	１橋に１回又は１工事に１回　〔原寸時〕	代表箇所 各１枚	
						製作状況	適宜　〔製作中〕		
						仮組立寸法	１橋に１回又は１工事に１回　〔仮組立時〕		
	3共通施工	4道路関係	8		橋梁用防護柵製作工	原寸状況	１橋に１回又は１工事に１回　〔原寸時〕	代表箇所 各１枚	
						製作状況	適宜　〔製作中〕		
	3共通施工	4道路関係	9	1	鋳造費（金属支承工）	製作状況	適宜　〔製作中〕	代表箇所 各１枚	
	3共通施工	4道路関係	9	2	鋳造費（大型ゴム支承工）	製作状況	適宜　〔製作中〕	代表箇所 各１枚	
	3共通施工	4道路関係	10		アンカーフレーム製作工	仮組立寸法 （撮影項目は適宜）	１橋に１回又は１工事に１回　〔仮組立時〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
３土木工事共通編	３共通施工	４道路関係	11		仮設材製作工	原寸状況	１橋に１回又は１工事に１回　〔原寸時〕	代表箇所 各１枚	
						製作状況	適宜　〔製作中〕		
	３共通施工	４道路関係	12		床版・横組工	幅 厚さ 鉄筋の有効高さ 鉄筋のかぶり 鉄筋間隔	１スパンに１回 〔打設前後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	13	1	伸縮装置工（ゴムジョイント）	設置状況	１スパンに１回 〔設置後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	13	2	伸縮装置工（鋼製フィンガージョイント）	設置状況	１スパンに１回 〔設置後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	14		地覆工	地覆の幅 地覆の高さ 有効幅員	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	15		橋梁用防護柵工 橋梁用高欄工	幅 高さ	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	16		検査路工	幅 高さ	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	17	1	支承工（鋼製支承）	支承取付状況	１スパンに１回 〔取付後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	17	2	支承工（ゴム支承）	支承取付状況	１スパンに１回 〔取付後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
３土木工事共通編	３共通施工	４道路関係	18		架設工（鋼橋） （クレーン架設） （ケーブルクレーン架設） （ケーブルエレクション架設） （架設桁架設） （送出し架設） （トラベラークレーン架設）	架設状況	架設工法が変わる毎に１回 〔架設中〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	19	1	プレテンション桁製作工（購入工） （けた橋）	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	１スパンに１回 〔製作後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	19	2	プレテンション桁製作工（購入工） （スラブ橋）	断面の外形寸法 橋桁のそり 横方向の曲がり	１スパンに１回 〔製作後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	20		ポストテンション桁製作工	シース、PC鋼材配置状況	桁毎に１回 〔打設前〕	代表箇所 各１枚	
						幅（上） 幅（下） 高さ	桁毎に１回 〔型枠取外後〕		
						中詰め及びグラウト状況	１スパンに１回 〔施工時〕		
	３共通施工	４道路関係	21		プレキャストセグメント製作工（購入工）	断面の外形寸法	１スパンに１回 〔製作後〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	22		プレキャストセグメント主桁組立工	組立状況	１スパンに１回 〔組立時〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	23		ＰＣホロースラブ製作工	シース、PC鋼材配置状況	桁毎に１回 〔打設前〕	代表箇所 各１枚	
						幅 厚さ	桁毎に１回 〔型枠取外し後〕		
						中詰め及びグラウト状況	１スパンに１回 〔施工時〕		
	３共通施工	４道路関係	24		ＰＣ箱桁製作工	シース、PC鋼材配置状況	桁毎に１回 〔打設前〕	代表箇所 各１枚	
						幅（上） 幅（下） 高さ	桁毎に１回 〔型枠取外し後〕		
						内空幅 円空高さ	桁毎に１回 〔型枠設置後〕		
						中詰め及びグラウト状況	１スパンに１回 〔施工時〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
３土木工事共通編	３共通施工	４道路関係	25		ＰＣ押出し箱桁製作工	シース、PC鋼材配置状況	桁毎に１回〔打設前〕	代表箇所 各１枚	
						幅（上） 幅（下） 高さ	桁毎に１回〔型枠取外し後〕		
						内空幅 円空高さ	桁毎に１回〔型枠設置後〕		
						中詰め及びグラウト状況	１スパンに１回〔施工時〕		
	３共通施工	４道路関係	26	１２	架設工（コンクリート橋） 架設工（クレーン架設） 架設工（架設桁架設）	架設状況	架設工法の変わる毎に１回〔架設中〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	26	３４	架設工（コンクリート橋） 架設工支保工（固定） 架設工支保工（移動）	架設状況	架設工法の変わる毎に１回〔架設中〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	26	５６	架設工（コンクリート橋） 架設桁架設（片持架設） 架設桁架設（押出し架設）	架設状況	架設工法の変わる毎に１回〔架設中〕	代表箇所 各１枚	
	３共通施工	４道路関係	27	１	半たわみ性舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	３共通施工	４道路関係	27	２	半たわみ性舗装工（上層路盤工） 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	３共通施工	４道路関係	27	３	半たわみ性舗装工（上層路盤工） セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	３共通施工	４道路関係	27	４	半たわみ性舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
3土木工事共通編	3共通施工	4道路関係	27	5	半たわみ性舗装工（基層工）	整正状況	100mに１回〔整正後〕	代表箇所各１枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に１回〔散布時〕		
	3共通施工	4道路関係	27	6	半たわみ性舗装工（表層工）	整正状況	100mに１回〔整正後〕	代表箇所各１枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に１回〔散布時〕		
						浸透性ミルク注入状況	100mに１回〔注入時〕		
						平坦性	１工事１回〔実施中〕		
	3共通施工	4道路関係	28	1	排水性舗装工（下層路盤工）	敷均し厚さ転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	3共通施工	4道路関係	28	2	排水性舗装工（上層路盤工）粒度調整路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	3共通施工	4道路関係	28	3	排水性舗装工（上層路盤工）セメント（石灰）安定処理工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回〔整正後〕※コアを採取した場合は写真不要		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	3共通施工	4道路関係	28	4	排水性舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	3共通施工	4道路関係	28	5	排水性舗装工（基層工）	整正状況	400mに１回〔整正後〕	代表箇所各１枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に１回〔散布時〕		
	3共通施工	4道路関係	28	6	排水性舗装工（表層工）	整正状況	100mに１回〔整正後〕	代表箇所各１枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に１回〔散布時〕		
						平坦性	１工事１回〔実施中〕		
	3共通施工	4道路関係	29	1	グースアスファルト舗装工（加熱アスファルト安定処理工）	敷均し厚さ転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第３編土木工事共通編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
3土木工事共通編	3共通施工	4道路関係	29	2	グースアスファルト舗装工（基層工）	整正状況	100mに１回〔整正後〕	代表箇所各１枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に１回〔散布時〕		
	3共通施工	4道路関係	29	3	グースアスファルト舗装工（表層工）	整正状況	100mに１回〔整正後〕	代表箇所各１枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に１回〔散布時〕		
						平坦性	１工事１回〔実施中〕		
	3共通施工	4道路関係	30	1	透水性舗装工路盤工	敷均し厚さ転圧状況	各層毎100mに１回〔施工中〕	代表箇所各１枚	
						整正状況	各層毎100mに１回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに１回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに１回〔整正後〕		
	3共通施工	4道路関係	30	2	透水性舗装工表層工	整正状況	100mに１回〔整正後〕	代表箇所各１枚	
						平坦性	１工事１回〔実施中〕		
					透水性歩道舗装フィルター層	整正状況	100mに１回〔整正後〕	代表箇所各１枚	
						幅	40mに１回〔整正後〕		
						厚さ	40mに１回〔整正後〕		
	3共通施工	4道路関係	31		路面切削工	幅厚さ	40mに１回〔施工後〕	代表箇所各１枚	
	3共通施工	4道路関係	32		舗装打換え工	幅延長厚さ	１施工箇所に１回〔施工後〕	代表箇所各１枚	
	3共通施工	4道路関係	33		オーバーレイ工	平坦性	１施工箇所に１回〔施工後〕	代表箇所各１枚	
						タックコート	各層毎に１回〔散布時〕		
						整正状況	100mに１回〔施工後〕		
	3共通施工	4道路関係	34		落橋防止装置工	アンカーボルト孔の削孔長	１施工箇所１回〔削孔後〕	代表箇所各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第６編河川編】

編	章	節	条	枝番	工　　種	写真管理項目			摘　要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
６河川編	１築堤・護岸	８水制工	8		杭出し水制工	径 杭長	１施工箇所に１回 〔打込み前〕	代表箇所 各１枚	
						幅 方向	１施工箇所に１回 〔施工後〕		
	１築堤・護岸	11光ケーブル配管工	3		配管工	配管状況	100m又は１施工箇所に １回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	１築堤・護岸	11光ケーブル配管工	4		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	１施工箇所に １回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３樋門・樋管	３樋門・樋管本体工	6	1	函渠工（本体工）	厚さ 幅 内空幅 内空高	１施工箇所に１回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各１枚	
	３樋門・樋管	３樋門・樋管本体工	6	2	函渠工 （ヒューム管） （ＰＣ管） （コルゲートパイプ） （ダクタイル鋳鉄管）	据付状況	40m又は１施工箇所に １回　〔巻立前〕	代表箇所 各１枚	
	３樋門・樋管	３樋門・樋管本体工	7		翼壁工	厚さ 幅 高さ	１施工箇所に１回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各１枚	
	３樋門・樋管	３樋門・樋管本体工	8		水叩工	厚さ 幅 高さ	１施工箇所に１回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第６編河川編】

編	章	節	条	枝番	工　　種	写真管理項目			摘　要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
６河川編	４水門	３水門	3		水門	厚さ 幅 高さ	１施工箇所に１回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各１枚	
	４水門	３水門	4		扉体、戸当り及び開閉装置		機械工事施工管理基準（案）参照		
	４水門	４水門の塗装	3		水門塗装		機械工事施工管理基準（案）参照		
	４水門	４水門本体工	7 8 9 10 11		床版工 堰柱工 門柱工 ゲート操作台工 胸壁工	厚さ 幅 高さ	１施工箇所に１回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各１枚	
	５堰	４可動堰本体工	13 14		開門工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ 延長	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	５堰	５固定堰本体工	8 9 10		堰本体工 水叩工 土砂吐工	厚さ 幅 高さ	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	５堰	６魚道工	3		魚道本体工	厚さ 幅 高さ	40m又は測定箇所毎に １回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	５堰	７管理橋下部工	2		管理橋橋台工	厚さ 天端幅 (橋軸方向) 敷幅 (橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	６排水機場	３機場本体工	6		本体工	厚さ 幅 高さ	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第６編河川編】

編	章	節	条	枝番	工　　種	写真管理項目			摘　要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
６河川編	６排水機場	３機場本体工	7		燃料貯油槽工	厚さ 幅 高さ	１施工箇所に１回 〔施工後〕	適宜	
	６排水機場	４沈砂池工	7		コンクリート床版工	厚さ 幅 高さ	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	７床止め・床固め	３床止め工	6	1	本体工（床固め本体工）	天端幅 堤幅 水通し幅	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	７床止め・床固め	３床止め工	8	1	水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	７床止め・床固め	４床固め工	6		側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第７編河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
7 海岸編	1 堤防・護岸	3 護岸基礎工	5		場所打コンクリート工	幅 高さ	40m又は１施工箇所に１回 〔型枠取外後〕	代表箇所 各１枚	
	1 堤防・護岸	3 護岸基礎工	6		海岸コンクリートブロック工	数量	全数量　〔製作後〕	代表箇所 各１枚	
						ブロックの形状寸法	形状寸法変わる毎に１回 〔製作後〕		
						据付状況	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕		
	1 堤防・護岸	4 護岸工	4		海岸コンクリートブロック工	数量	全数量　〔製作後〕	代表箇所 各１枚	
						ブロックの形状寸法	形状寸法変わる毎に１回 〔施工後〕		
						法長 厚さ	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕		
	1 堤防・護岸	4 護岸工	5		コンクリート被覆工	法長 厚さ	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
						裏込材厚	40m又は１施工箇所に１回　〔施工中〕		
	1 堤防・護岸	6 天端被覆工	2		コンクリート被覆工	幅 厚さ	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
						基礎厚	40m又は１施工箇所に１回　〔施工中〕		
	1 堤防・護岸	7 波返工	3		波返工	幅 高さ	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2 突堤・人工岬	3 突堤基礎工	4		捨石工	法長 天端幅	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2 突堤・人工岬	3 突堤基礎工	5		吸出し防止工	幅	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2 突堤・人工岬	4 突堤本体工	2		捨石工	法長 天端幅	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第７編河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
7 海岸編	2 突堤・人工岬	4 突堤本体工	5		海岸コンクリートブロック工	数量	全数量〔製作後〕	代表箇所 各１枚	
						ブロックの形状寸法	形状寸法変わる毎に１回〔製作後〕		
						天端幅	40m又は１施工箇所に１回〔施工後〕		
	2 突堤・人工岬	4 突堤本体工	9		石砕工	厚さ 高さ	40m又は１施工箇所に１回〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
						間詰石状況	１施工箇所に１回〔施工後〕		
	2 突堤・人工岬	4 突堤本体工	10		場所打コンクリート工	幅 高さ	40m又は１施工箇所に１回〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2 突堤・人工岬	4 突堤本体工	11	1	ケーソン工（ケーソン工製作）	壁厚 幅 高さ 長さ 底版厚さ フーチング高さ	１基毎に１回〔製作後〕	代表箇所 各１枚	
	2 突堤・人工岬	4 突堤本体工	11	2	ケーソン工（ケーソン工据付）	据付状況	１施工箇所に１回〔据付後〕	代表箇所 各１枚	
	2 突堤・人工岬	4 突堤本体工	11	3	ケーソン工（突堤上部工） 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ 幅	１施工箇所に１回〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2 突堤・人工岬	4 突堤本体工	12	1	セルラー工（セルラー工製作）	壁厚 幅 高さ	１基毎に１回〔製作後〕	代表箇所 各１枚	
	2 突堤・人工岬	4 突堤本体工	12	2	セルラー工（セルラー工据付）	据付状況	１施工箇所に１回〔据付後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第７編河川海岸編】

編	章	節	条	枝番	工　　種	写真管理項目			摘　要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
7 海岸編	2 突堤・人工岬	4 突堤本体工	12	3	セルラー工（突堤上部工） 場所打コンクリート 海岸コンクリートブロック	厚さ 幅	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2 突堤・人工岬	5 根固め工	2		捨石工	法長 天端幅	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2 突堤・人工岬	5 根固め工	3		根固めブロック工	数量	全数量　〔製作後〕	代表箇所 各１枚	
						ブロックの形状寸法	形状寸法変わる毎に１回 〔製作後〕		
	2 突堤・人工岬	6 消波工	3		消波ブロック工	数量	全数量　〔製作後〕	代表箇所 各１枚	
						ブロックの形状寸法	形状寸法変わる毎に１回 〔製作後〕		
	3 海域堤防（人工リーフ、離岸堤、潜堤）	3 海域堤基礎工	3		捨石工	法長 天端幅	40m又は１施工箇所に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第８編砂防編】

編	章	節	条	枝番	工　　種	写真管理項目			摘　要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
８砂防編	１砂防堰堤	３工場製作工	４		鋼製堰堤仮設材製作工	原寸状況	１橋に１回又は１工事に１回　〔原寸時〕	代表箇所 各１枚	
						製作状況	適宜　〔製作中〕		
	１砂防堰堤	６コンクリート堰堤工	４		コンクリート堰堤本体工	骨材採取製造 コンクリート製造 運搬	月に１回　〔施工中〕	各月１枚	
						打継目処理 打込・養生	４リフト毎に１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
						天端幅 堤幅 水通しの幅	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	１砂防堰堤	６コンクリート堰堤工	６		コンクリート側壁工	天端幅 長さ	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	１砂防堰堤	６コンクリート堰堤工	８		水叩工	幅 厚さ	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	１砂防堰堤	７鋼製堰堤工	５	１	鋼製堰堤本体工（不透過型）	長さ 幅 下流側倒れ	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	１砂防堰堤	７鋼製堰堤工	５	２	鋼製堰堤本体工（透過型）	堤長 堤幅 高さ	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	１砂防堰堤	７鋼製堰堤工	６		鋼製側壁工	長さ 幅 下流側倒れ 高さ	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第８編砂防編】

編	章	節	条	枝番	工　　種	写真管理項目			摘　要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
８砂防編	２流路	４床固め工	８		魚道工	幅 高さ 厚さ	40m又は測定箇所毎に１回　〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３斜面対策	５山腹水路工	４		山腹明暗渠工	厚さ 幅 高さ 深さ	40m又は１施工箇所に１回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各１枚	
	３斜面対策	６地下水排除工	４		集排水ボーリング工	削孔深さ 配置誤差	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３斜面対策	６地下水排除工	５		集水井工	偏心量 長さ 巻立て幅 巻立て厚さ	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	３斜面対策	８抑止杭工	６		合成杭工	偏心量	１施行箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
						数量	全数量　〔打込後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第９編ダム編】

編	章	節	条	枝番	工　　種	写真管理項目			摘　要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
９ダム編	１コンクリートダム	４ダムコンクリート工			コンクリートダム工（本体）	天端幅 ジョイント間隔 リフト高 堤幅	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	適宜	
	１コンクリートダム	４ダムコンクリート工			コンクリートダム工（水叩）	ジョイント間隔 幅 長さ	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	適宜	
						打継目処理	奇数ブロック毎に岩着部 中間リフトに１回		
	１コンクリートダム	４ダムコンクリート工			コンクリートダム工（副ダム）	ジョイント間隔 リフト高 堤幅 堤長	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	適宜	
	１コンクリートダム	４ダムコンクリート工			コンクリートダム工（導流壁）	ジョイント間隔 リフト高 厚さ	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	適宜	
	２フィルダム	３盛立工	５		コアの盛立	外側境界線	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	適宜	
	２フィルダム	３盛立工	６		フィルターの盛立	外側境界線 盛立幅	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	適宜	
	２フィルダム	３盛立工	７		ロックの盛立	外側境界線	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	適宜	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第９編ダム編】

編	章	節	条	枝番	工　　種	写真管理項目			摘　要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
９ダム編	２フィルダム				フィルダム（洪水吐）	ジョイント間隔 厚さ 幅 リフト高さ	測定箇所毎に１回 〔施工後〕	適宜	
	３基礎グラウチング	３ボーリング工			ボーリング工	ボーリング状況 水押テスト状況 グラウト状況 深度 配置誤差	ブロック毎に１回 〔施工中〕	適宜	
						コアー	地質変化毎全数量 〔抜取後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
10 道路編	1 道路改良	3 工場製作工	2	1	遮音壁支柱製作工	部材長	1施工箇所に1回〔製作後〕	代表箇所 各1枚	
	1 道路改良	7 カルバート工	6		場所打函渠工	厚さ 幅（内空） 高さ	40m又は1施工箇所に1回〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
	1 道路改良	9 落石雪害防止工	4		落石防止網工	幅	1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
	1 道路改良	9 落石雪害防止工	6		防雪柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ	40m又は1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
	1 道路改良	9 落石雪害防止工	7		雪崩予防柵工	高さ 基礎幅 基礎高さ アンカー長	1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
	1 道路改良	10 遮音壁工	4		遮音壁基礎工	幅 高さ	基礎タイプ毎5箇所に1回（施工前は必要に応じて）〔施工前後〕	適宜	
	1 道路改良	10 遮音壁工	5		遮音壁本体工	支柱間隔 支柱ずれ 支柱倒れ 高さ	1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
	2 舗装	3 舗装工			歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎100mに1回〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況	各層毎100mに1回〔整正後〕		
						厚さ	各層毎40mに1回〔整正後〕		
						幅	各層毎40mに1回〔整正後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
10 道路編	2 舗装	3 舗装工			歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工	整正状況	100mに１回 〔整正後〕	代表箇所 各１枚	
						タックコート、プライムコート	各層毎に１回 〔散布時〕		
						平坦性	１工事１回 〔実施中〕		
	2 舗装	4 排水構造物工（路面排水工）	9		排水性舗装用路肩排水工	据付状況	40m又は１施工箇所に１回 〔施工中〕	代表箇所 各１枚	
	2 舗装	6 踏掛版工	4		踏掛版工 （コンクリート工） （ラバーシュー） （アンカーボルト）	<ｺﾝｸﾘｰﾄ工> 各部の厚さ 各部の長さ	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
						<ﾗﾊﾞｰｼｭｰ> 各部の長さ 厚さ			
						<ｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄ> 中心のずれ アンカー長			
	2 舗装	8 標識工	4	1	大型標識工（標識基礎工）	幅 高さ	基礎タイプ毎５箇所に１回 〔施工後〕	適宜	
	2 舗装	8 標識工	4	2	大型標識工（標識柱工）	設置高さ	１施工箇所に１回	適宜	
	2 舗装	11 道路付属施設工	5	1	ケーブル配管工	配管状況	40m又は１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
	2 舗装	11 道路付属施設工	5	2	ケーブル配管工（ハンドホール）	厚さ 幅 高さ	１施工箇所に１回 〔施工後〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
10 道路編	2 舗装	11 道路付属施設工	6		照明工（照明柱基礎工）	幅 高さ	基礎タイプ毎５箇所に１回（施工前は必要に応じて）〔施工前後〕	適宜	
	3 橋梁下部	3 工場製作工	3		鋼製橋脚製作工	原寸状況	１脚に１回又は１工事に１回　〔原寸時〕	代表箇所 各１枚	
						製作状況	適宜　〔製作中〕		
						仮組立寸法(撮影項目は適宜)	１脚に１回又は１工事に１回　〔仮組立時〕		
	3 橋梁下部	4 橋台工	8		橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸方向) 敷幅(橋軸方向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各１枚	
	3 橋梁下部	5 RC橋脚工	9	1	橋脚躯体工（張出式）	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各１枚	
	3 橋梁下部	5 RC橋脚工	9	2	橋脚躯体工（ラーメン式）	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各１枚	
	3 橋梁下部	6 鋼製橋脚工	9	1	橋脚フーチング工（Ｉ型・Ｔ型）	幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外後〕	代表箇所 各１枚	
	3 橋梁下部	6 鋼製橋脚工	9	2	橋脚フーチング工（門型）	幅 高さ	全数量 〔型枠取外後〕	代表箇所 各１枚	
	3 橋梁下部	6 鋼製橋脚工	10	1	橋脚架設工（Ｉ型・Ｔ型）	架設状況	架設工法が変わる毎に１回　〔架設中〕	代表箇所 各１枚	
	3 橋梁下部	6 鋼製橋脚工	10	2	橋脚架設工（門型）	架設状況	架設工法が変わる毎に１回　〔架設中〕	代表箇所 各１枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
10 道路編	3 橋梁下部	6 鋼製橋脚工	11		現場継手工	継手部のすき間	1施工箇所に1回〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
	4 鋼橋上部	3 工場製作工	9		橋梁用高欄製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
	5 コンクリート橋上部	5 プレビーム桁橋工	2		プレビーム桁製作工（現場）	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜〔製作中〕		
						仮組立寸法(撮影項目は適宜)	1橋に1回又は1工事に1回〔仮組立時〕		
						幅 高さ	桁毎に1回〔型枠取外し後〕		
	6 トンネル（NATM）	4 支保工	3		吹付工	岩質	岩質の変わる毎に1回〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	
						湧水状況	適宜〔掘削中〕		
						吹付面の清掃状況	40m毎に1回〔清掃後〕		
						金網の重合せ状況	40m毎に1回〔2次吹付前〕		
						吹付け厚さ（検測孔）	40m毎に1回〔吹付後〕		
	6 トンネル（NATM）	4 支保工	4		ロックボルト工	位置間隔 角度 削孔深さ 孔径 突出量	施工パターン毎又は40mに1断面〔穿孔中〕	代表箇所 各1枚	
						ロックボルト注入状況	施工パターン毎又は40mに1断面〔注入中〕		
						ロックボルト打設後の状況	施工パターン毎又は40mに1断面〔打設後〕		
	6 トンネル（NATM）	5 覆工	3		覆工コンクリート工	覆工(巻立空間)	1セントルに1回〔型枠組立後〕	代表箇所 各1枚	
						覆工（厚さ）	1セントルに1回〔型枠取外し後〕		
						幅 高さ	40m又は1施工箇所に1回〔施工後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
10 道路編	6 トンネル（NATM）	5 覆工	5		床版コンクリート工	幅 厚さ	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
	6 トンネル（NATM）	6 インバート工	4		インバート本体工	インバート（厚さ）	40m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	
						幅（全幅）	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
	6 トンネル（NATM）	8 坑門工	4		坑門本体工	幅 高さ	1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	
	6 トンネル（NATM）	8 坑門工	5		明り巻工	覆工 (巻立空間)	40m又は1施工箇所に1回〔型枠組立後〕	代表箇所 各1枚	
						覆工 （厚さ）	40m又は1施工箇所に1回〔型枠取外し後〕		
						幅(全幅) 高さ(内法)	40m又は1施工箇所に1回〔施工後〕		
	7 トンネル（矢板）	5 覆工	3		覆工コンクリート工	巻立空間	1セントルに1回 〔型枠組立後〕	代表箇所 各1枚	
						覆工厚さ	1セントルに1回 〔型枠取外し後〕		
						インバート厚さ	20m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕		
						幅(全幅) 高さ(内法)	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
10 道路編	7 トンネル（矢板）	6 インバート工	4		インバート本体工	厚さ	20m又は1施工箇所に1回〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	
						幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕		
	12 共同溝	5 現場打横築工	2		現場打躯体工	厚さ 内空幅 内空高	40m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
	12 共同溝	5 現場打横築工	4		カラー継手工	厚さ 幅 長さ	1施工箇所に1回 〔設置後〕	代表箇所 各1枚	
	12 共同溝	5 現場打横築工	5	1	防水工（防水）	幅	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
	12 共同溝	5 現場打横築工	5	2	防水工（防水保護工）	厚さ	40m又は1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
	12 共同溝	5 現場打横築工	5	3	防水工（防水壁）	高さ 幅 厚さ	1施工箇所に1回 〔施工後〕	代表箇所 各1枚	
	12 共同溝	6 プレキャスト横築工	2		プレキャスト躯体工	据付状況	40m又は1施工箇所に1回 〔埋戻し前〕	代表箇所 各1枚	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【第10編道路編】

編	章	節	条	枝番	工種	写真管理項目			摘要
						撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
10 道路編	13 電線共同溝	5 電線共同溝工	2		管路工（管路部）	敷設状況	40m又は1施工箇所に1回 〔敷設後〕	代表箇所 各1枚	
	13 電線共同溝	5 電線共同溝工	3		プレキャストボックス工（特殊部）	据付状況	40m又は1施工箇所に1回 〔据付後〕	代表箇所 各1枚	
	13 電線共同溝	5 電線共同溝工	4		現場打ちボックス工（特殊部）	厚さ 内空幅 内空高	40m又は1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
	13 電線共同溝	6 付帯設備工	2		ハンドホール工	厚さ 幅 高さ	1施工箇所に1回 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	
	15 道路維持	4 舗装工	5		切削オーバーレイ工	平坦性	1施工箇所に1回 〔施工後〕		
						ﾀｯｸｺｰﾄ	各層毎に1回 〔散布時〕		
						整正状況	100mに1回 〔施工後〕		
	15 道路維持	4 舗装工	7		路上再生工	敷均厚 転圧状況	各層毎100mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	
						整正状況 厚さ	各層毎40mに1回 〔整正後〕		
	17 道路修繕	3 工場製作工	4		グルービング工	施工状況	施工日に1回 （施工前後）	代表箇所 各1枚	
	17 道路修繕	3 工場製作工	4		桁補強材製作工	原寸状況	1橋に1回又は1工事に1回 〔原寸時〕	代表箇所 各1枚	
						製作状況	適宜 〔製作中〕		
						仮組立寸法（撮影項目は適宜）	1橋に1回又は1工事に1回 〔仮組立時〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【その他】

編	章	節	条	枝番	工種		写真管理項目			摘要
							撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
その他					舗装工関係	橋面防水工	塗布又は設置状況	１施工箇所に１回〔施工中〕	代表箇所各１枚	
					ダム工関係	仮排水路	厚さ、高さ	40m又は１施工箇所に１回　〔型枠取外し後〕	適宜	
						仮締切（土石）	巻出し厚	40m又は１施工箇所に１回　〔巻出し時〕	適宜	
							転圧状況	転圧機械が変わる毎に１回　〔締固時〕		
						仮締切（コンクリート）	厚さ、高さ	40m又は１施工箇所に１回	適宜	
						基礎掘削	組合せ機械	組合せ機械変わる毎に１回　〔施工中〕	適宜	
							土質、岩質	土質、岩質変わる毎に１回　〔掘削中〕		
							岩盤清掃状況	１施工箇所に１回〔清掃前後〕		
						堤体コンクリート打設	骨材採取製造、コンクリート製造、運搬	月に１回〔施工中〕	適宜	
							打継目処理、打込養生	８リフト毎に１回〔施工中〕		
						堤体止水	止水板の厚さ、幅、埋設位置、岩着及	各ブロック毎、先行ブロックについて４リフト毎に１回	適宜	
						堤体排水工	排水孔の位置、箱抜断面、排水管取付箇所	各ブロック毎、先行ブロックについて４リフト毎に１回〔据付後〕	適宜	
						堤体冷却工	配管間隔、通水状況	５リフト毎に１回〔据付後〕	適宜	
						堤体埋設計器	器種、位置、間隔	１施工箇所に１回〔据付後〕	適宜	
					トンネル関係	トンネル坑門工	厚さ、幅、高さ	１施工箇所に１回〔埋戻し前〕	代表箇所各１枚	
						トンネル（矢板工法）	岩質	岩質の変わる毎に１回〔掘削中〕	代表箇所各１枚	
							湧水状況	適宜　〔掘削中〕		
							埋設支保工（建込間隔、寸法、基数）	40m又は１施工箇所に１回〔建込後〕		
							湧水処理工設置状況	全数量　〔設置後〕		
							集水渠（幅、高さ、位置）	40m又は１施工箇所に１回　〔設置後〕	代表箇所各１枚	
							地下排水工（管接合据付状況）			
							地下排水工（フィルター厚さ）	40m又は１施工箇所に１回〔投入前後〕	代表箇所各１枚	
							矢板設置状況	岩質の変わる毎に１回〔設置後〕		
							グラウト材料使用量	全数量〔使用前後〕		

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【その他】

編	章	節	条	枝番	工種		写真管理項目			摘要
							撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
その他					トンネル関係	シールド	掘削の地山状態	地質の変化の毎に１回〔掘削中〕	代表箇所 各１枚	
							セグメント組立状況	１工事に１回〔組立後〕		
							二次覆工（セグメント清掃状況）	１工事に１回〔清掃後〕		
							二次覆工の厚さ	１スパンに１回〔型枠取外し後〕		
					維持修繕工関係	アスファルト舗装	打換パッチング	施工日に１回〔施工前後〕	適宜	
						コンクリート舗装	目地掃除	1,000㎡に１回〔施工前後〕	代表箇所 各１枚	
							目地充填	1,000㎡に１回〔施工後〕		
							注入工、削孔状況（位置、間隔）	1,000㎡に１回〔削孔後〕		
							注入工、注入圧	1,000㎡に１回〔注入時〕		
							目地亀裂防止材、張付け状況	1,000㎡に１回〔張付け後〕		
							局部打換、各層厚さ	各層毎40mに１回又は１施工箇所に１回〔施工前後〕		
						路肩、路側路盤工	厚さ	40mに１回又は１施工箇所に１回〔施工後〕	代表箇所 各１枚	
						道路除草	施工状況	１㎞に１回（１回刈毎）〔施工前後〕	適宜	
						路肩整正	施工状況	500mに１回	適宜	
						新設、更新、修理防護柵類	施工状況	１施工箇所に１回（施工前は必要に応じて）〔施工前後〕	適宜	
						新設、更新、修理標識類	基礎幅、深さ、施工状況	基礎タイプ毎５カ所に１回（施工前は必要に応じて）〔施工前後〕	適宜	
						新設、更新、修理照明灯	基礎幅、深さ、施工状況	基礎タイプ毎５カ所に１回（施工前は必要に応じて）〔施工前後〕	適宜	
						視線誘導標	施工状況	施工日に１回〔施工後〕	適宜	
						清掃（路面、標識、側溝、集水桝）	施工状況	施工日に１回〔施工前後〕	適宜	
						区画線路面表示	施工状況	施工日に１回〔施工前後〕	適宜	
							材料使用量	全数量　〔施工前後〕	適宜	
						街路樹植樹	施工状況	適宜　〔施工前後〕	適宜	
						街路樹補強補植	施工状況	適宜　〔施工前後〕	適宜	
						街路樹剪力	施工状況	街路樹20本１回、グリーンベルト40ｍ１回〔施工前後〕	適宜	
						街路樹消毒、施肥	施工状況	街路樹20本１回、グリーンベルト40ｍ１回〔施工中〕	適宜	
						街路樹雪囲	施工状況	適宜　〔施工後〕	適宜	
						排雪除雪	施工状況、機種	施工中に１回施工中	適宜	
						凍結防止剤散布	施工状況	施工中に１回施工中	適宜	
							材料使用量	全数量　〔施工前後〕	適宜	
						河川除草	施工状況、刈草処理状況	500mに１回（１回刈毎）〔施工前後〕	適宜	

出来形管理写真撮影箇所一覧表

【その他】

編	章	節	条	枝番	工種			写真管理項目			摘要
								撮影項目	撮影頻度［時期］	提出頻度	
トンネル関係					維持修繕工関係	鉄筋・無筋コンクリート関係	配筋	位置、間隔、継手寸法	打設ロット毎に１回又は１施工箇所に１回〔組立後〕	適宜	
							コンクリート打設	打継目処理、締固施工状況	工種種別毎に１回〔施工時〕	１施工ブロック各１枚	
							養生	養生状況	工種種別毎に１回、養生方法毎に１回〔養生時〕		

その他の管理基準等

目　　次

1. 品質管理図表及び出来形管理図表 ……5-75

1.品質管理図表及び出来形管理図表

品質管理図表及び出来形管理図表の取り扱いについて

１．品質管理

（１）品質管理の試験区分に必須となっている試験項目は全面実施し，試験区分にその他となっている試験項目は，その構造物の規模，品質確保の重要度から判断して適宜定めるものとする。

（２）品質管理図表等のまとめ方は，下記を標準とする。

①試験（測定）結果一覧表（様式－８１）

管理図により難い場合，もしくは試験（測定）点数がおおよそ１０点未満の場合。

ただし５点以上１０点未満ではχ－管理図（様式－８３，８４）を適用する工種については参考として作成する。

②管理図

試験（測定）点数がおおよそ１０点以上の場合。

χ－管理図（様式－８３，８４）

$\overline{\chi}$－管理図（様式－８６，８７）

χ-Rs-Rm管理図（様式－８６，８７）

③管理図（χ－管理図表，$\overline{\chi}$－R管理図，χ-Ｒｓ-Rm管理図等）の選定は，構造物の種類，工事規模，管理項目等を検討のうえ，適正な方式を選定するものとする。

※各帳票については、国との整合を図るため国土技術政策総合研究所ホームページから引用して下さい。

１．国土技術政策総合研究所ホームページ

http://www.nilim.go.jp/japanese/standard/form/index.html

参　考　　品　質　管　理　適　用　表

工　　種	品　　質　　特　　性	管理適用方針	様　　式
土　　工	土の含水量	χ－管理	様式－83,84
	土の締固め度又は飽和度（空気間隙率）	〃	〃
	路床仕上面支持力K値	〃	〃
路　盤　工	骨材の含水量	χ－管理	様式－83,84
	路盤締固め度	〃	〃
	路盤仕上面支持力K値	〃	〃
アスファルト舗装工	アスファルトの加熱	χ－管理	様式－83,84
	骨材の加熱	〃	〃
	アスファルト混合物の温度	— χ－R管理	様式－86,87
	アスファルト量	χ－管理又は χ-Rs-Rm管理	様式－83,84又は 様式－86,87
	コアによる密度	χ－管理	様式－83,84
コンクリート工	スランプ、空気量、圧縮、曲げ強度	χ－管理又は χ-Rs-Rm管理	様式－83,84又は 様式－86,87

２．出来形管理

（１）管理図表のまとめ方

① 測定結果一覧表（様式－８１，８２）

測定点数がおおよそ５点未満のもの。

② 出来形管理図（様式－８３）

測定点数がおおよそ５点以上のもの。

③ 構造図（参考）

函渠、樋門（管）、水門、橋台、橋脚等、測定結果一覧表又は管理図により難い工種。

・構造図に設計値と測定値が比較対照できるよう測定値を朱書又は（　）書したもの。

・出来形図（見取図もしくは展開図等）によるもの。

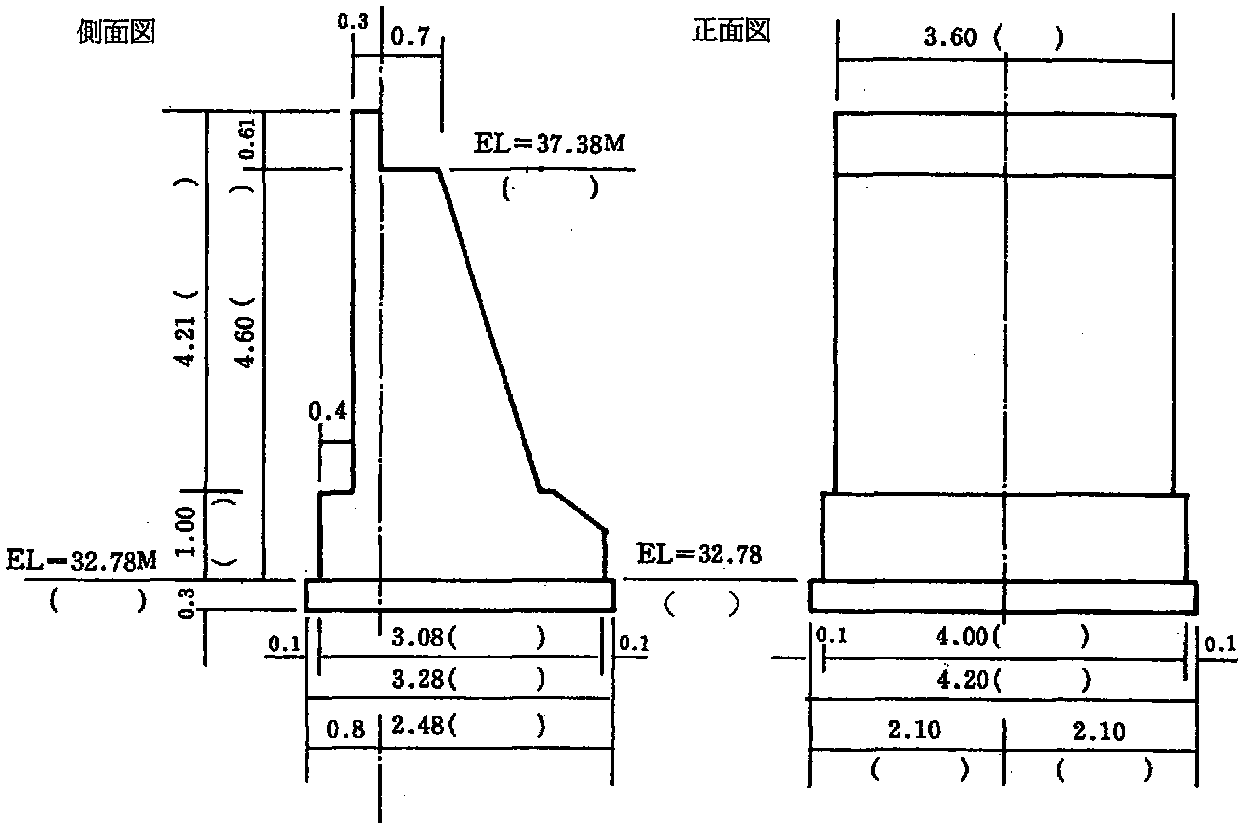
④ 完成後、明視できない部分で重要な箇所は、記録写真によるほか、直接測定による管理図表を作成し、つねに状況を把握する。

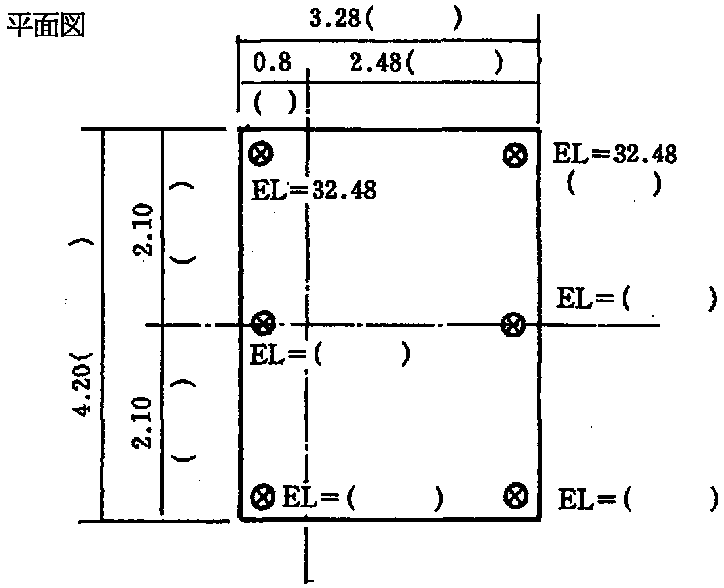
（参考－１）出来形図作成要領

１）構造物の場合

例１．○○川河川局部改良工事

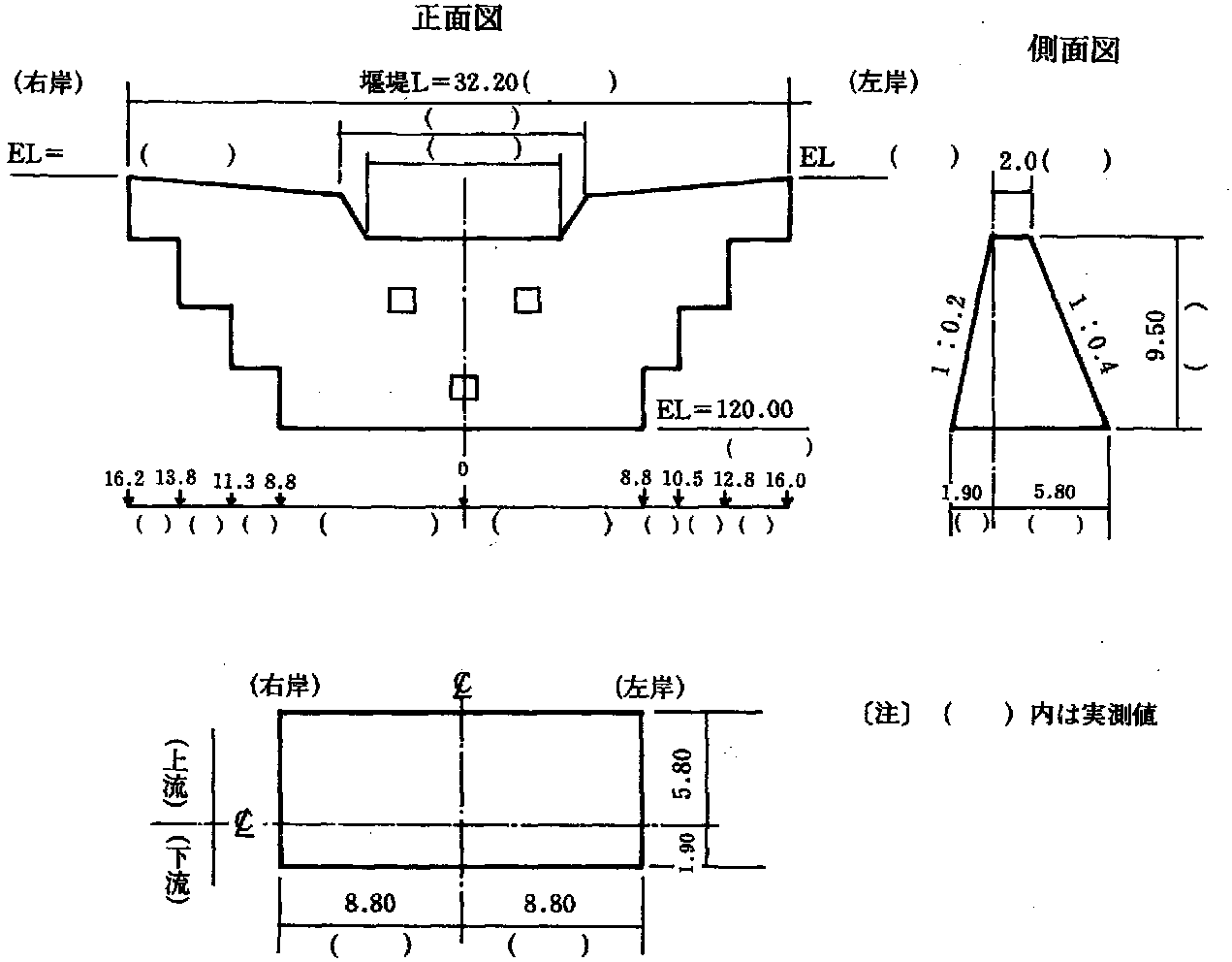
○岸橋台床堀出来形図





〔註〕（ ）内は実測値

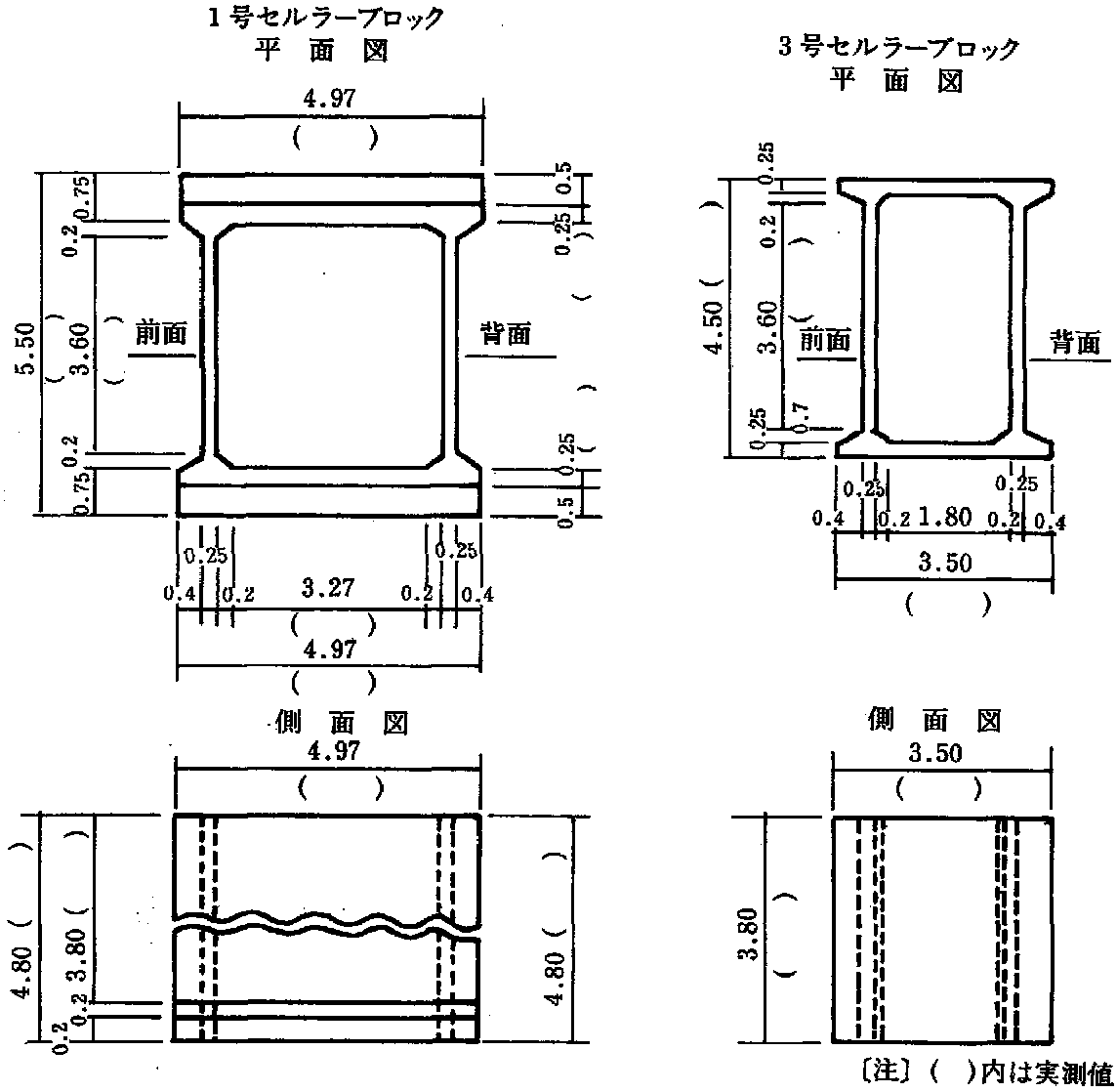
例２．○○川荒廃砂防工事床堀出来形図



〔注〕（　　）内は実測値

測点 / 位置	右岸側8.8M	中　心	左岸側8.8M	備　考
設　計	ＥＬ＝120.00	ＥＬ＝120.00	ＥＬ＝120.00M	
上　流				
中　心				
下　流				

例３．○○港局改防波堤整備工事



セルラーブロック出来形表

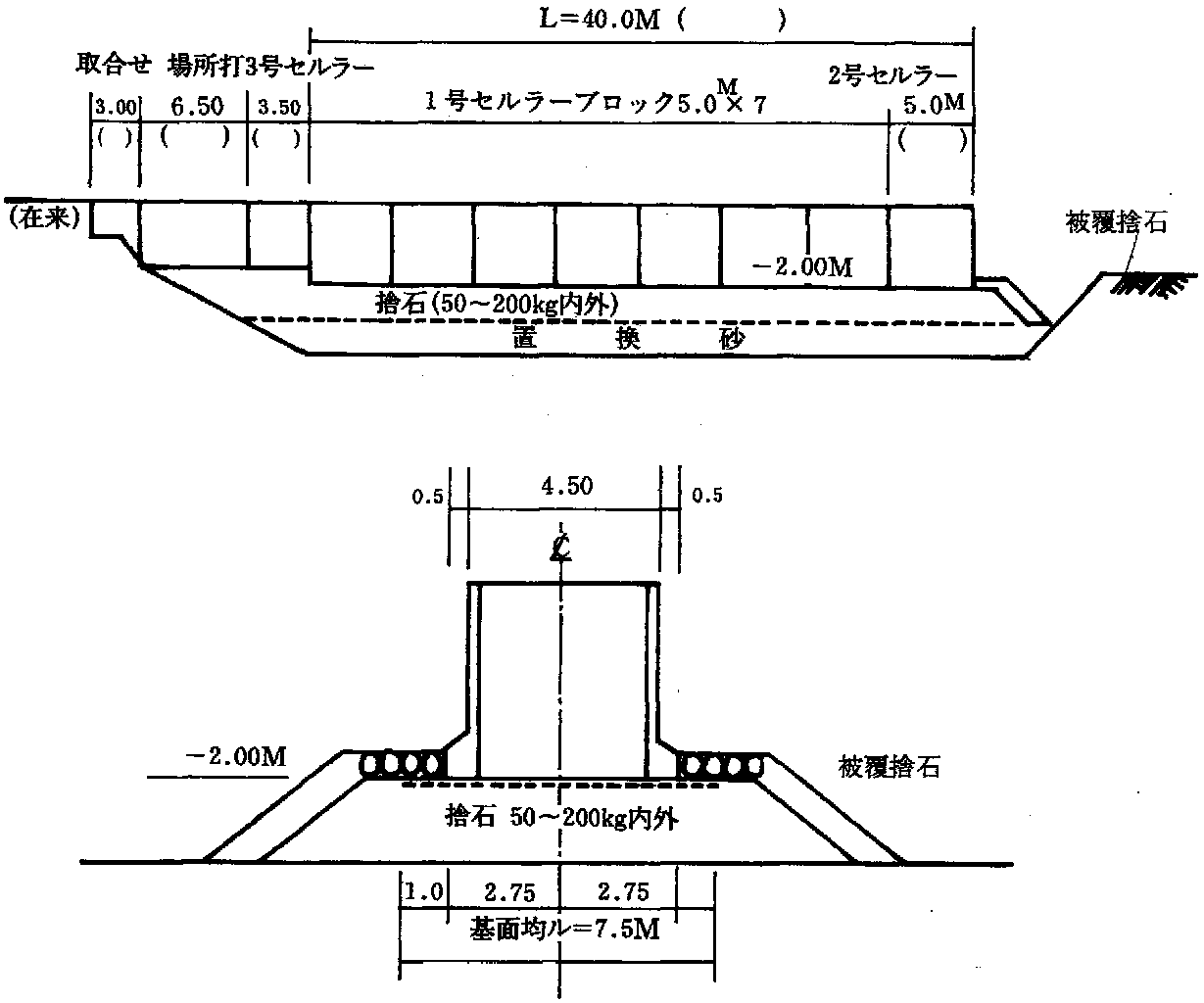
（単位：M）

寸法 / 製作番号		前面 長さ	前面 高さ	前面 厚さ	前面 強度	側面 長さ	側面 高さ	側面 厚さ	側面 強度	背面 長さ	背面 高さ	背面 厚さ	背面 強度
(1号)	設計	5.50	4.80	0.25	σ28=270K	4.97	4.80	0.75	σ28=270K	5.50	4.80	0.25	σ28=270K
1	出来高												
2	出来高												
3	出来高												
(2号)	設計	4.50	3.00	0.25	σ28=270K	3.50	3.80	0.25	σ28=270K	3.50	3.80	0.25	σ28=270K
1	出来高												

1. 計測は原則として天端部にて行うこと。

例４．○○港局部改良防波堤整備工事

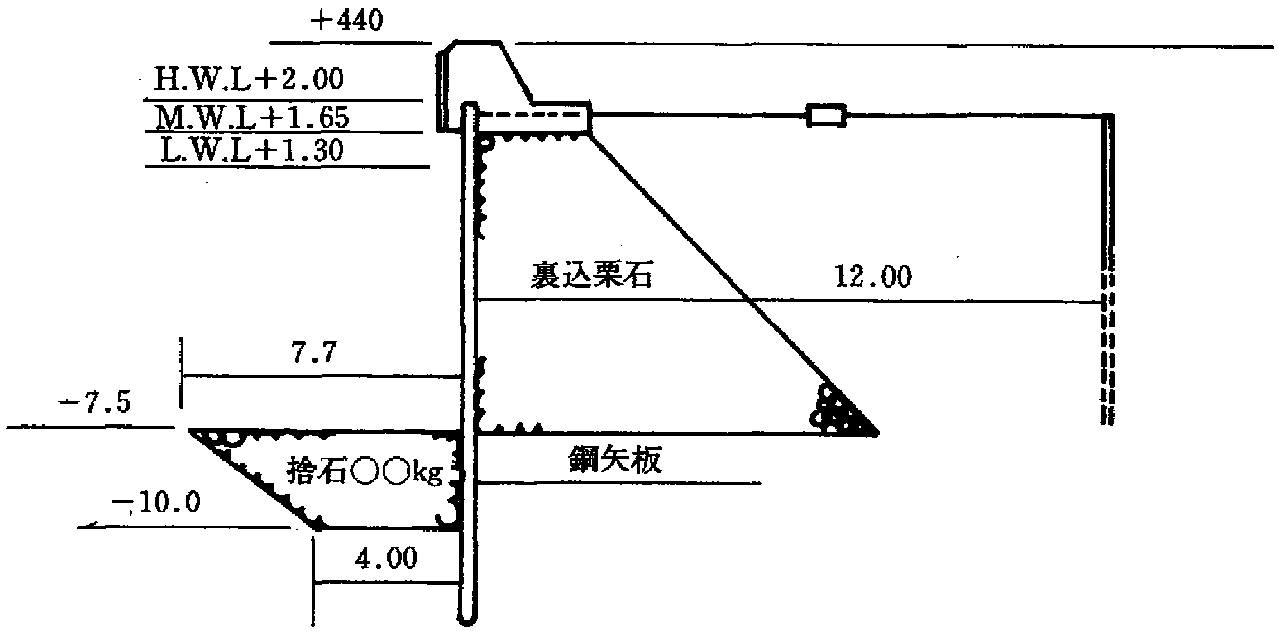
捨石基面均し出来高図



（基面均し設計－2.00M）

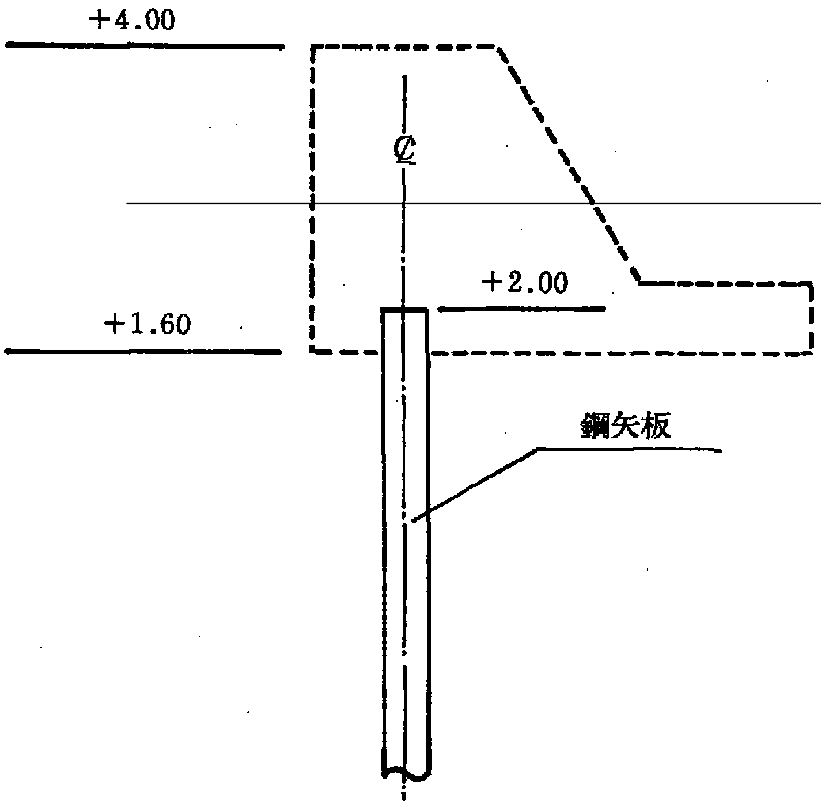
濁　点	外　側	中　心	内　側
9.50	-2.01	-2.005	-1.995
27.0	-2.01	-2.00	-1.99
37.0	-2.01	-2.00	-2.03
45.0	-2.00	-1.98	-2.01

例５．○○港改修－７．５岸壁整備工事出来高図



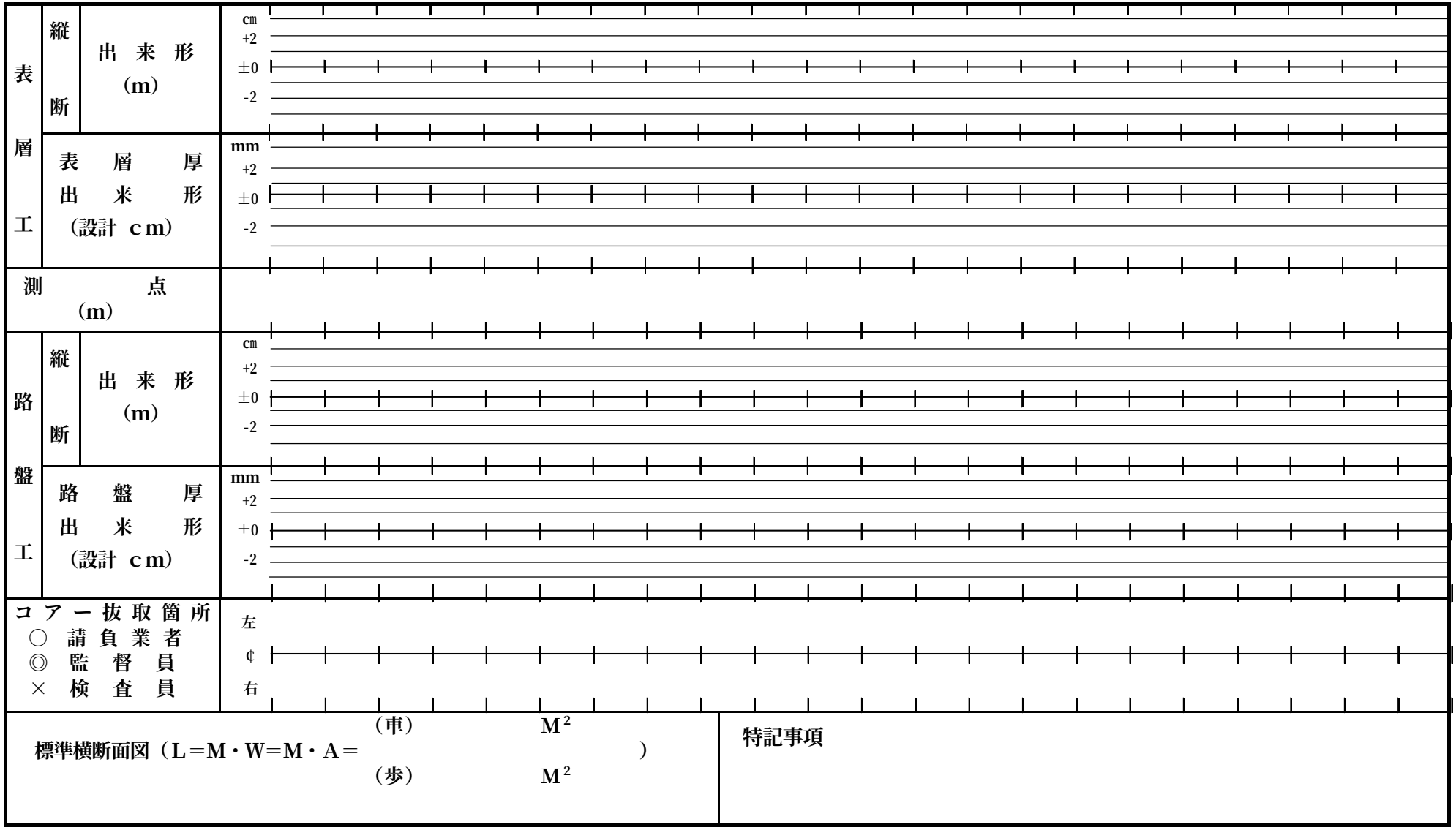
測　　点	床堀捨石				裏込栗石			上部コンクリート			そ　の　他		
	深さ -10.0	巾 4.00	基準高 -7.5	巾 7.7	敷巾	天巾	基準高	基準高	高さ	巾			

例６．○○工事－矢板打工出来形図



測　点	矢板天端高 設計=2.00	横方向打込誤差		摘　要
		海側	陸側	

（参考-２）出来形図作成要領２）舗装工事の場合



下層・上層路盤工															測点	基層工　表層工													
平板載荷 設計 kg/・		路盤厚 (設計 cm)		縦横断												基層・表層厚 (設計 cm)		縦横断											
				左側				中心			右側							左側				中心			右側				
中間施行検査	出来形	中間施工検査	出来形	勾配 (%)	± (cm)	出来形 (m)	計画形 (m)	± (cm)	出来形 (m)	計画形 (m)	勾配 (%)	± (cm)	出来形 (m)	計画形 (m)		竣工検査	実施	勾配 (%)	± (cm	出来形 (m)	計画形 (m)	± (cm)	出来形 (m)	計画形 (m)	勾配 (%)	± (cm)	出来形 (m)	計画形 (m)	
(左)(右)	(左)(右)																												

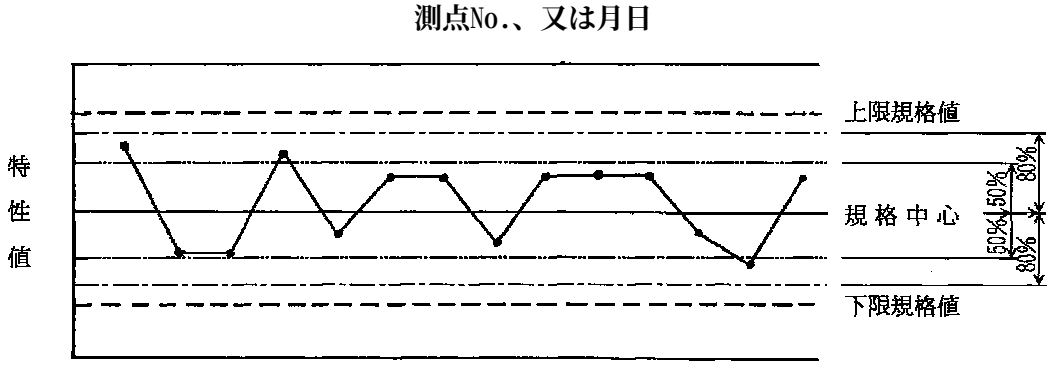
３．品質管理技法

① 工程能力図

工程能力図は得られたデータが規格値を満足しているかどうかのチェックに用いられる連続的な表示方法である。

これにより規格の現況、能力等をみる。したがって統計的な考え方が使われておらず、工程に異常があるかどうかの判断はできない。

しかし規格値に対するデータの変動の様子が連続的につかまえることができる。



図－1　工程能力図の一例

工程能力図の作り方は調べようとする対象の集団を区間割して（工区等）合理的な群にして各群の中で時間順序に従ってデータを記入して行くものである。

工程能力図は非常に簡単に作れるグラフ用紙を用意し、横軸にサンプル番号を、縦軸に特性値を目盛り、上下規格値を示す線を引く。各データはそのまま打点し各点を実線でむすべばよい。

② $\bar{X}$－R管理図

この管理図は代表的なもので、重さ、長さ、時間などの計量値に用いられている。

$\bar{\chi}$は群の平均値、Rは群の範囲である。したがってχ管理図では平均値の変動を管理し、R管理図では群のバラツキを管理するのに用いる。すなわちこの2つのχとR管理図を対にして群の平均値の変動とバラツキの変化とを同時にみていくことによって工程安定状態をつかまえていく管理図である。

R管理図は群の大きさｎが10より大きくなると性能が悪くなるので、一般にｎが10以下の場合に用いる。

（1）$\bar{\chi}$－R管理図の作り方

手順１．予備データの準備

群分けをする。１組に含ませるデータの数は通常４～５個がよい。比較的最近のデータを集め、合理的な群（１組）に分ける。

具体的には時間を追って生産している場合は時間ごと、午前、午後、交替ごと、日、週など、道路工事、河川工事の場合起点からの距離、測点No.ごとなど、その特性が大体似ている範囲を群とする。

手順２．平均値$\bar{\chi}$の計算

群ごとの平均値$\bar{\chi}$を計算する。一般に平均値の桁数より1桁下までに丸める。

手順３．範囲Ｒの計算

郡ごとに最大値と最小値の差を計算する。

$$R = \chi_{max} - \chi_{min}$$

手順４．総平均$\bar{\bar{\chi}}$の計算

群ごとの平均値$\bar{\chi}$を更に群数（組数）で割って全体の総平均を計算する。

$$\bar{\bar{\chi}} = (\bar{\chi}^{1} + \bar{\chi}^{2} + \cdots + \bar{\chi}^{n}) / k \qquad k \cdots\cdots \text{組数}$$

手頃５．範囲の平均Ｒ（アールバー）の計算

郡ごとのＲを更に群数（組敷）で割って$\bar{R}$を計算する。

手頁６．管理線の計算

（１）Ｘ管理図

中心線	$CL = \bar{\bar{\chi}} - 0 = \bar{\bar{\chi}}$
上方管理限界線	$UCL = \bar{\bar{\chi}} + A_2\bar{R}$
下方管理限界線	$LCL = \bar{\bar{\chi}} - A_2\bar{R}$

A_2は群試料の大きさｎによって決まる定数で表１に示す。

２）Ｒ管理図

中心線	$CL = R$
上方管理限界線	$UCL = D_4\bar{R}$
下方管理限界線	$LCL = D_3\bar{R}$

D_4，D_3は群試料の大きさｎによって決まる定数で表１で示す。D_3はｎ≦6では考えない。

表1 品質管理係数の一部

n	A_2	D_3	D_4	d_2
2	1.880	考えない	3.267	1.128
3	1.023	〃	2.574	1.693
4	0.729	〃	2.282	2.059
5	0.577	〃	2.114	2.326
6	0.483	〃	2.004	2.534
7	0.419	0.076	1.924	2.704
8	0.373	0.136	1.864	2.847
9	0.337	0.184	1.816	2.970

手順７．管理図の記入

（１）$\bar{\chi}$管理図を上部にＲ管理図を下部に配置し群番号をそろえて対象できるようにする。品質特性、測定単位、工事名、管理図番号などの必要関係事項を記入する。

（２）$\bar{\chi}$管理図、Ｒ管理図の左側にそれぞれ$\bar{\chi}$、Ｒを記入する。

（３）$\bar{\chi}$管理図の左上に試料の大きさｎを記入する。

（4）管理線の記入の仕方は次のようにするとはっきりする。

予備データのとき

中心線は実線 ――――――――

限界線は破線 - - - - - - - - - - - - - - - -

予備データの最後の組番号まで引く。管理線の延長は予備データによる管理線と区別するため中心線は実線で描くが限界線は、1点鎖線－・－・－で描く。

（5）点の記入は、はっきり大きめにする。

（6）打点した点は組番号順に細い実線で結ぶ。

（7）予備データの最後の組のあとに締切線を引いて、どこまでが予備データであるかを明確にする。

手順８．安定状態の判定

打点した$\bar{\chi}$、Rがそれぞれ管理限界内でクセがなければ、安定状態であると判定し、もし限界外に打点されれば、その点について原因を調査し原因を除去し再発を防ぐ。安定状態であれば手順10に移る。

手順９．管理線の再計算

手順８で処置ができたら、その点を除いて管理線の再計算を行い管理線の中心線、管理限界線を引き直す。

限界外に打点された点でも原因がわからないか、わかっても処置ができなければその点は除かないで再計算に用いる。

始めに管理限界外にあった点が再計算したために新しい管理限界からとび出してもそのまま用いる。

手順10．規格に対する検討

以上の手順で管理線の計算に用いた個々のデータ全部を使ってヒストグラムをつくり規格と比較検討をする。

手順11．管理限界線の決定

品質特性値が十分なユトリをもって規格を満足し、しかも安定状態にあることがわかったら管理限界線を延長して、工程に対して当分の間の管理限界とし、この状態を維持するように管理する。

さて以上の手順で$\bar{\chi}$－R管理図は作れるが、建設現場のように予備データをとることが困難な場合は本工事のデータを用い、次のような方式で管理する。

最初の５組で次の５組を管理し、それまでの10組のデータで次の10組を管理し、それまでの20組のデータで20～30組を管理し、その後は最近の20～30組のデータにより次の20～30組を管理する。

このような方式は20～30組をとるまでに工事が終ってしまうような場合でも適用できる。これを5-5-10-20方式という。

（2）$\bar{\chi}$－R管理図計算例

次のデータを用い$\bar{\chi}$－R管理図を作る。

月　日 ＼ 測定値	χ_1	χ_2	χ_3	χ_4	χ_5
6/6日　午前	36	34	36		
午後	39	35	36		
6/7日　午前	35	38	37		
午後	33	35	35		
6/8日　午前	37	33	35		

手順１．予備データを組分けする。

手順２．$\bar{\chi}$の計算

6／6日　午前（36+34+36）／ 3＝35.3

午後（39+35+36）／ 3＝36.7

6／7日　午前（35+38+37）／ 3＝36.7

午後（33+35+35）／ 3＝34.3

6／8日　午前（37+33+35）／ 3＝35.0

手順３．Rの計算

6／6日　午前　36-34＝2

午後　39-35＝4

6／7日　午前　38-35＝3

午後　35-33＝2

6／6日　午前　37-33＝4

手順４．$\bar{\bar{\chi}}$の計算

（35.3+36.7+36.7+34.3+35.0）／ 5＝35.6

手順５．$\bar{R}$の計算

（2+4+3+2+4）／ 5＝3.0

手順６．管理線の計算

（1）$\bar{\chi}$管理図

中心線　　$CL=\bar{\bar{\chi}}=35.6$

上方管理限界線　　$UCL=\bar{\bar{\chi}}+A_2\bar{R}=35.6+1.023\times3.0=38.7$

下方管理限界線　　$LCL=\bar{\bar{\chi}}-A_2\bar{R}=35.6-1.023\times3.0=32.5$

A_2は表１より求める。

（2）R管理図

中心線　　$CL=\bar{R}=3.0$

上方管理限界線　　$UCL=D_4R=2.575\times3.0=7.7$

下方管理限界線　　ＬＣＬ＝考えない。

手順７．用紙を準備し記入

手順８．安定状態の判定

すべての点が管理限界線内で安定状態といえる。

手順９．管理線の再計算

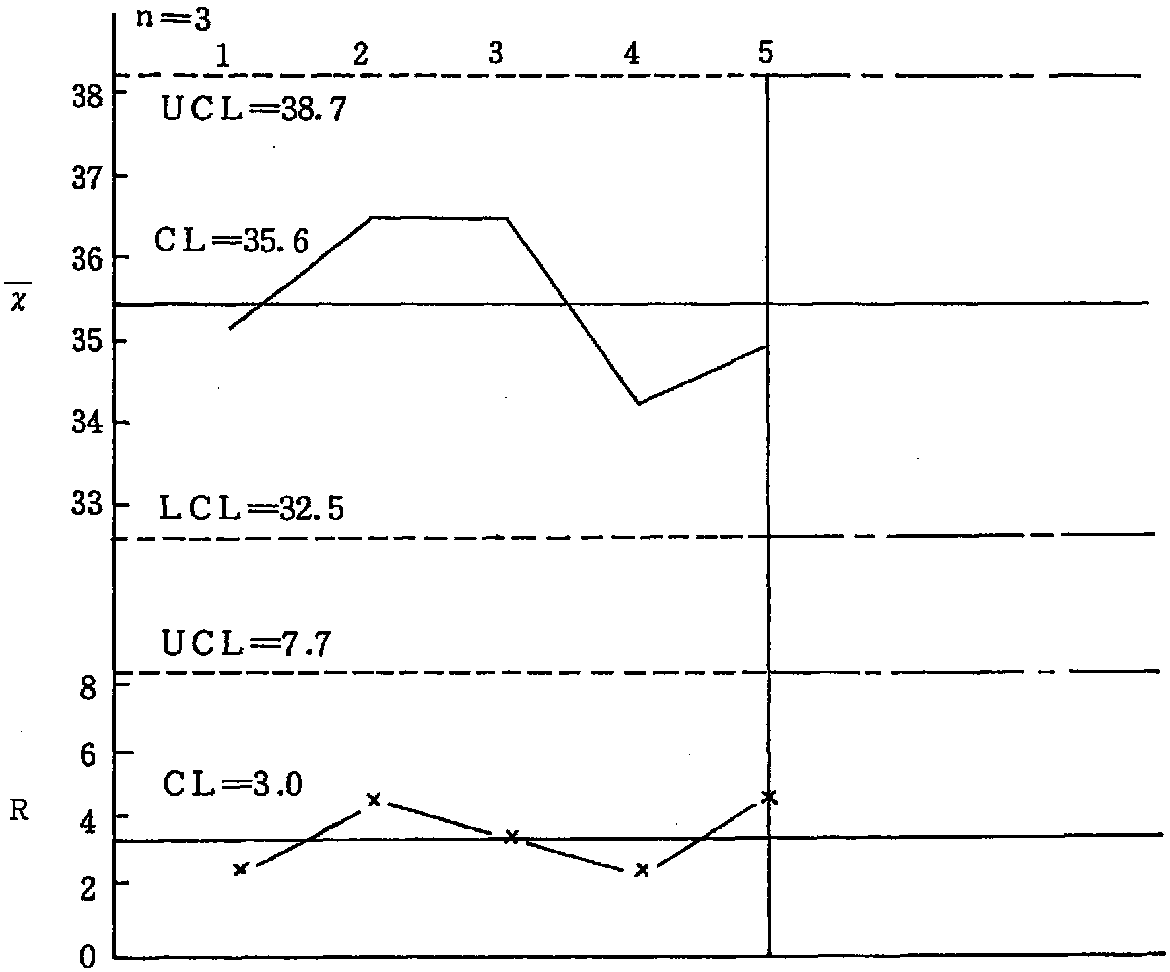
安定状態なので次の手順に進む。

手順10. 規格に対する検討

手順11. 管理限界線の決定

５組の全データを用い規格の検討をするが、ヒストグラムによる判定および規格値に対するユトリの計算を行い満足な状態であれば次の５点の管理線としてこのまま用いる。

以後５－５－10－20方式を用いる。



図－２　最初の５組の$\bar{\chi}$－Ｒ管理図

（3）管理図の記入例

$\bar{\chi}$－Rでは、アスファルト舗装工事の混合物温度を１時間ごとに測定し群の大きさを３個として管理したものである。

名称	トペカ	工事名	道路舗装工事	期間	自	平成　年　月　日
品質特性	混合物温度	事務所名	出張所		至	平成　年　月　日
測定単位	℃	日標準量	146 t／日	請負者		
規格限界 上限値	180	試料 大きさ	1回1測定	現場代理人		・
規格限界 下限値	140	試料 間隔	1日6回(1時間ごと)	測定者		・
設計基準値	指定　160	作業機械名	40t/h全自動プラント	測定者		・

月日	組の番号	測定値 χ_1	χ_2	χ_3	χ_4	χ_5	計 $\Sigma\chi$	平均値 $\bar{\chi}$	範囲 R
6.8	1	154	156	156			466	155	2
9	2	156	148	160			464	155	12
9	3	160	156	168			484	161	12
10	4	150	164	158			472	157	14
10	5	162	160	154			476	159	8
	小計							787	48
11	6	158	152	162			472	157	10
11	7	158	164	166			488	163	8
13	8	146	160	162			468	156	16
14	9	156	158	160			474	158	4
14	10	164	166	172			502	167	8
	小計							801	46
15	11	158	164	160			482	161	6
15	12	162	166	154			482	161	12
18	13	148	160	158			466	155	12
18	14	158	168	164			490	163	10
19	15	164	152	158			474	158	12
19	16	162	148	156			466	155	14
20	17	158	170	162			490	163	12
20	18	156	162	160			478	159	6
21	19	166	164	162			492	164	4
21	20	158	162	160			480	160	4
	小計							1599	92

$\bar{\bar{\chi}} \pm A_2\bar{R} = 157 \pm 10 = 167 \sim 147$

$D_4\bar{R} = 2.57 \times 9.6 \quad 24.7$

	χ	R
平均	$\bar{\bar{\chi}}$=157	$\bar{R}$=9.6
累計	787	48
小計	787	48

$\bar{\bar{\chi}} \pm A_2\bar{R} = 159 \pm 10 = 169 \sim 149$

$D_4\bar{R} = 2.57 \times 9.4 \quad 24.2$

	χ	R
平均	$\bar{\bar{\chi}}$=159	$\bar{R}$=9.4
累計	1,588	94
小計	801	46

$\bar{\bar{\chi}} \pm A_2\bar{R} = 159 \pm 9 = 168 \sim 150$

$D_4\bar{R} = 2.57 \times 9.3 \quad 23.9$

	χ	R
平均	$\bar{\bar{\chi}}$=159	$\bar{R}$=9.3
累計	3,187	186
小計	1,599	92

記事

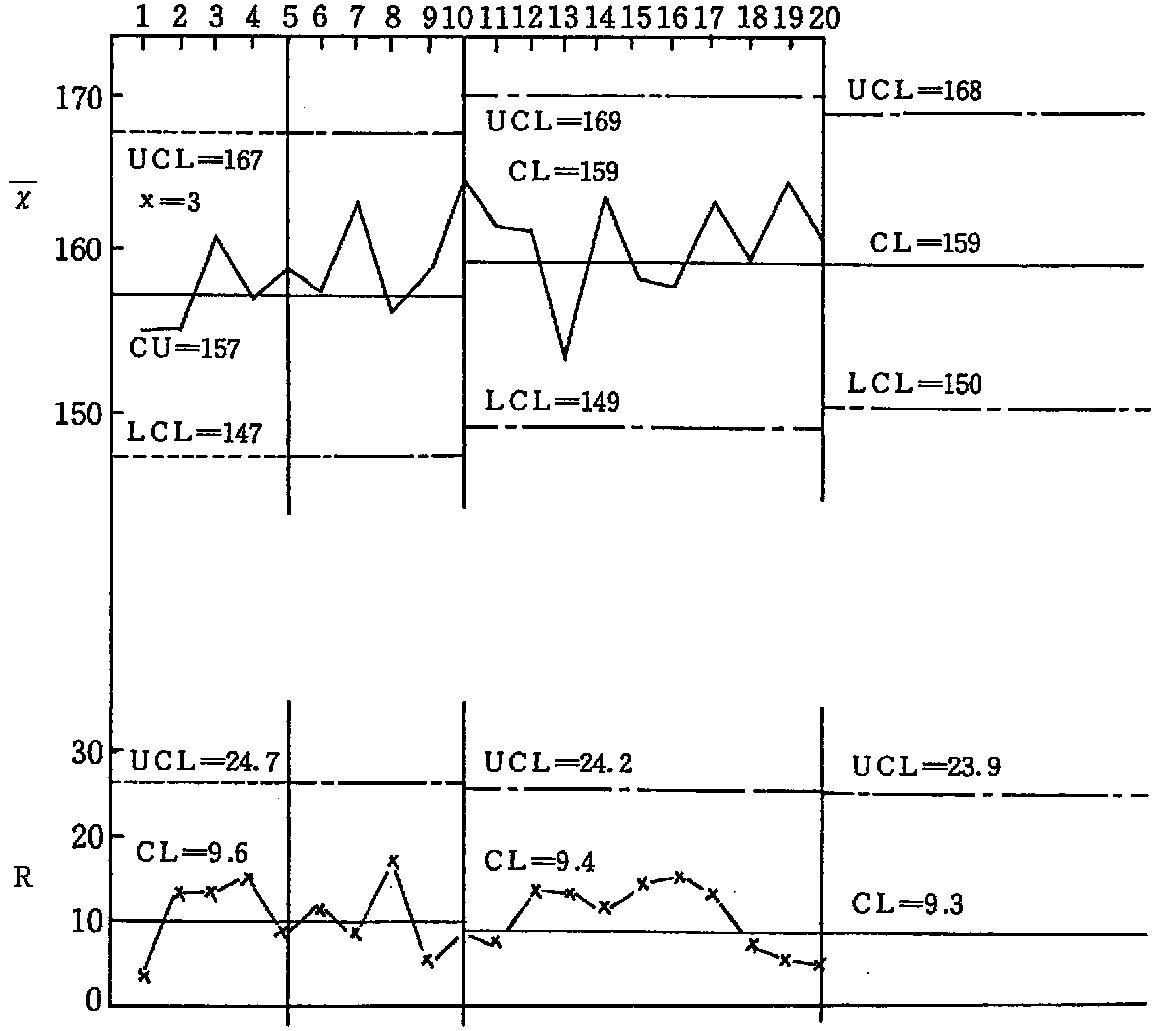
n	d_2	A_2	D_4
2	113	1.88	3.27
3	169	1.02	2.57
4	206	0.73	2.28
5	233	0.58	2.11

（注）１．規格限界、設計基準値は設計図書、仕様書に定められた値を記入する。
２．管理限界線の引き直しは５－５－10－20方式による。

表－2　X－R管理データシート

設計基準値	160	工　事　名		道路舗装工事	出張所名		
名　　称	トペカ	目標準量		146t/日	期間	自	平成　年　月　日
品質・特性	混合物温度	規格	上限値	180		至	平成　年　月　日
測定単位	℃	限界	下限値	140	請　負　者		
測定方法	自己装置	試料	大きさ	1日1測定	現場代理人		
作業機械名	40t/h全自動プラント		間　隔	1日6回	測　定　者		

図－3　X－R管理図



③　Ｘ－Ｒｓ－Ｒｍ管理図

個々のデータをそのまま時間的順序に並べて管理していくもので一点管理図ともいう。データが一つあれば直ちに打点できるので工程の状態を早く判定できる。従って早く処置がとれる特徴がある。また1個のデータを採るのに時間がかかる場合または試験に多額の費用がかかる場合などのとき便利である。ここでＲｓとは相隣る値の差の絶対値をとり、χ－Ｒｓ管理図として用いるのが普通であるが、建設工事の場合のコンクリートの強度の場合のように、同一バッチからとった２～３個の供試体の平均強度によって１個のデータとみなす場合などについては測定誤差の管理もあわせて行う。この場合も範囲Ｒを用いるのでχ－Ｒ管理図のＲと区別するためにＲｍとしている。ここでは建設工事に用いられているχ－Ｒｓ－Ｒｍ管理図について、記述することにする。

（１）χ－Ｒｓ－Ｒｍ管理図の作り方

χ－Ｒｓ－Ｒｍ管理図の作り方の手順は、ほぼ$\bar{\chi}$－Ｒ管理図と同様である。

手順１．予備データの準備

５個以上のデータを準備するとよい。但しコンクリートの強度のように同一バッチから同時に２～３個の供試体を採るような場合にはその平均値をデータ１個と考える。

手順２．平均値χを計算する。

ここにχ_1 ・・・・・ 第一番目のデータ
χ_2 ・・・・・ 第二番目のデータ
χ_k ・・・・・ 第ｋ番目のデータ
ｋ ・・・・・・ 測定値の数

手順３．移動範囲Ｒｓの計算

相隣る２つのデータの差の絶対値、移動範囲Ｒｓを計算する。

手順４．試験誤差の範囲Ｒｍの計算。

同一バッチのデータの最大値と最小値の差を求める。

手順５．$\bar{R}s$、$\bar{R}m$を計算する。

$$\bar{R}s = \frac{\Sigma Rs}{k-1} \qquad \bar{R}m = \frac{\Sigma Rm}{k}$$

手順６．管理線の計算

Ｘ管理図

中心線	$CL=\bar{\chi}$
上方管理限界線	$UCL=\bar{\chi}+E_2\bar{R}s$
下方管理限界線	$LCL=\bar{\chi}-E_2\bar{R}s$

（注）E_2はｎ＝２に対応したものとする。

Ｒｓ管理図

中心線	$CL=\bar{R}s$
上方管理限界線	$UCL=D_4\bar{R}s$
下方管理限界線	ＬＣＬ＝考えない

Ｒｍ管理図

中心線	$CL=\bar{R}m$
上方管理限界線	$UCL=D_4\bar{R}m$
下方管理限界線	$LCL=D_3\bar{R}m$

（注意）D_3、D_4はｎに対応したものとする。

手順７．管理図用紙の準備

$\bar{\chi}$－Ｒ管理図のときと同様でよい。

手順８．管理図の記入

$\bar{\chi}$－Ｒ管理図の要領と同じでよい。

手順９．安定状態の判定

手順10. 管理線の再計算

手順11. 管理限界線の決定

以上前述した$\bar{\chi}$－Ｒ管理のときに準じて行う。建設工事の場合のように予備データを採ることが困難な場合には本工事のデータを用い次のようにする。

最初の５個のデータを用い次の３個を管理し、それまでの８個で次の５個を管理し今までの13個のデータ全部を用いて次の７個の管理をし、管理状態を示せば今までに得た20個のデータを全部用いて次の10個に対して管理をする。30個のデータが得られたら、そのうち最近の20個のデータを用いて次の10個を管理する。ここで管理するということは管理限界線の引き直しを意味する。

即ちχ－Ｒｓ－Ｒm管理図を用いるときは５－３－５－７方式を使う。

（２）χ－Ｒｓ－Ｒm管理図計算例

次のデータを用いてχ－Ｒｓ－Ｒm管理図を作ってみよう。

測定値 / 月日	測定値				代表値
	a	b	c	d	χ
6／6	18.7	19.2	18.7		18.9
7	21.5	20.9	21.5		21.3
8	22.1	22.1	21.5		21.9
9	18.7	18.7	19.8		19.1
10	20.9	20.4	20.4		20.6

手順１．建設工事の現場から1バッチ３個のデータを得た。管理図を作り工程を管理する。代表値としてχを求める。

手順２．$\bar{\chi}$の計算

$$\bar{\chi}=\frac{\Sigma\chi}{k}=\frac{18.9+21.3+21.9+19.1+20.6}{5}=20.4$$

手順３．Ｒｓの計算

６／６日と６／７日の差及び、６／７日と６／８日の差と次々に差をとる。

６／６日と６／７日　｜18.9-21.3｜＝2.4

６／７日と６／８日　｜21.3-21.9｜＝0.6

６／８日と６／９日　｜21.9-19.1｜＝2.8

６／９日と６／10日　｜19.1-20.6｜＝1.5

ただし｜$\chi_1-\chi_2$｜の意味はχ_1とχ_2の絶対値をとることでありプラス、マイナスの符号は考えないことと解釈しよう。

手順４．Ｒｍの計算

ａ、ｂ、ｃ、の範囲を求める。

６／６日　19.2－18.7＝0.5

６／７日　21.5－20.9＝0.6

６／８日　22.1－21.5＝0.6

６／９日　19.8－18.7＝1.1

６／10日　20.9－20.4＝0.5

手順５．$\bar{R}s$と$\bar{R}m$を計算する。

$$\bar{R}s = \frac{\Sigma Rs}{n-1} = \frac{2.4+0.6+2.8+1.5}{4} = 1.8$$

$$\bar{R}m = \frac{\Sigma Rm}{n} = \frac{0.5+0.6+0.6+1.1+0.5}{5} = 0.7$$

手順６．管理線の計算

χ管理図

中心線	$CL = \bar{\chi} = 20.4$
上方管理限界線	$UCL = \bar{\chi} + 2.660\bar{R}s = 20.4 + 2.660 \times 1.8 = 25.2$
下方管理限界線	$LCL = \bar{\chi} - 2.660\bar{R}s = 20.4 - 2.660 \times 1.8 = 15.6$

Ｒｓ管理図中心線

中心線	$CL = \bar{R}s = 1.8$
上方管理限界線	$UCL = D_4\bar{R}s = 3.27 \times 1.8 = 5.9$
下方管理限界線	ＬＣＬ＝考えない

Ｒｍ管理図中心線

中心線	$CL = \bar{R}m = 0.7$
上方管理限界線	$UCL = D_4\bar{R}m = 2.57 \times 0.7 = 1.8$
下方管理限界線	ＬＣＬ＝考えない

ここではD_4は品質管理係数で試料の大きさによる定数で表－１にその一部が示してある。

手順７．管理図用紙の準備

手順８．打点

手順９．安定状態の判定

すべての点が管理境界線の中に入ってクセがないので安定状態である。

手順10．管理線の再計算

安定状態なので次の手順に進む。

手順11．規格に対する検討

規格に対する検討は、ヒストグラムによる判定、規格値に対するユトリの計算法を用いて検討する。なお、工程能力図による規格のチェックを同時に進めておくと便利である。

（3）管理図の計算例

χ－Ｒｓ－Ｒm管理図は、コンクリートの圧縮強度を１日１回同一バッチから３個の試料を採り３個の平均値を一つのχとして管理したものである。なお試験誤差の管理も併せて行ったものである。

名称	コンクリート	工事名	道路舗装工事	測定期間	自	平成　年　月　日
品質特性	圧縮強度σ_{28}	事務所名			至	平成　年　月　日
測定単位	N／mm^2	目標準量	21m^3	請負者		
規格限界 上限		試料 大きさ	1回3測定	現場代理人		
規格限界 下限値		試料 間隔	1日 2回	測定者		
設計基準値	呼び強度18	作業機械		測定者		

月日	試験番号	測定値 a	b	c	d	計 Σ	代表値 χ	移動範囲 Ｒｓ	測定値内の範囲Ｒm
4.12	1	18.7	19.2	18.7		56.6	18.9		0.5
13	2	21.5	20.9	21.5		63.9	21.3	2.4	0.6
14	3	22.1	22.1	21.5		65.7	21.9	0.6	0.6
15	4	18.7	18.7	19.8		57.2	19.1	2.8	1.1
16	5	20.9	20.4	20.4		61.7	20.6	1.5	0.5
	小計						101.8	7.3	3.3
19	6	18.1	19.2	18.7		56.0	18.7	1.9	1.1
20	7	22.6	22.6	20.9		66.1	22.0	3.3	1.7
22	8	18.1	19.2	19.8		57.1	19.0	3.0	1.7
	小計						59.7	8.2	4.5
23	9	22.1	21.5	21.5		65.1	21.7	2.7	0.6
24	10	19.2	18.7	18.1		56.0	18.7	3.0	1.1
26	11	20.4	20.9	20.9		62.2	20.7	2.0	0.5
27	12	18.7	20.4	19.2		58.3	19.4	1.3	1.7
28	13	18.7	19.2	19.3		57.2	19.1	0.3	0.6
							99.6	9.3	4.5
29	14	22.6	23.2	21.5		67.3	22.4	3.3	1.7
30	15	19.8	19.8	18.7		58.3	19.4	3.0	1.1
5．3	16	21.5	22.1	22.1		65.7	21.9	2.5	0.6
4	17	18.7	19.2	20.4		58.3	19.4	2.5	1.7
5	18	20.4	21.5	21.5		63.4	21.1	1.7	1.1
6	19	18.1	19.2	19.2		56.5	18.8	2.3	1.1
7	20	22.6	22.1	21.5		66.2	22.1	3.3	1.1
	小計						145.1	18.6	8.4

$\bar{\chi} \pm 2.66\bar{R}s = 20.4 \pm 4.8 = 15.6 \sim 25.2$

$3.27\bar{R}s = 3.27 \times 1.8 = 5.9$

$D_4\bar{R}m = 2.57 \times 0.7 = 1.8$

	χ	Ｒｓ	Rm
平均	$\bar{\chi}$=20.4	$\bar{R}s$=1.8	$\bar{R}m$=0.7
累計	101.8	7.3	3.3
小計	101.8	7.3	3.3

$\bar{\chi} \pm 2.66\bar{R}s = 20.2 \pm 5.9 = 14.3 \sim 26.1$

$3.27\bar{R}s = 7.2$　$D_4\bar{R}m = 2.6$

平均	$\bar{\chi}$=20.2	$\bar{R}s$=2.2	$\bar{R}m$=1.0
累計	161.5	15.5	7.8
小計	59.7	8.2	4.5

$\bar{\chi} \pm 2.66\bar{R}s = 20.1 \pm 5.6 = 14.5 \sim 25.7$

$3.27\bar{R}s = 6.9$　$D_4\bar{R}m = 2.3$

平均	$\bar{\chi}$=20.1	$\bar{R}s$=2.1	$\bar{R}m$=0.9
累計	261.1	24.8	12.3
小計	99.6	9.3	4.5

$\bar{\chi} \pm 2.66\bar{R}s = 20.3 \pm 6.1 = 14.2 \sim 26.4$

$3.27\bar{R}s = 7.5$

$D_4\bar{R}m = 2.6$

平均	$\bar{\chi}$=20.3	$\bar{R}s$=2.3	$\bar{R}m$=1.0
累計	406.2	43.4	20.7
小計	145.1	18.6	8.4

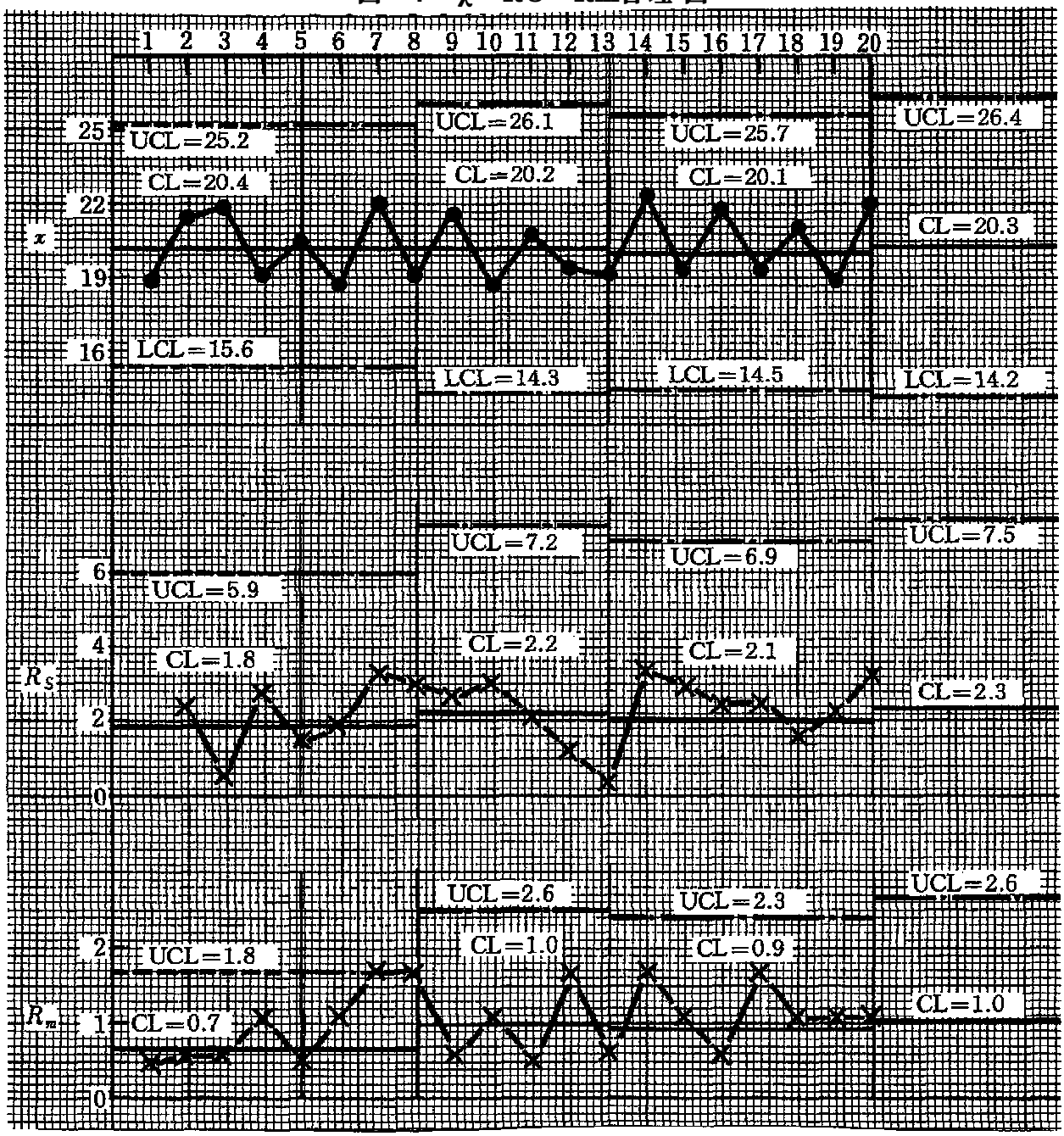
記事	n	D_4	E_2
	2	3.27	2.66
	3	2.57	1.77
	4	2.28	1.46
	5	2.11	1.29

（注）生コン使用の場合は、作業機械の欄は空白でよい。

表－３　χ－Ｒｓ－Ｒｍ管理データシート

設計基準値	呼び強度18	工　事　名		道路舗装工事	出張所名	
名　　称	コンクリート	目標準量		21m³	期　間　自	平成　年　月　日
品質特性	圧縮限界σ_{28}	規格	上限値		期　間　至	平成　年　月　日
測定単位	N／mm²	限界	下限値		請　負　者	
測定方法	15cm供試体	試料	大きさ	1回3試料	現場代理	
作業機械名			間　隔	1日2回	測　定　者	

図－４　χ－Ｒｓ－Ｒｍ管理図



参　考　資　料

目　　次

ロックボルトの引抜試験 ……5-97

テストハンマーによる強度推定調査について ……5-99

〔参考資料１〕

１．ロツクボルトの引抜試験

（１）計測の目的

ロックボルトの定着結果を確認することを目的とする。

（２）計測の要領

ロックボルトの引抜試験方法に従って行う。

実施時期は施工後3日経過後とし、引抜試験耐力はロックボルト引抜耐力の80%程度以上とする。

（３）結果の報告

計測結果は図４－１の要領で整理する。

（４）試験後のボルトの処置

引抜試験の結果が荷重変位曲線図４－１のＡ領域に留まっている状態の場合には、試験後のボルトはそのままとし、これを補うボルトは打設しないものとする。

図のＢ領域に入る場合には、その他のボルトの状況を判断して施工が悪いと思われるものについては、試験したボルトを補うボルトを打設する。また地山条件によると思われる場合には地中変位や、ロックボルトの軸力分布等を勘案して、ロックボルトの設計を修正する。

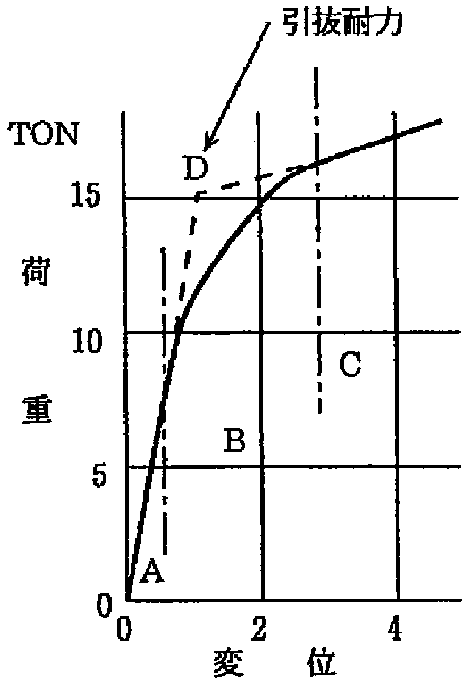


図４－１ ロックボルト引抜試験

（ロックボルトの引抜試験方法）

この方法はＩＳＲＭの提案する方法に準拠したものである。

（International Society for Rock Mechanics, Commission on Standardization of Laboratory and Field Tests，Comittee on Field Tests Document No.2.1974）

（１）引抜試験準備

ロックボルト打設後に、載荷時にボルトに曲げを発生しないように図４－２のように反力プレートをボルト軸に直角にセットし、地山との間は早強石膏をはりつける。

（２）引抜試験

引抜試験は、図４－３のようにセンターホールジャッキを用い、油圧ポンプで１ton毎の段階載荷を行って、ダイヤルゲージでボルトの伸びを読み取る。

（３）全面接着式ボルトの場合の注意事項

（イ）吹付コンクリートが施工されている時は、コンクリートを取り壊して岩盤面を露出させるか、あるいは、あらかじめ引抜試験用のロックボルトに、吹付コンクリートの付着の影響を無くすよう布等を巻いて設置して試験を行うのが望ましい。ロックボルトに歪みゲージを貼付けて引抜試験の結果が得られている場合には、その結果を活用することにより、特に吹付コンクリートを取り壊す必要がない場合もある。

（ロ）圧力は、ロックボルトの定着効果としてピラミッド形を考慮する場合には、できるだけ孔等は大きいものを用い、ボルト周辺岩盤壁面を拘束しないこと。

（ハ）ロックボルトの付着のみを考慮する場合は、反力をできるだけロックボルトに近づけること。

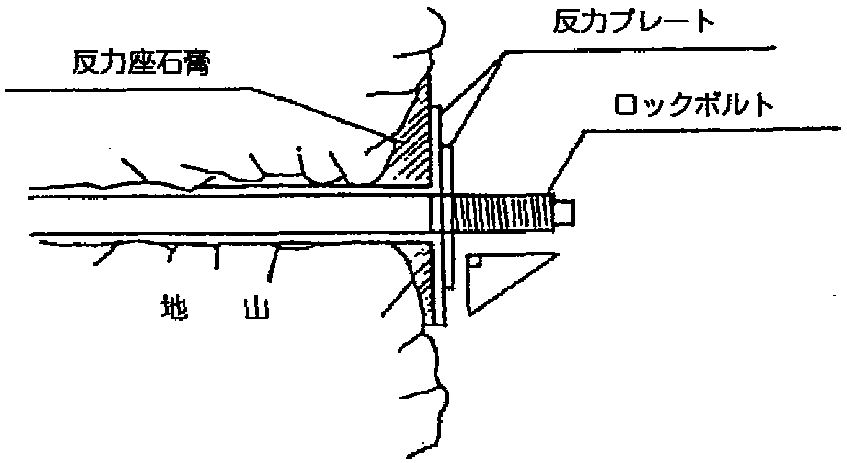


図４－２　反力座の設置

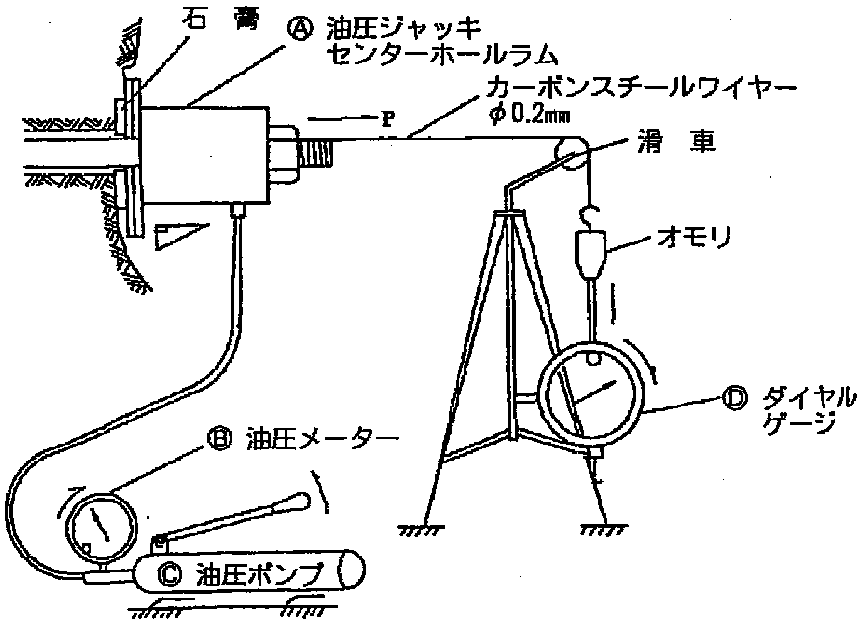


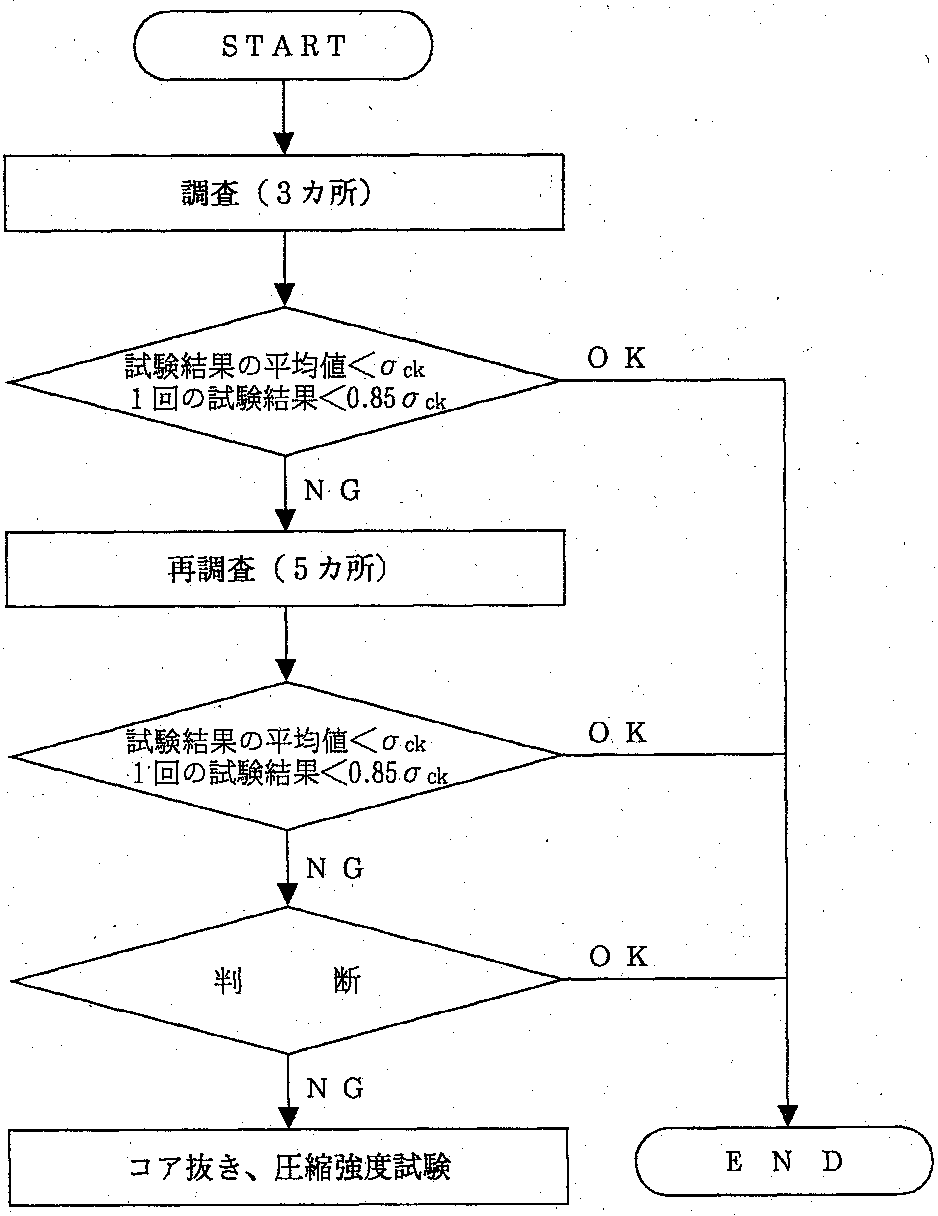
図４－３　引抜試験概要図

〔参考資料２〕

テストハンマーによる強度推定調査について

１．テストハンマーによる強度推定調査は、以下に基づき実施すること。

運用フロー



（１）適用範囲

強度確認調査の対象工種については、高さが５m以上の鉄筋コンクリート擁壁、内空断面積が25㎡以上の鉄筋コンクリートカルバート類、橋梁上・下部工、トンネル及び高さが３m以上の堰・水門・樋門とする。

ただし、いずれの工種についても、プレキャスト製品およびプレストレストコンクリートは測定の対象としない。

（２）調査単位

調査頻度は、鉄筋コンクリート擁壁及びカルバート類、トンネルについては目地間で行う、ただし、100mを超えるトンネルでは、100mを超えた箇所以降は、30m程度に１箇所で行う。その他の構造物については強度が同じブロックを１構造物の単位とする。

（３）調査手順

１）各単位につき３カ所の調査を実施する。

２）調査の結果、平均値が設計基準強度を下回った場合と、1回の試験結果が設計基準強度の85%以下となった場合は、その箇所の周辺において再調査を５カ所実施する。

３）再調査の結果でも、平均強度が所定の強度が得られない場合、もしくは１カ所の強度が設計基準強度の85%を下回った場合は、必要に応じて公的機関に相談して原位置コアを採取し圧縮強度試験を実施する。

（４）調査時期

材齢28日～91日の間に試験を行うことを原則とする。工期等により、基準期間内に調査を行えない場合は、以下の方法に従い、再調査の必要性等を判断する。

・材齢10日で試験を行う場合は、推定強度を1.55倍して評価する。
・材齢20日で試験を行う場合は、推定強度を1.12倍して評価する。
・材齢10日～28日までの間で、上に明示していない場合は、前後の補正値を比例配分して得られる補正値を用いて評価する。
・材齢10日以前の試験は、適切な評価が困難なことから、実施しない。
・材齢92日以降の試験では、材齢28日～91日の間に試験を行う場合と同様、推定強度の補正は行わない。

（５）反発度の測定、推定強度の計算力法について（補足説明）

① 水平方向に打撃する事を原則とする。構造物の形状等の制約から水平方向への打撃が困難な場合は、土木学会規準（ＪＳＣＥ－G504）の解説に示された方法で、傾斜角度に応じた補正値を求める。

② 気乾状態の箇所で測定することを原則とする。やむを得ず表面が濡れた箇所や湿っている箇所で測定する場合には、測定装置のマニュアルに従っ下補正する。

不明な場合は、以下の値を用いても良い。

・測定位置が湿っており打撃の跡が黒点になる場合→反発度の補正値＋３
・測定位置が濡れている場合→反発度の補正価＋５

③ 強度推定は以下の式（材料学会式）による。

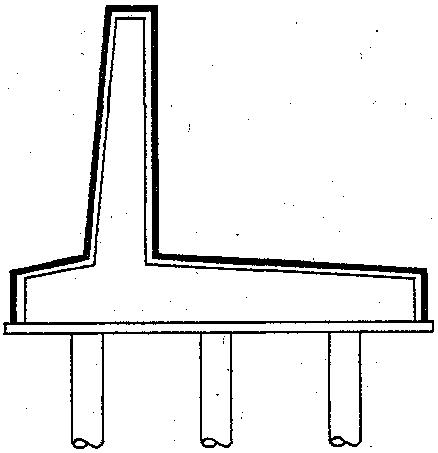
$F（N／mm^2）=0.098×（-184+13.0×R）$

ここで、Ｆ：推定強度

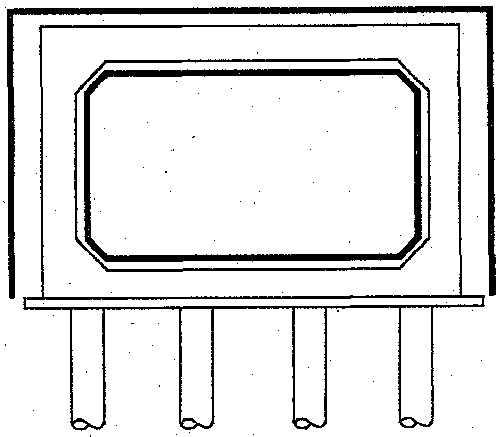
Ｒ：打撃方向と乾燥状態に応じた補正を行った反発度

※測定装置は、較正が行われているものを用いる。

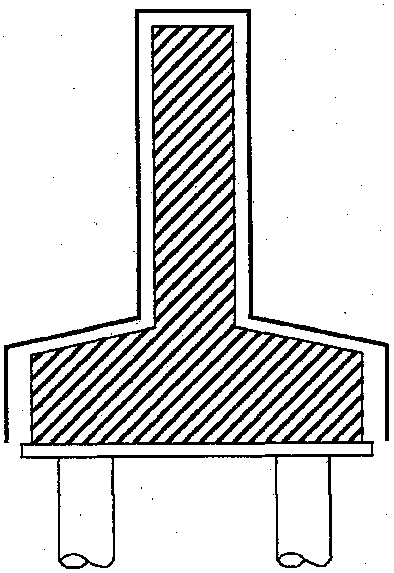
２．ひび割れ調査は、構造物躯体の地盤や他の構造物との接触面を除く全表面とする。
フーチング・底版等で竣工時に地中、水中にある部位については、竣工前に調査する。ひび割れ調査の面積計上について、代表的な構造物について下図のとおりとする。

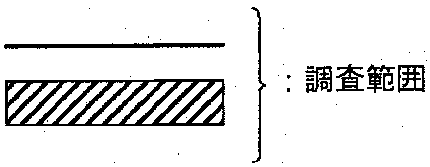


図－１　擁壁

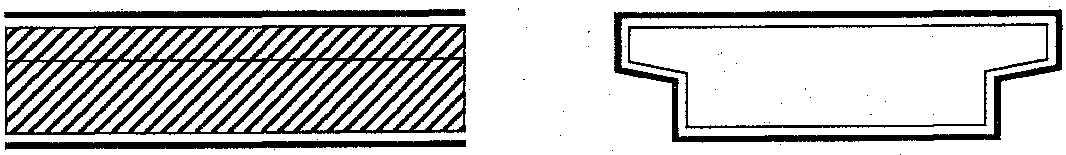


図－２　カルバート





図－３　橋梁下部



図－４　橋梁上部

デジタル写真管理情報基準(案)

デジタル写真管理情報基準(案)

－ 目　次 －

1　適用 ・・5-103
2　フォルダ構成 ・・5-103
3　写真管理項目 ・・5-106
4　ファイル形式 ・・5-108
5　ファイル命名規則・・・5-109
6　写真編集等 ・・・5-110
7　有効画素数 ・・・5-110
8　撮影頻度と提出頻度の取り扱い・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-110
9　その他留意事項・・・5-110

付属資料１　写真管理ファイルのＤＴＤ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-111
付属資料２　写真管理ファイルのＸＭＬ記入例・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5-113

注意事項：

本基準に準拠した写真管理ファイルのＤＴＤファイル(ＰＨＯＴＯ04．ＤＴＤ)は、平成18年4月以降に国土技術政策総合研究所の「ＣＡＬＳ／ＥＣ電子納品に関する要領・基準」ホームページ上で公開予定である。ＰＨＯＴＯ０４．ＤＴＤが公開されるまでの期間については、暫定的にＰＨＯＴＯ０３．ＤＴＤ(旧デジタル写真管理情報基準(案)H16．６)を参照し、使用するものとする。その際、本基準の付２－１「写真管理ファイルのＸＭＬ記入例」の２～４行目は、次のとおりに読替えるものとする。

```
<!DOCTYPE photodata SYSTEM"PHOTO03.DTD">
<?xml-stylesheettype="text/xsl"href="PHOTO03.XSL"?>
<photodata DTD_version="03">
```

1　適用

「デジタル写真管理情報基準(案)」(以下「本基準」という)は、写真等(工事・測量・調査・地質・広報・設計)の原本を電子媒体で提出する場合の属性情報等の標準仕様を定めたものである。

2　フォルダ構成

写真の原本を電子媒体で提出する場合のフォルダ構成は、業務では図２-１、工事では図２-２とする。

- 「PHOTO」フォルダの直下に写真管理ファイルと「ＰＩＣ」及び「DRA」のサブフォルダを置く。なお、ＤＴＤ及びＸＳＬファイルもこのフォルダに格納する。ただし、ＸＳＬファイルの格納は任意とする。
- 「ＰＩＣ」とは、撮影した写真ファイルを格納するサブフォルダを示し、「DRA」とは、参考図ファイルを格納するサブフォルダを示す。
- 参考図とは、撮影位置、撮影状況等の説明に必要な撮影位置図、平面図、凡例図、構造図等である。
- 参考図がない場合は「DRA」サブフォルダは作成しなくてもよい。
- フォルダ名称は半角英大文字とする。
- 写真フォルダ(ＰＩＣ)及び参考図フォルダ(DRA)直下に直接対象ファイルを保存し、階層分けは行わない。

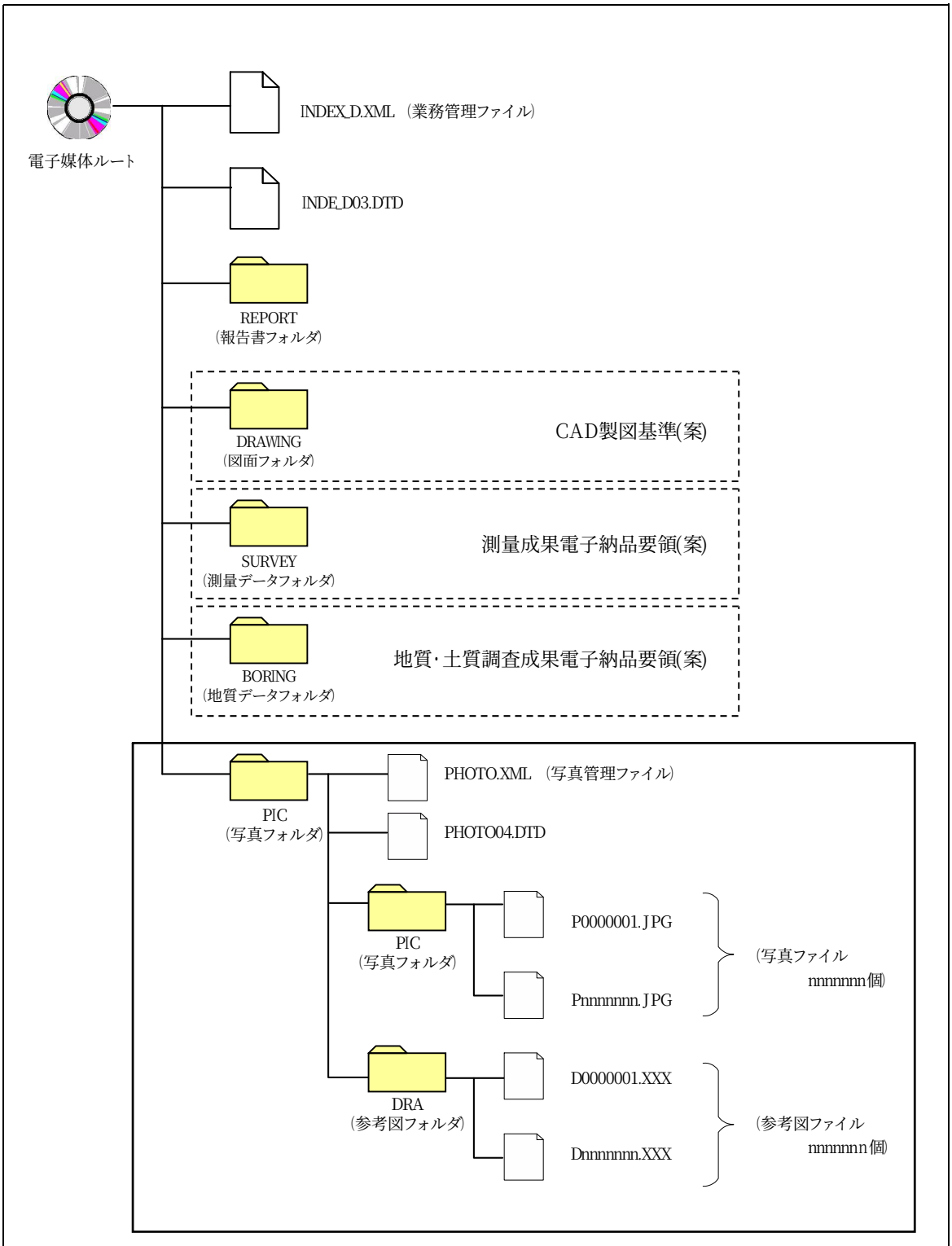


図 2-1 「土木設計業務等の電子納品要領(案)」のフォルダ構成

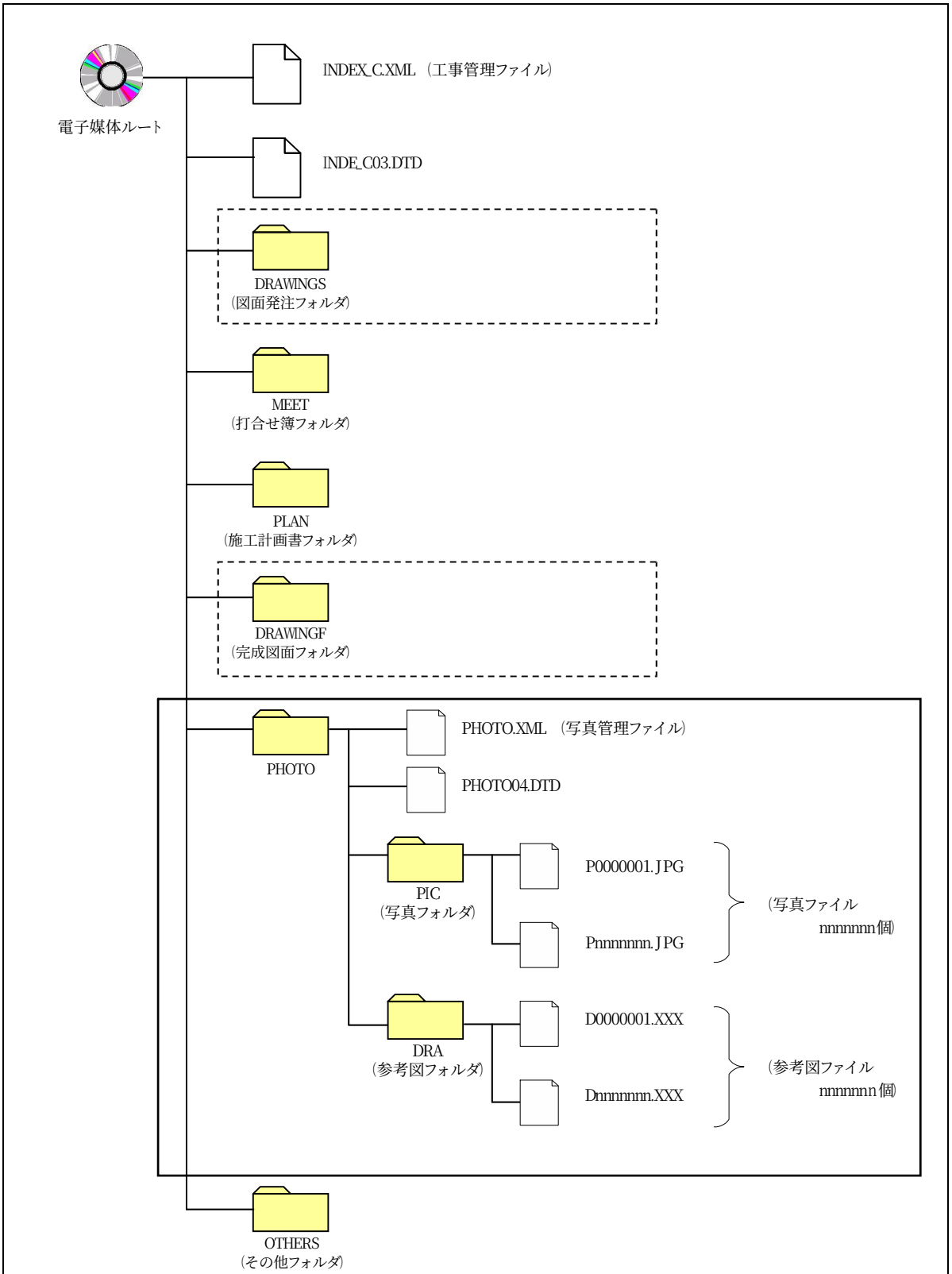


図 2-2 「工事完成図書の電子納品要領(案)」のフォルダ構成

3　写真管理項目

電子媒体に格納する写真管理ファイル(PHOTO.XML)に記入する写真管理項目は下表に示すとおりである。

表 3-1 写真管理項目（1/2）

分類	項目名		記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
基礎情報	写真フォルダ名		写真ファイルを格納するフォルダ名称(PHOTO/PICで固定)を記入する。	半角英大文字	127	▲	◎
	参考図フォルダ名		参考図ファイルを格納するために「DRA」サブフォルダを作成した場合はフォルダ名称(PHOTO/DRAで固定)を記入する。	半角英大文字	127	▲	○
	適用要領基準		電子成果品の作成で適用した要領・基準の版(「土木200601-01」で固定)を記入する。 (分野:土木、西暦年:2006、月:01、版:01)	全角文字 半角英数字	30	▲	◎
写真情報 ※	写真ファイル情報	シリアル番号	写真通し番号。提出時の電子媒体を通して、一連のまとまった写真についてユニークであれば、中抜けしてもよい。123枚目を、"000123"の様に0を付けて記入してはいけない。	半角数字	7	▲	◎
		写真ファイル名	写真ファイル名称を拡張子も含めて記入する。	半角英数大文字	12	▲	◎
		写真ファイル日本語名	写真ファイルに関する日本語名等を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△
		メディア番号	一連のまとまった写真について、保存されている電子媒体番号を記入する。単一の電子媒体であれば、全て"1"となる。	半角数字	8	□	◎
	撮影工種区分	写真-大分類	写真を撮影した業務の種別を「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」から選択して記入する。工事写真は常に「工事」と記入する。	全角文字 半角英数字	8	□	◎
		写真区分	写真管理基準(案)の分類に準じ、「着手前及び完成写真」(既済部分写真等を含む)「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」「その他(公害、環境、補償等)」の区分のいずれかを記入する。大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		工種	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル2「工種」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は、「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:△」「安全管理写真:△」「使用材料写真:△」「品質管理写真:○」「出来形管理写真:○」「災害写真:×」「その他:×」とする。(○:記入、△:記入可能な場合は記入、×:記入は不要し、空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		種別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル3「種別」を記入する。新土木工事積算体系にない土木工事や他の工事の場合には対応するレベルのものを正しく記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:△」「安全管理写真:×」「使用材料写真:△」「品質管理写真:×」「出来形管理写真:○」「災害写真:×」「その他:×」とする。(○:記入、△:記入可能な場合は記入、×:記入は不要し、空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		細別	土木工事の場合、工種以下の分類が明確で記入可能であれば、新土木工事積算体系のレベル4「細別」を記入する。写真分類ごとに工種、種別、細別の記入可否は異なる。写真分類ごとの目安は「着手前及び完成写真:×」「施工状況写真:△」「安全管理写真:×」「使用材料写真:△」「品質管理写真:×」「出来形管理写真:○」「災害写真:×」「その他:×」とする。(○:記入、△:記入可能な場合は記入、×:記入は不要し、空欄とする)大分類が「工事」ではない場合は、自由記入とする。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		写真タイトル	写真の撮影内容がわかるように、写真管理基準(案)の撮影項目、撮影時期に相当する内容を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	◎
		工種区分予備	工種区分に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	127	□	△

表 3-1 写真管理項目（2/2）

分類	項目名		記入内容	データ表現	文字数	記入者	必要度
写真情報※	付加情報※	参考図ファイル名	撮影位置図、凡例図等の参考図のファイル名を記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に関し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。	半角英数大文字	12	▲	◎
		参考図ファイル日本語名	参考図ファイルに関する日本語名等を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		参考図タイトル	参考図の内容が判るようなタイトルを記入する。黒板に記した図の判読が困難となる場合、又は当該写真に関し、撮影位置、撮影状況等を説明するために位置図面または凡例図等の参考図を請負者が作成している場合に記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	◎
		付加情報予備	参考図、撮影箇所等に関して特筆事項があれば記入する。(複数記入可)	全角文字 半角英数字	127	□	△
	撮影情報	撮影箇所	当該写真に関する測点位置、撮影対象までの距離、撮影内容等を簡潔に記入する。撮影位置図上に複数撮影位置が記載されている場合には、位置図上の記号等を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	○
		撮影年月日	写真を撮影した年月日をCCYY-MM-DD方式で記入する。月または日が1桁の数の場合「0」を付加して、必ず10桁で記入する。（CCYY：西暦の年数、MM：月、DD：日） 例）平成18年02月26日→ 2006-02-26	半角数字 - (HYPHEN-MINUS)	10	□	◎
	代表写真		工事の全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入する。代表写真でない場合は未記入とする。	半角数字	1	□	○
	施工管理値		黒板の判読が困難な場合、設計寸法及び実測寸法等の補足事項を記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	○
	請負者説明文		請負者側で検査立会者、特筆事項等があれば記入する。	全角文字 半角英数字	127	□	△
ソフトメーカ用TAG			ソフトウェアメーカが管理のために使用する。（複数記入可）	全角文字 半角英数字	127	▲	△

全角文字と半角英数字が混在している項目については、全角の文字数を示しており、半角英数字２文字で全角文字１文字に相当する。

【記入者】　□：電子成果品作成者が記入する項目
▲：電子成果品作成ソフト等が固定値を自動的に記入する項目

【必要度】　◎：必須記入。
○：条件付き必須記入。（データが分かる場合は必ず入力する）
△：任意記入。

※複数ある場合にはこの項を必要な回数繰り返す。

【解説】

- **写真管理項目は、電子成果品の電子データファイルを検索、参照、再利用するなど活用していくための属性項目である。**
- **写真管理項目のデータ表現の定義は、「土木設計業務等の電子納品要領(案)」及び「工事完成図書の電子納品要領(案)」の使用文字に従う。**
- **付属資料1 に管理ファイルのＤＴＤ、付属資料２に管理ファイルのXML記入例を示す。**
- **「代表写真」の項目には、当該工事の概要が把握できる、または重要な写真である場合に「１」を記入する。代表写真でない場合は未記入とする。**

４　ファイル形式

ファイル形式は、以下のとおりとする。

・写真管理ファイルのファイル形式はXML形式(XML１.０に準拠)とする。

・写真ファイルの記録形式はＪＰＥＧとし、圧縮率、撮影モードは監督(調査)職員と協議の上決定する。

・参考図ファイルの記録形式はＪＰＥＧもしくはＴＩＦＦ(Ｇ４)とし、ＪＰＥＧの圧縮率、撮影モードは監督(調査)職員と協議の上決定する。ＴＩＦＦ(Ｇ４)は図面が判読できる程度の解像度とする。

・写真管理ファイルのスタイルシートの作成は任意とするが、作成する場合はＸＳＬに準じる。

【解説】

・本基準「２フォルダ構成」に示したように、写真管理ファイルのファイル形式はＸＭＬ形式とする。

・写真管理ファイルの閲覧性を高めるため、スタイルシートを用いてもよいが、ＸＳＬに準じて作成する。スタイルシートを作成した場合は、管理ファイルと同じ場所に格納する。

5　ファイル命名規則

・ ファイル名・拡張子は、半角英数大文字とする。
・ ファイル名８文字以内、拡張子３文字以内とする。
・写真管理ファイルは「**PHOTO．XML**」とし、写真管理ファイルの**DTD**は「**PHOTO04．DTD**」(04は版番号)とする。
・ 写真管理ファイルのスタイルシートのファイル名は「**PHOTO04．XSL**」とする。
・ 写真ファイルの命名規則は次図の通り。

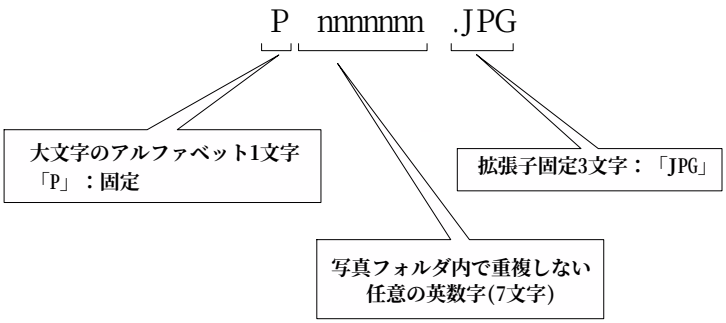


図5-1写真ファイルの命名規則

・ 参考図ファイルの命名規則は次図の通り。

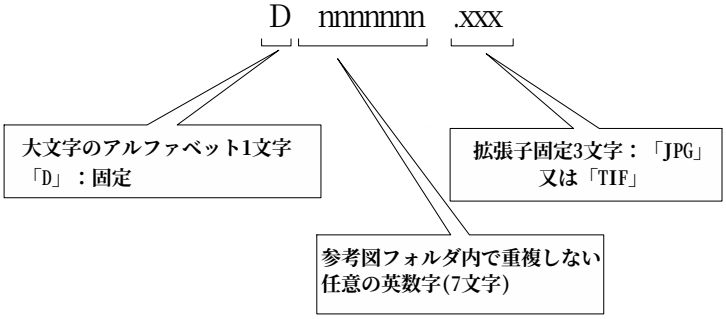


図5-2写真ファイルの命名規則

【解説】

ファイル名の文字数は、半角(1 バイト文字)で8文字以内、拡張子3文字以内とする。ファイル名に使用する文字は、半角（1 バイト文字）で、大文字のアルファベット「A～Z」、数字「0～9」、アンダースコア「_」とする。

オリジナルファイルの通し番号は、工事の経緯がわかるように日付昇順に付番することを基本とする。ファイル名は連番により、ファイルを区別することを基本とするが、欠番があっても構わない。

6　写真編集等

写真の信憑性を考慮し、写真編集は認めない。

7　有効画素数

有効画素数は、黒板の文字が確認できることを指標とする。

【解説】

・有効画素数は、黒板の文字及び撮影対象が確認できることを指標(100万画素程度)として設定する。

・不要に有効画素数を大きくすると、ファイル容量が大きくなり、電子媒体が複数枚になるとともに、操作性も低くなるので、適切な有効画素数を設定する。

8　撮影頻度と提出頻度の取り扱い

写真の原本を電子媒体で提出する場合は、写真管理基準(案)に示される撮影頻度に基づくものとする。

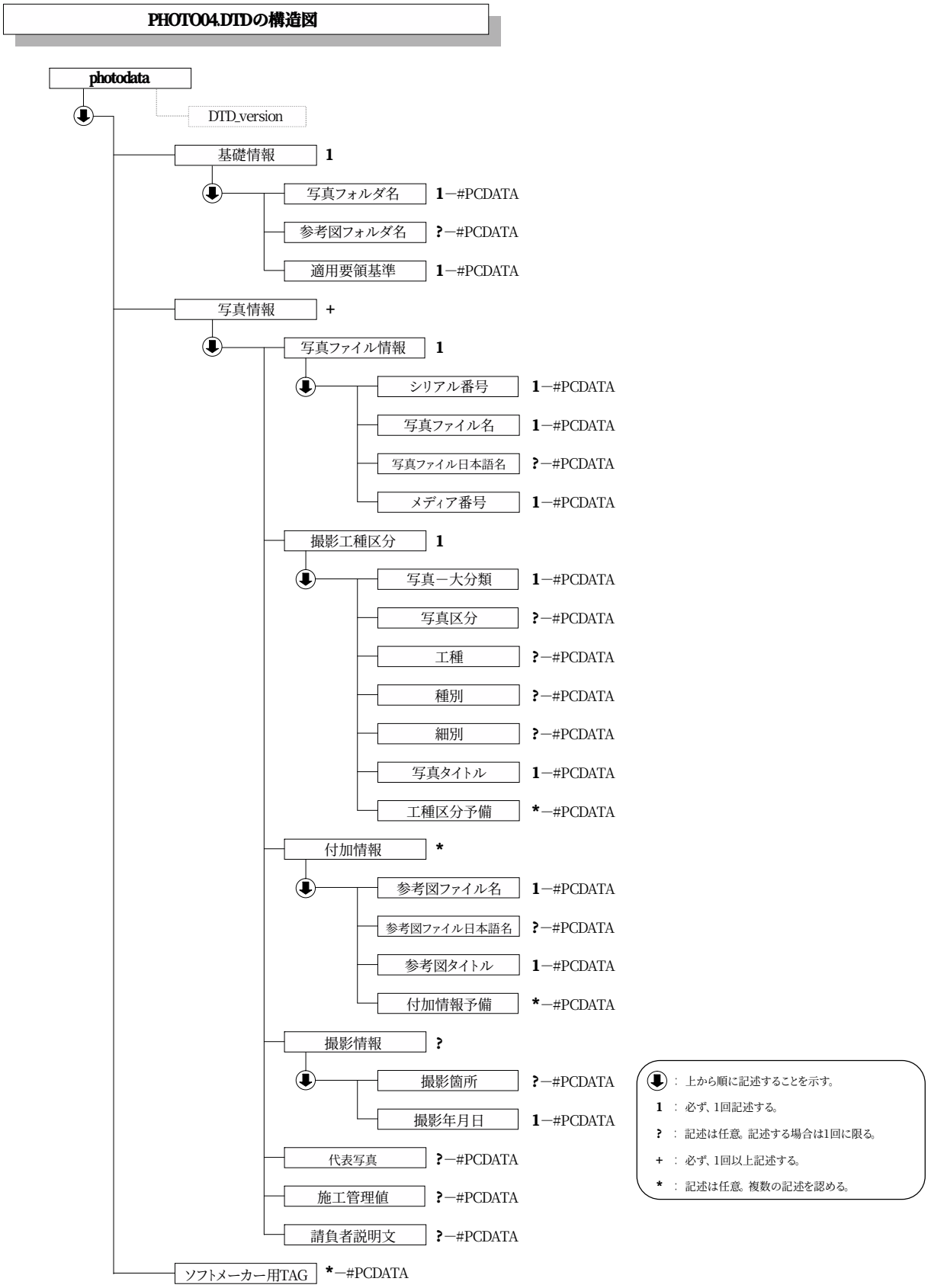
9　その他留意事項

本基準に記載されていない電子納品に関わる事項は、原則として「土木設計業務等の電子納品要領(案)」、「工事完成図書の電子納品要領(案)」に従う。

付属資料１　写真管理ファイルのＤＴＤ

成果品の電子媒体に格納する写真管理ファイル(**PHOTO. XML**)の**DTD**(**PHOTO04. DTD**)を以下に示す。なお、**DTD**ファイルは、国土技術政策総合研究所のホームページ（http://www.nilim-ed.jp/）から入手できる。

```
<!  PHOTO04.DTD / 2006/01 -->
<!ELEMENT photodata (基礎情報,写真情報+,ソフトメーカ用 TAG*)>
<!ATTLIST photodata DTD_version CDATA #FIXED "04">

<!--  基礎情報  -->
<!ELEMENT 基礎情報 (写真フォルダ名,参考図フォルダ名?,適用要領基準)>
   <!ELEMENT 写真フォルダ名 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 参考図フォルダ名 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 適用要領基準 (#PCDATA)>

<!--  写真情報  -->
<!ELEMENT 写真情報 (写真ファイル情報,撮影工種区分,付加情報*,撮影情報?,代表写真?,施工管理値?,
請負者説明文?)>
   <!ELEMENT 代表写真  (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 施工管理値 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 請負者説明文 (#PCDATA)>

<!--  写真ファイル情報  -->
<!ELEMENT 写真ファイル情報 (シリアル番号,写真ファイル名,写真ファイル日本語名?,メディア番号)>
   <!ELEMENT シリアル番号 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 写真ファイル名 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 写真ファイル日本語名 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT メディア番号 (#PCDATA)>

<!--  撮影工種区分  -->
<!ELEMENT 撮影工種区分 (写真-大分類,写真区分?,工種?,種別?,細別?,写真タイトル,工種区分予備*)>
   <!ELEMENT 写真-大分類 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 写真区分 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 工種 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 種別 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 細別 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 写真タイトル (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 工種区分予備 (#PCDATA)>

<!--  付加情報  -->
<!ELEMENT 付加情報 (参考図ファイル名,参考図ファイル日本語名?,参考図タイトル,付加情報予備*)>
   <!ELEMENT 参考図ファイル名 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 参考図ファイル日本語名 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 参考図タイトル (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 付加情報予備 (#PCDATA)>

<!--  撮影情報  -->
<!ELEMENT 撮影情報 (撮影箇所?,撮影年月日)>
   <!ELEMENT 撮影箇所 (#PCDATA)>
   <!ELEMENT 撮影年月日 (#PCDATA)>

<!ELEMENT ソフトメーカ用 TAG (#PCDATA)>
```



図付1-1 写真管理ファイルの DTD の構造

付属資料２　写真管理ファイルのＸＭＬ記入例

成果品の電子媒体に格納する写真管理ファイル(ＰＨＯＴＯ．ＸＭＬ)の記入例を以下に示す。

```
<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>
<!DOCTYPE photodata SYSTEM "PHOTO04.DTD">
<?xml-stylesheet  type="text/xsl"  href="PHOTO04.XSL"  ?>
<photodata DTD_version="04">
    <基礎情報>
        <写真フォルダ名>PHOTO/PIC</写真フォルダ名>
        <参考図フォルダ名>PHOTO/DRA</参考図フォルダ名>
        <適用要領基準>土木 200601-01</適用要領基準>
    </基礎情報>
    <写真情報>
        <写真ファイル情報>
            <シリアル番号>1</シリアル番号>
            <写真ファイル名>P0000001.JPG</写真ファイル名>
            <写真ファイル日本語名>出来形 0001.JPG</写真ファイル日本語名>
            <メディア番号>1</メディア番号>
        </写真ファイル情報>
        <撮影工種区分>
            <写真-大分類>工事</写真-大分類>
            <写真区分>出来形管理写真</写真区分>
            <工種>舗装修繕工</工種>
            <種別>舗装打換え工</種別>
            <細別>下層路盤</細別>
            <写真タイトル>路盤(1 層目)出来形測定</写真タイトル>
            <工種区分予備>工種区分の特筆事項があれば記入する。(複数入力可)</工種区分予備>
        </撮影工種区分>
        <付加情報>
            <参考図ファイル名>D0000001.JPG</参考図ファイル名>
            <参考図ファイル日本語名>位置平面図 00001.JPG</参考図ファイル日本語名>
            <参考図タイトル>位置平面図</参考図タイトル>
            <付加情報予備>付加情報の特筆事項があれば記入する</付加情報予備>
        </付加情報>
        <撮影情報>
            <撮影箇所>測点:1L</撮影箇所>
            <撮影年月日>2006-02-26</撮影年月日>
        </撮影情報>
        <代表写真>1</代表写真>
        <施工管理値>As 舗装:設計 寸法 400㎜・実測寸法 405㎜</施工管理値>
        <請負者説明文>請負者側で検査立会者、特記事項等状況等、特筆事項があれば記入する。</請負者説明文>
        </写真情報>
```

```
        <写真情報>
        <写真ファイル情報>
            <シリアル番号>2</シリアル番号>
            <写真ファイル名>P0000002.JPG</写真ファイル名>
            <メディア番号>1</メディア番号>
        </写真ファイル情報>
        <撮影工種区分>
            <写真-大分類>工事</写真-大分類>
            <写真区分>施工状況写真</写真区分>
            <工種>月末写真</工種>
            <写真タイトル>2月末</写真タイトル>
        </撮影工種区分>
        <撮影情報>
            <撮影箇所>測点:2L</撮影箇所>
            <撮影年月日>2006-02-27</撮影年月日>
        </撮影情報>
    </写真情報>
    <ソフトメーカ用TAG>ソフトウェアメーカが管理のために使用する。(複数入力可)</ソフトメーカ用TAG>
</photodata>
```